

# 第3回 嶺北地域公共交通協議会 アンケート調査結果報告

平成30年11月14日

# 調査項目

1. 高齢者アンケート
2. 若年層保護者アンケート
3. 来訪者アンケート
4. 自治体アンケート
5. 乗降調査（バスOD調査）

# 高齢者アンケート：調査概要

➤ 移動弱者である高齢者について、公共交通の利用実態及び意識調査を実施

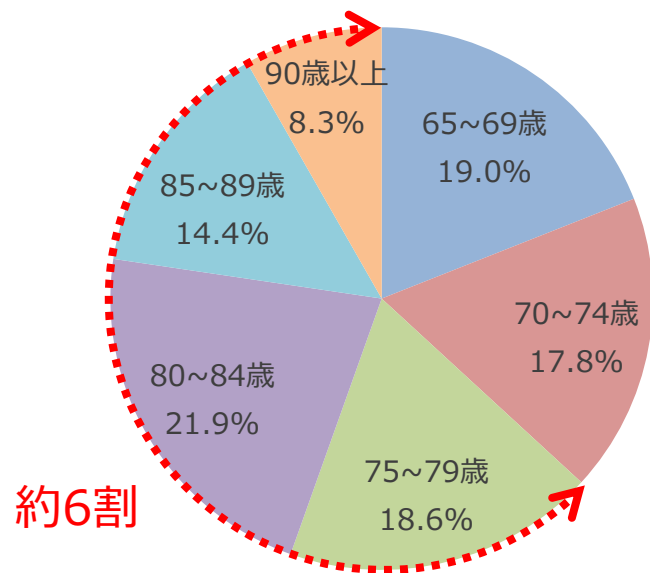
対象	高知県嶺北地域※に在住の65歳以上の高齢者 ※本山町、大豊町、土佐町、大川村
実施	平成30年9月18日～11月1日
方法	各自治体において対象者を無作為抽出、調査票の郵送配布・郵送回収もしくは聞き取りにより実施
配布	2,578票（本山町400票、大豊町333票、土佐町1,700票、大川村145票）
回収	1,338票（本山町77票、大豊町333票、土佐町813票、大川村115票）
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 回答者の属性 性別、年齢、家族構成 運転免許証の有無、外出頻度</li><li>■ 主な外出行動 外出目的・頻度・移動手段 出発・帰宅時刻</li><li>■ 公共交通に対する満足度</li><li>■ 公共交通の運営に対する意見 公共交通を維持するための行政支援に対する考え 地域の公共交通を見直す場合に最も重視すべき点</li></ul>

# 高齢者アンケート：回答者の年齢・家族構成

- 回答者の約6割が75歳以上の後期高齢者
- 約3割が一人暮らし

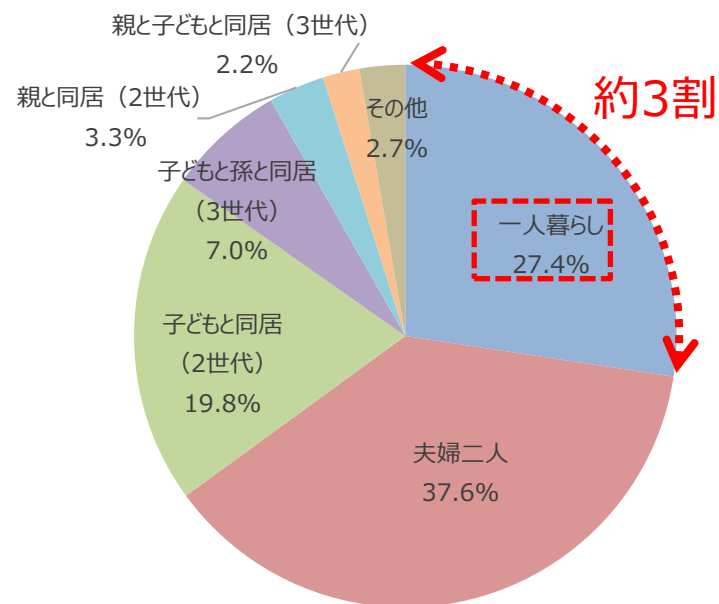
## 【年齢】

年齢別回答者数 (N=1,284)



## 【家族構成】

家族構成別回答者数 (N=1,285)

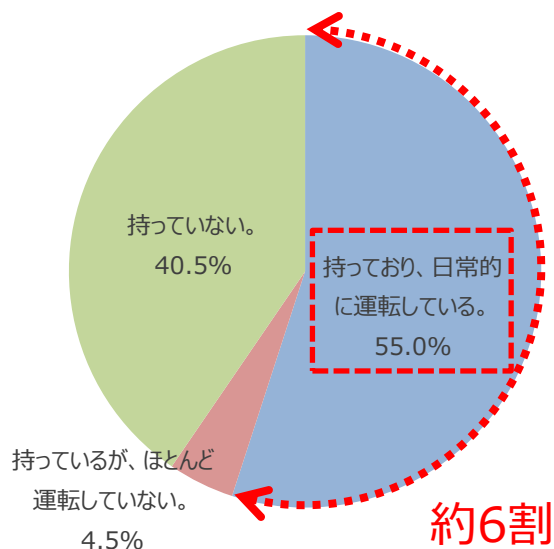


# 高齢者アンケート：免許の有無・運転頻度

- 日常的に運転をする人が約6割
- 高齢になるほど、日常的に運転する割合が低下

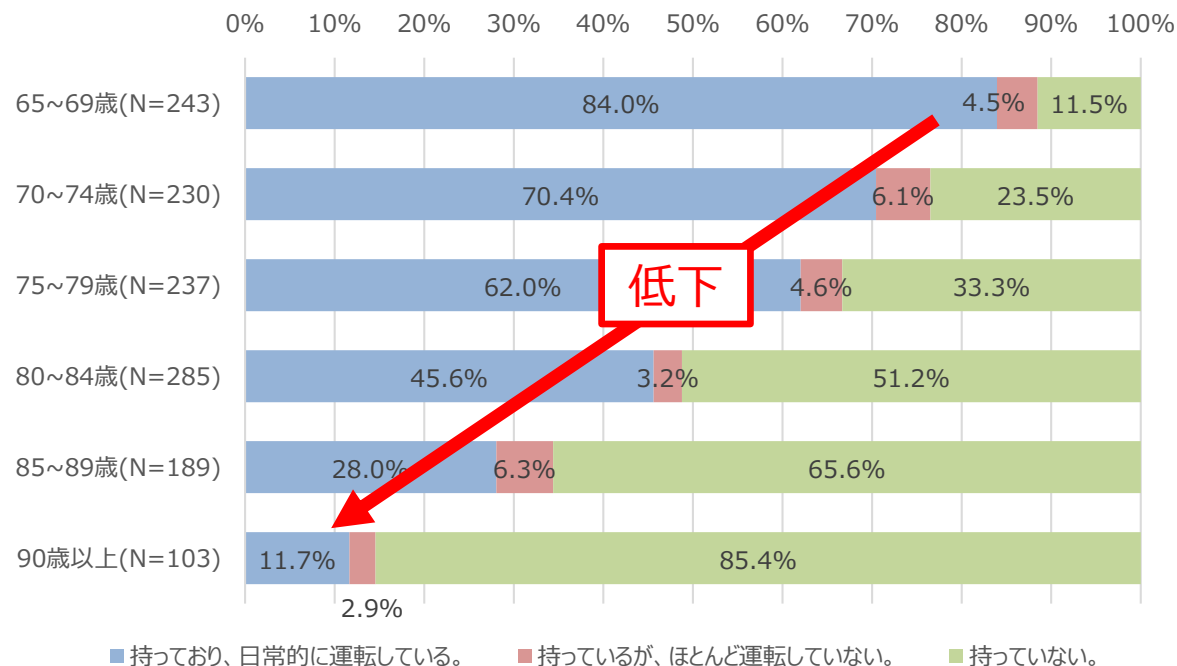
## 【全体】

運転免許証の有無 (N = 1,278)



## 【年齢別】

運転免許証の有無 (年齢別)

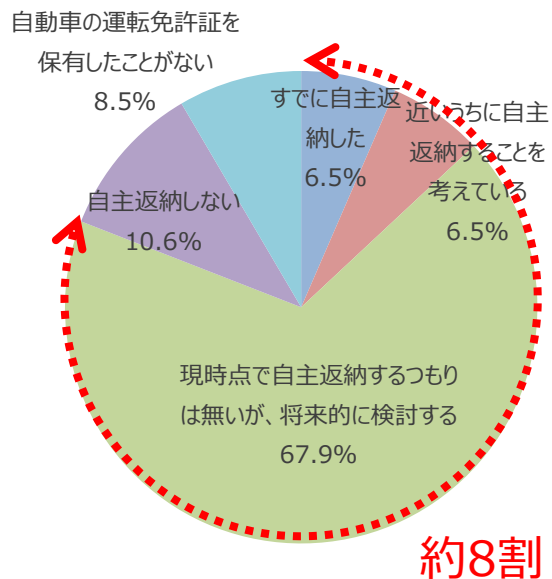


# 高齢者アンケート：運転免許証返納の状況

- 自主返納を考えている人は約8割
- 既に自主返納した人は年齢とともに増加

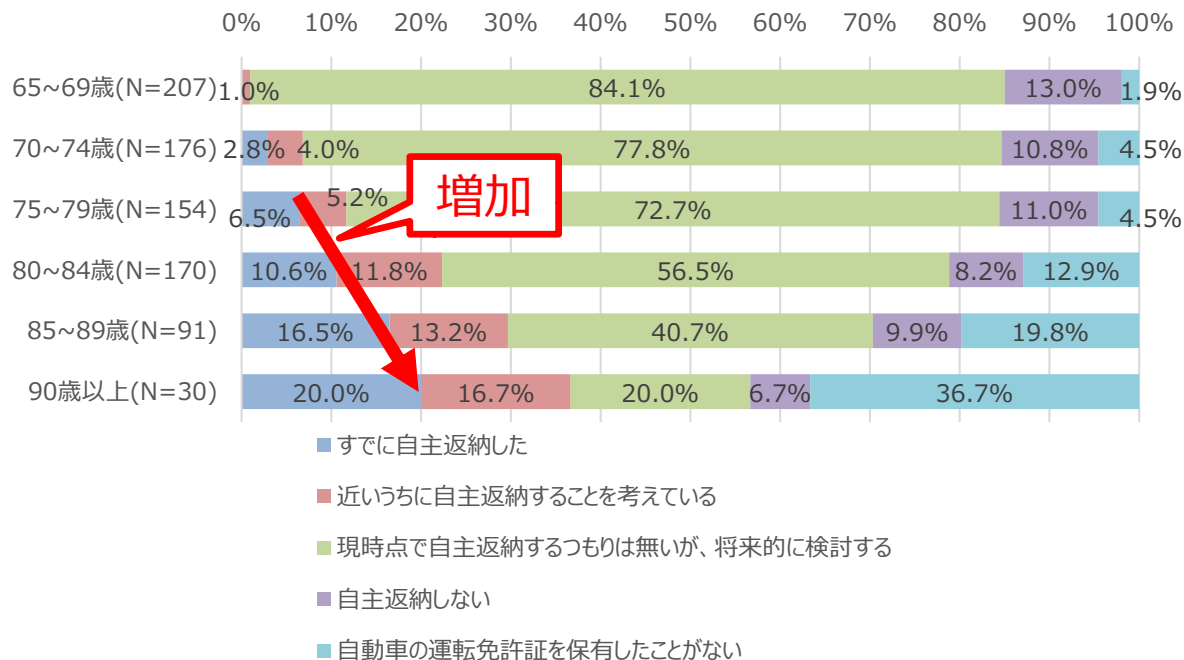
## 【全体】

運転免許証返納の状況  
(N = 828)



## 【年齢別】

運転免許証返納の状況（年齢別）

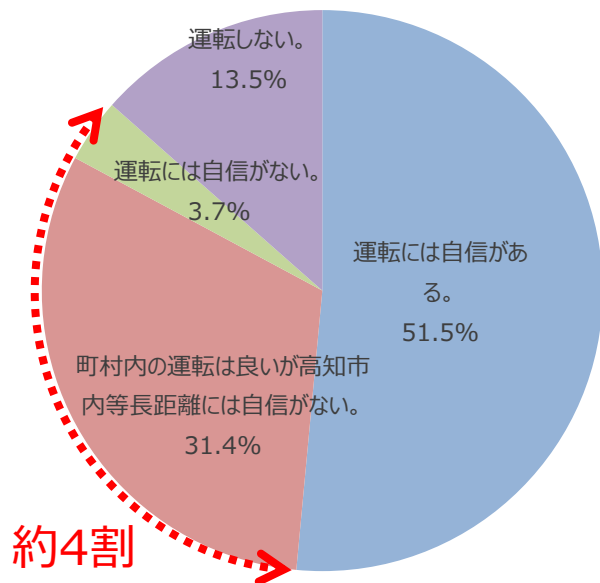


# 高齢者アンケート：運転に対する自信

- 運転に自信のない人が約4割
- 高齢になるほど、運転に自信のある割合が低下

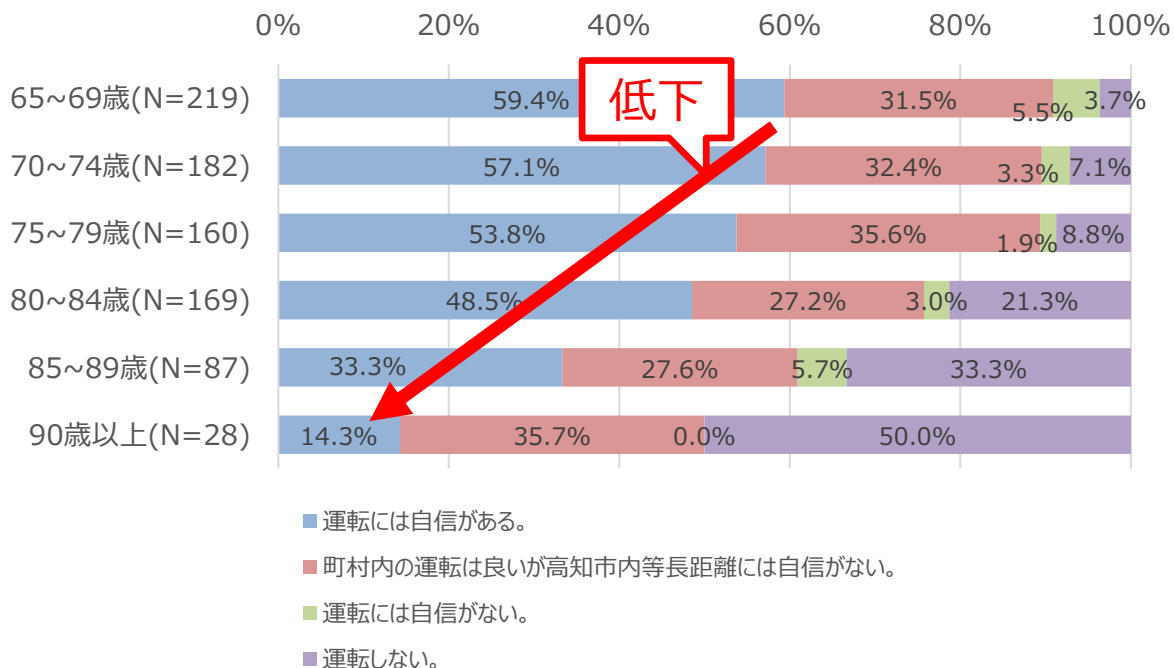
## 【全体】

運転に対する自信 (N=845)



## 【年齢別】

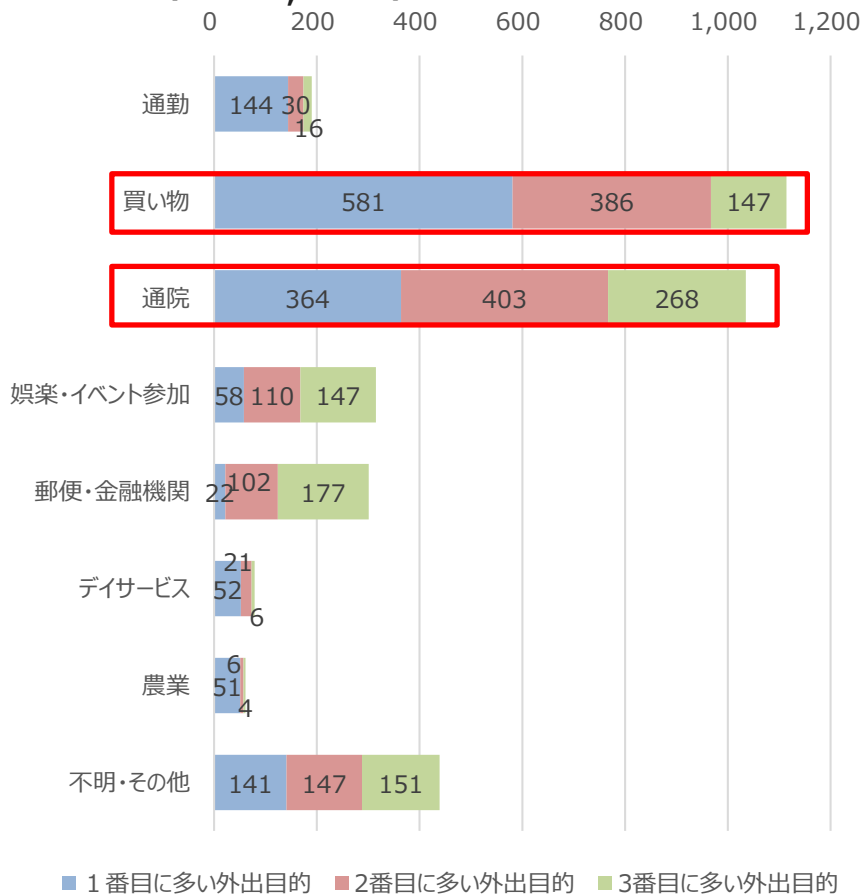
運転に対する自信 (年齢別)



# 高齢者アンケート：外出目的・移動手段

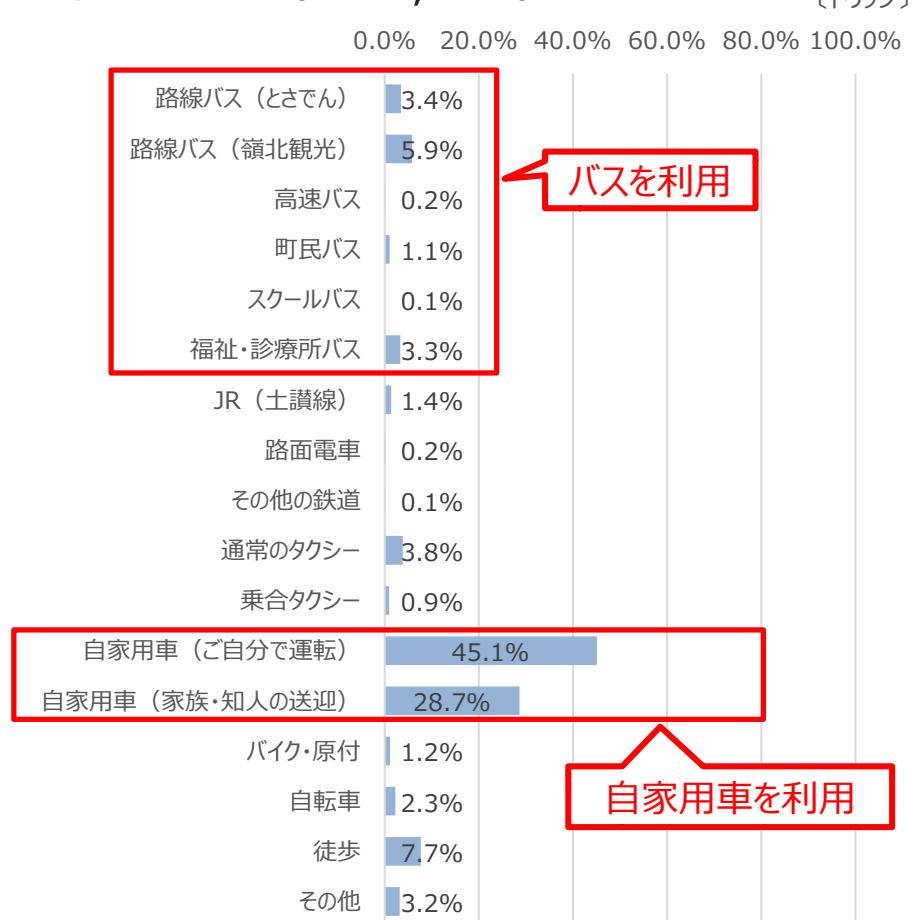
- 外出目的としては、買い物が最も多く次に通院となっている。
- 移動手段は自家用車が多いが、バスの利用者もある程度見られる。

【目的 (N=3,554)】



※その他：ボランティア、見舞い、など

【移動手段 (N=3,297)】





# 高齢者アンケート：外出先・移動手段

- 本山町：町内への移動が約8割、土佐町への移動が約1割  
高知市への移動が約1割
- 大豊町：町内への移動は約5割、高知市への移動が約2割  
本山町への移動が約1割、土佐町への移動が約1割
- 土佐町：町内への移動が約7割、高知市への移動が約2割  
本山町への移動が約1割
- 大川村：村内への移動は約4割、土佐町への移動が約3割  
本山町への移動が約1割、高知市への移動が約1割



【OD表】

(トリップ)

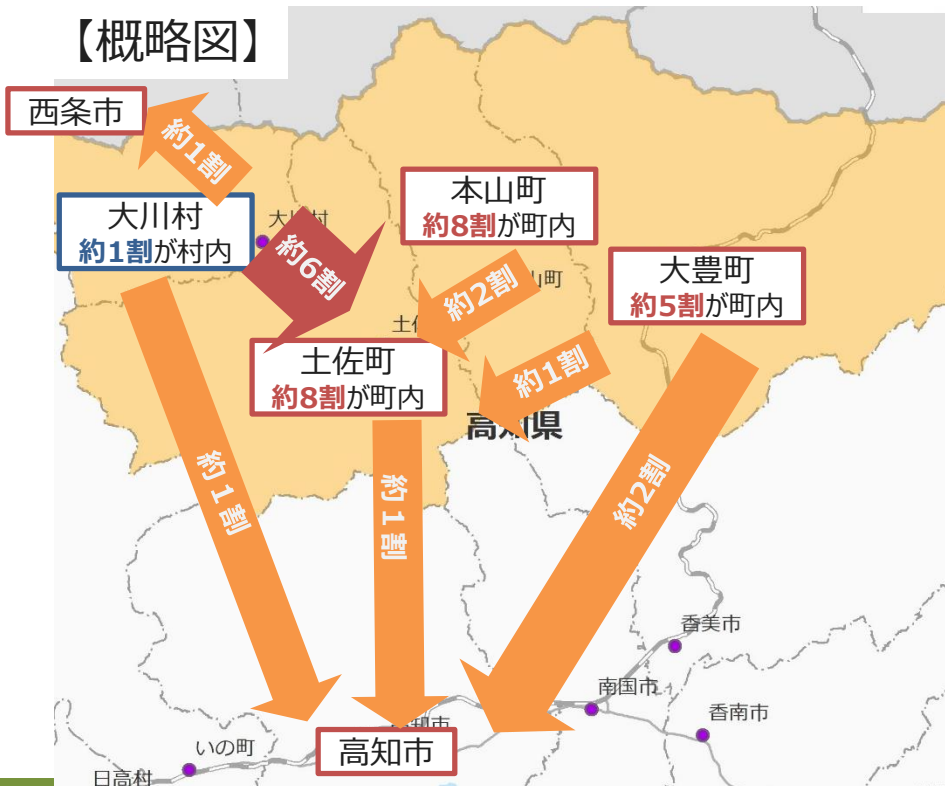
		出発地			
		本山町 (N=175)	大豊町 (N=574)	土佐町 (N=1,803)	大川村 (N=254)
目的地	本山町内	79.4%	10.1%	11.8%	7.5%
	大豊町内	0.0%	51.2%	0.3%	0.0%
	土佐町内	14.3%	7.1%	68.6%	30.3%
	大川村内	0.0%	0.0%	0.4%	37.4%
	高知市内	6.3%	22.0%	15.5%	14.2%
	南国市内	0.0%	5.4%	1.7%	3.9%
	香美市内	0.0%	2.8%	0.5%	0.0%
	その他地域外	0.0%	1.4%	1.2%	6.7%

※その他：西条市（大川村から）など

# 高齢者アンケート：外出先（買い物目的）

- 本山町：町内への移動が約8割、土佐町への移動が約2割
- 大豊町：町内への移動が約5割、高知市への移動が約2割  
土佐町への移動が約1割
- 土佐町：町内への移動が約8割、高知市への移動が約1割
- 大川村：村内への移動が約1割、土佐町への移動が約6割  
西条市への移動が約1割、高知市への移動が約1割

【概略図】



【OD表】

〔トリップ〕

買い物を目的とした移動		出発地			
		本山町 (N=61)	大豊町 (N=136)	土佐町 (N=630)	大川村 (N=70)
目的地	本山町内	77.0%	6.6%	4.8%	1.4%
	大豊町内	0.0%	47.8%	0.0%	0.0%
	土佐町内	23.0%	14.7%	80.5%	55.7%
	大川村内	0.0%	0.0%	0.0%	11.4%
	高知市内	0.0%	18.4%	13.3%	11.4%
	南国市内	0.0%	6.6%	1.0%	1.4%
	香美市内	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%
	その他地域外	0.0%	1.5%	0.5%	18.6%

14.3%が  
西条市（愛媛県）へ

# 高齢者アンケート：外出先（通院目的）

- 本山町：町内への移動が約7割、土佐町への移動が約2割、高知市への移動が約1割
- 大豊町：町内への移動が約4割、高知市への移動が約3割、本山町への移動が約2割
- 土佐町：町内への移動が約5割、本山町への移動が約3割、高知市への移動が約2割
- 大川村：村内への移動が約3割、土佐町への移動が約3割、高知市への移動が約2割、本山町への移動が約1割



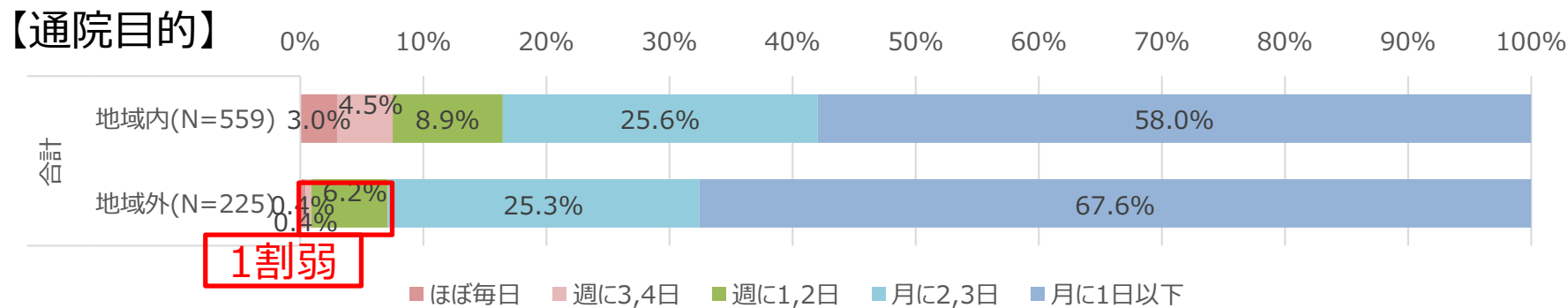
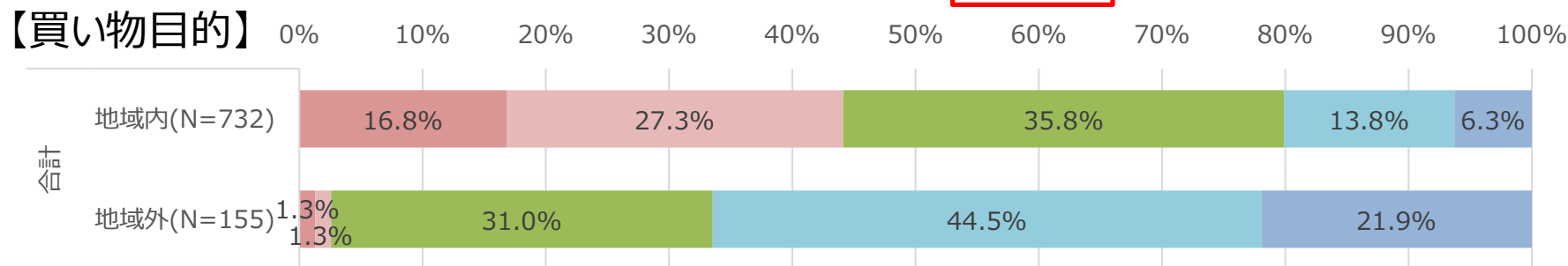
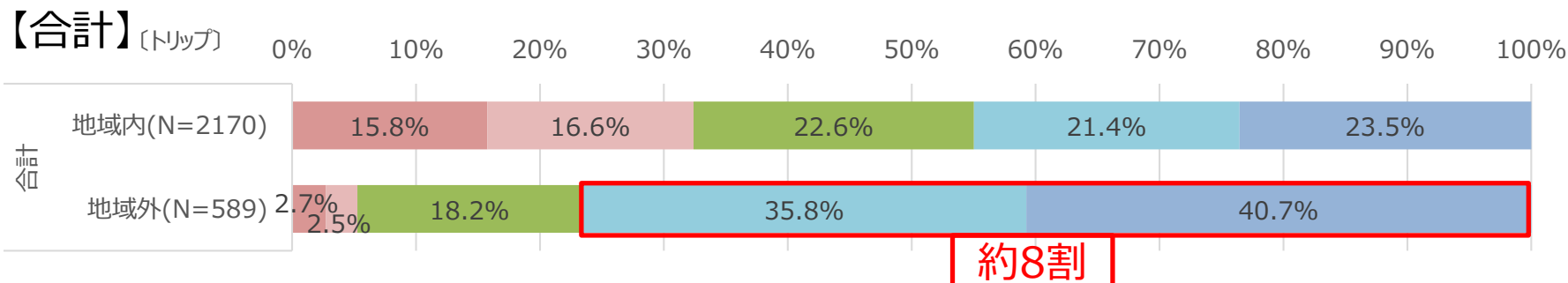
【OD表】

〔トリップ〕

通院を目的とした移動		出発地			
		本山町 (N=37)	大豊町 (N=239)	土佐町 (N=434)	大川村 (N=89)
目的地	本山町内	70.3%	16.7%	29.5%	12.4%
	大豊町内	0.0%	36.4%	0.2%	0.0%
	土佐町内	16.2%	5.4%	45.4%	29.2%
	大川村内	0.0%	0.0%	0.5%	31.5%
	高知市内	13.5%	30.1%	21.2%	15.7%
	南国市内	0.0%	7.5%	2.8%	10.1%
	香美市内	0.0%	2.5%	0.5%	0.0%
	その他地域外	0.0%	1.3%	0.0%	1.1%

# 高齢者アンケート：外出頻度

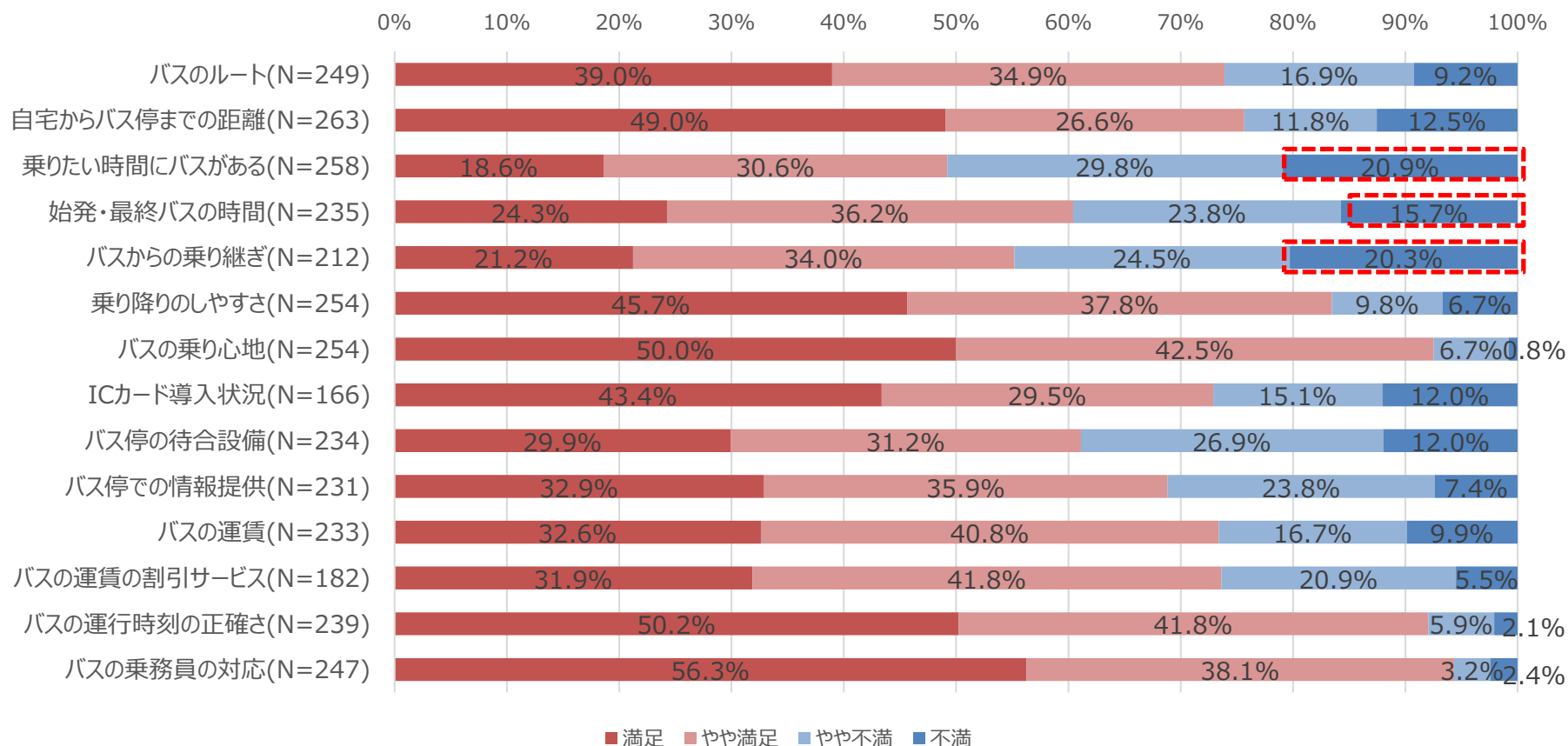
- **地域外**へのトリップのうち、**約8割**は頻度が**週1回未満**
- 特に、**通院目的**での**地域外**へのトリップのうち、**週1回以上**である割合は**1割弱**



# 高齢者アンケート：路線バスについての満足度

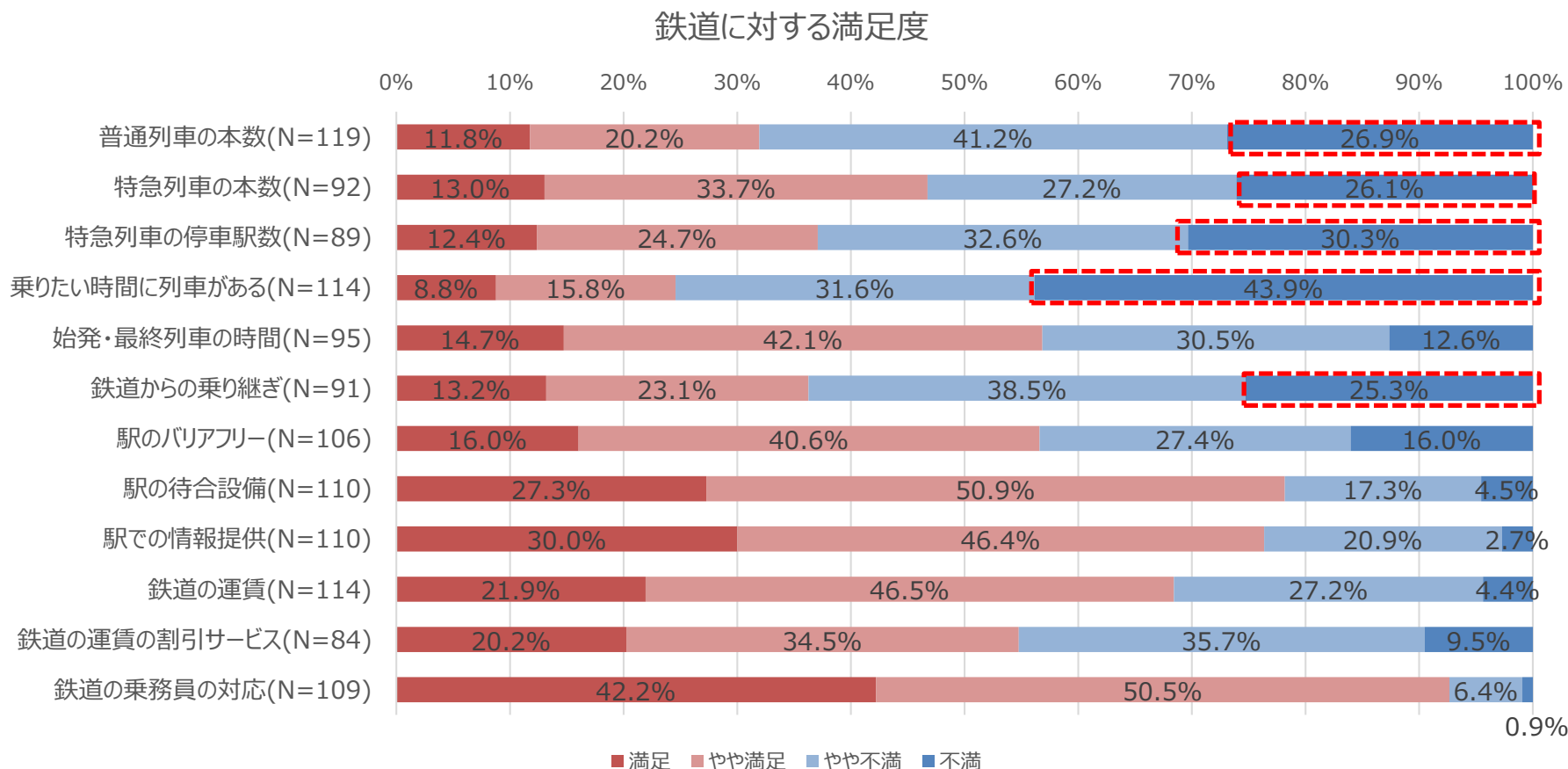
- 路線バスに対する満足度では、「乗りたい時間にバスがある」、「バスからの乗り継ぎ」、「始発・最終バスの時間」に関する不満が高くなっている。

路線バスに対する満足度



# 高齢者アンケート：鉄道についての満足度

- 鉄道に対する不満は路線バスに比べて高くなっている
- 「乗りたい時間に列車がある」、「特急列車の本数・停車駅数」、「普通列車の本数」、「鉄道からの乗り継ぎ」に対する不満が高くなっている。



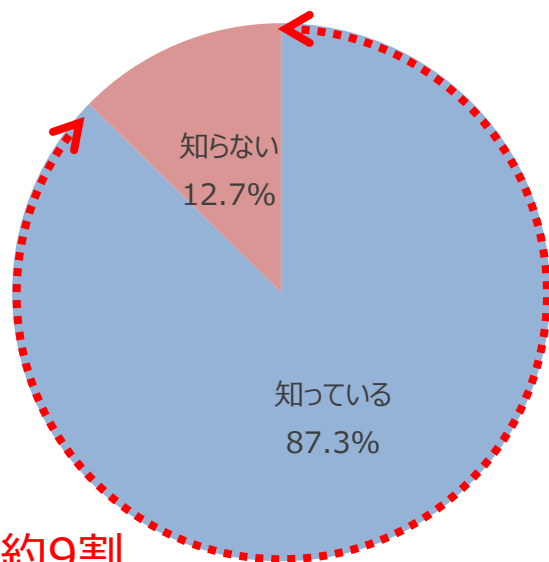
# 高齢者アンケート：乗合タクシーへの満足度

大豊町  
のみ

- 大豊町で実施している乗合タクシーは、町民の約9割に認知されている。
- 「目的地までの所要時間」、「乗りたいときに乗れる」に対する不満がやや高い。

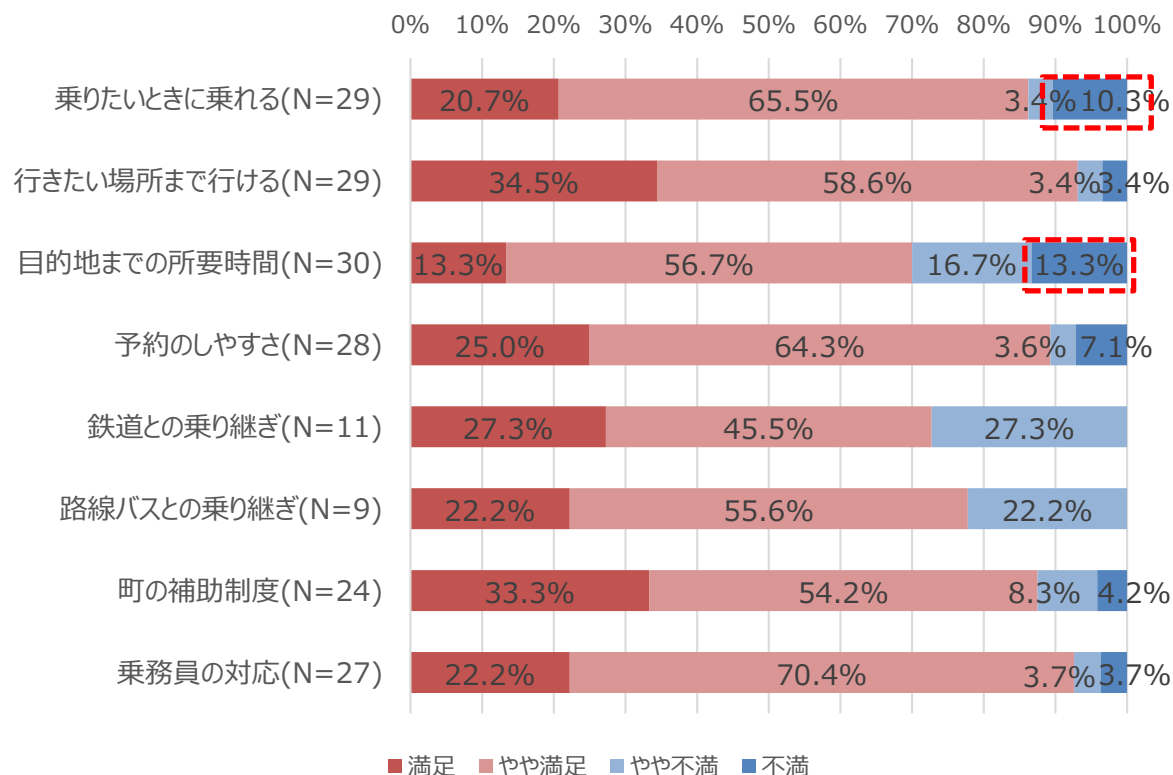
## 【認知度】

乗合タクシーの認知度 (N = 308)



## 【満足度】

乗合タクシーに対する満足度

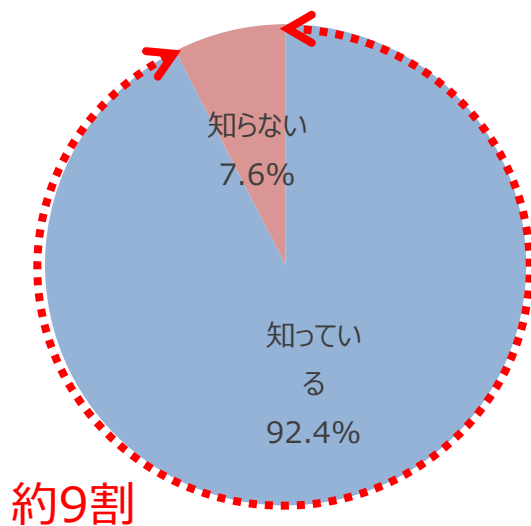


# 高齢者アンケート：町民バスへの満足度

- 大豊町で実施している町民バスは、町民の約9割に認知されている。
- 「乗りたい時間にバスがある」、「路線バスとの乗り継ぎ」、「自宅からバス停までの距離」に対する不満がやや高い。

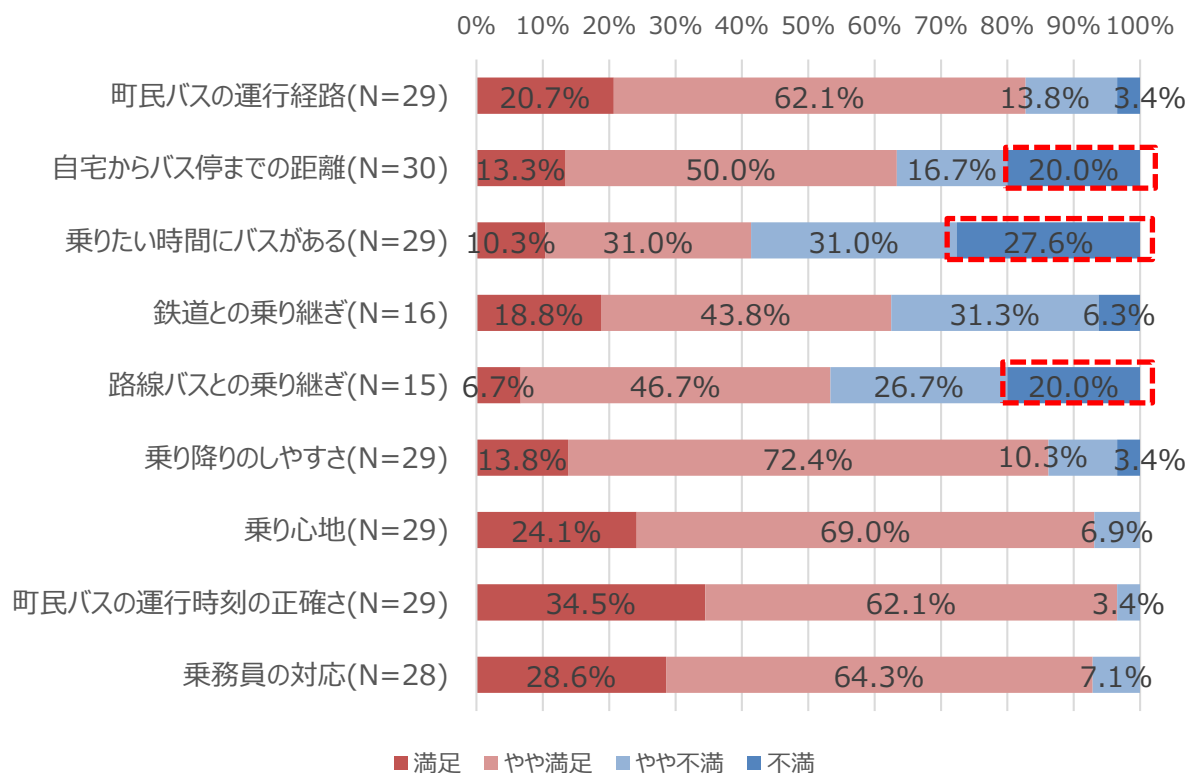
## 【認知度】

町民バスの認知度 (N = 291)



## 【満足度】

町民バスに対する満足度



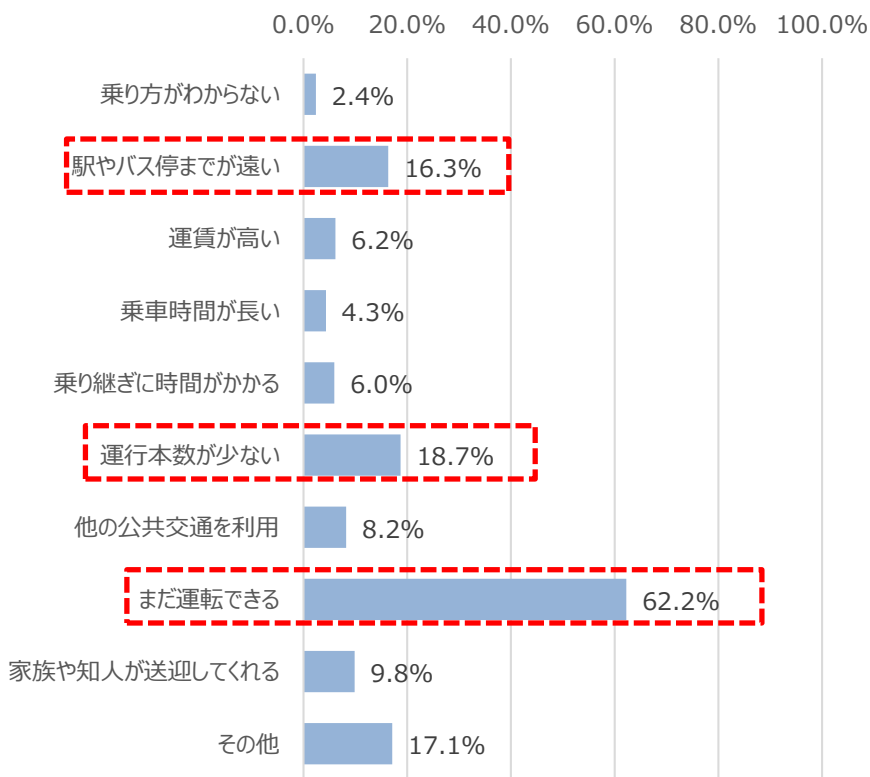


# 高齢者アンケート：公共交通を利用しない理由

- 公共交通を利用しない理由は「まだ運転できる」が最も高く、次いで「運行本数が少ない」、「駅やバス停までが遠い」が高くなっている。
- 大川村では他の町に比べて「駅やバス停までが遠い」がやや高くなっている。

## 【全体】

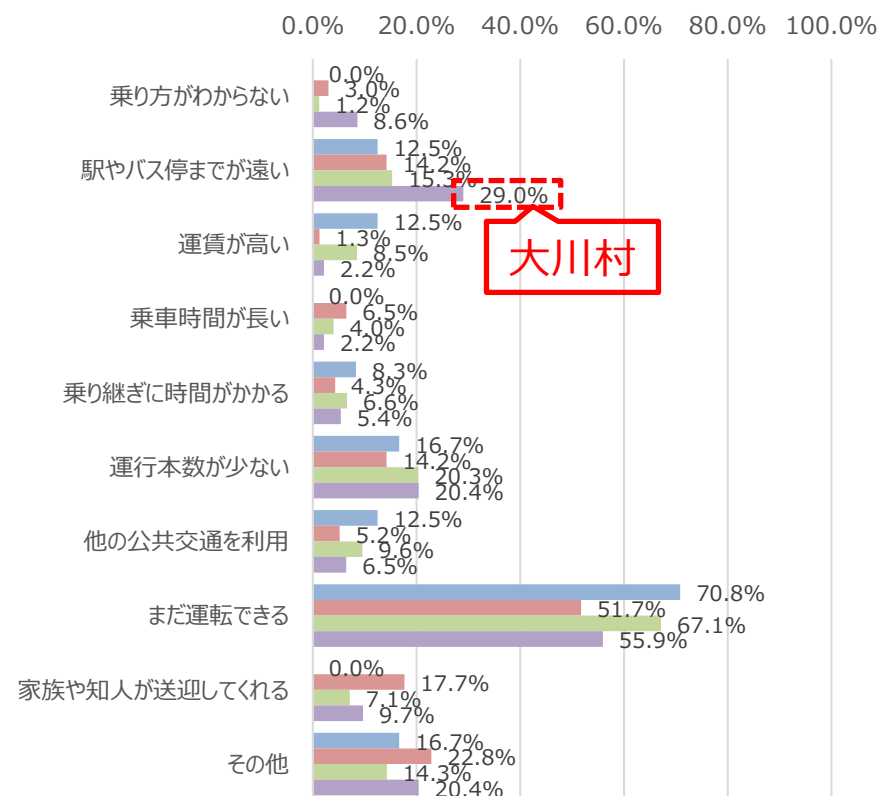
公共交通を使わない理由 (N=924)



※その他：身体が悪いから、利用する必要がないからなど

## 【町村別】

公共交通を使わない理由 (町村別)



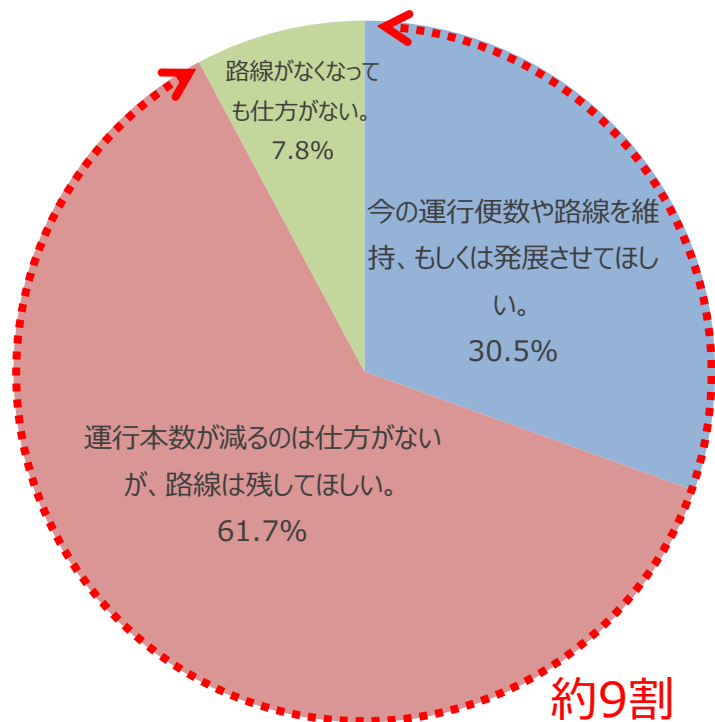
■ 本山町(N=24) ■ 大豊町(N=232) ■ 土佐町(N=575) ■ 大川村(N=93)

# 高齢者アンケート：公共交通サービスについて

- 約9割は公共交通サービスの存続を望んでいる。
- 大川村では、廃線になっても仕方ないと考えている割合が他の町に比べ高い。

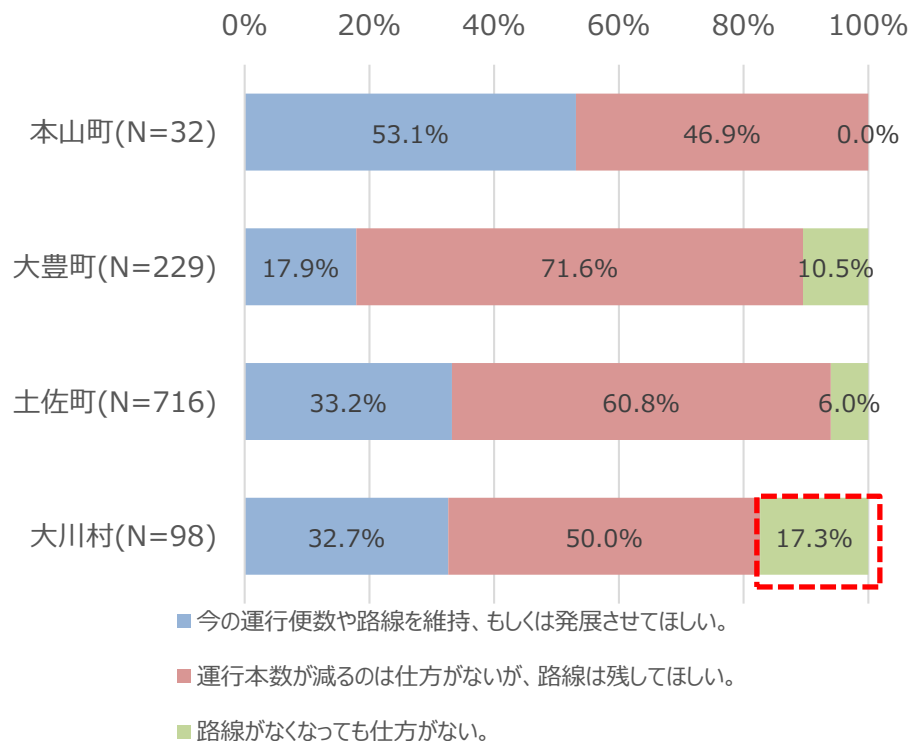
## 【全体】

公共交通サービスについて (N = 1,075)



## 【町村別】

公共交通サービスについて (町村別)



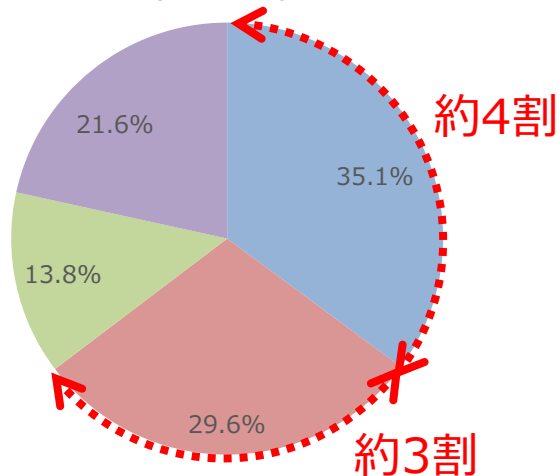
# 高齢者アンケート：公共交通の維持のための負担について

- 「行政負担が必要」と考えている人が約4割、  
「町村民が利用して維持するべき」と考えている人が約3割となっている。

## 【全体】

公共交通の維持のための負担について

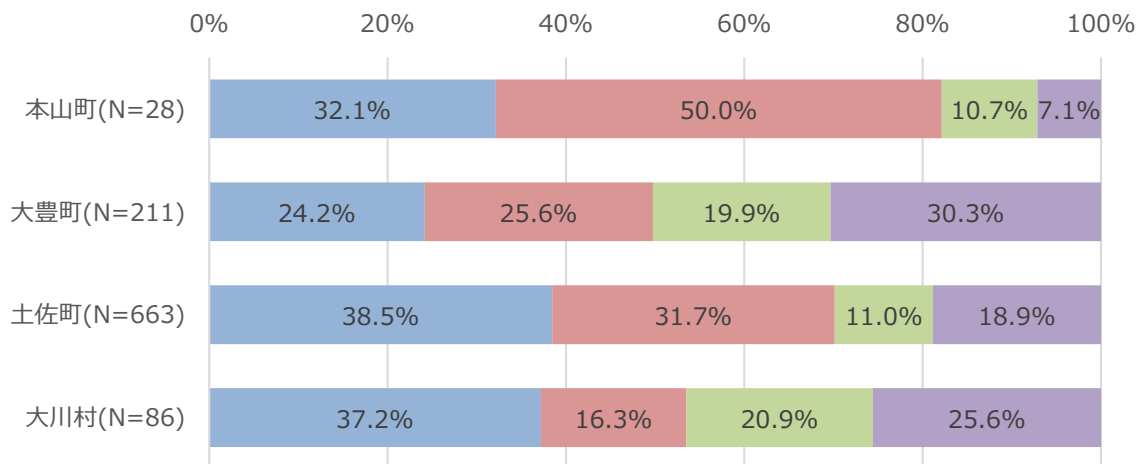
(N = 988)



- 自動車等を利用できない高齢者や学生等のために、行政（町、村）が負担する必要がある。
- 町民・村民が公共交通の利用を増やして、公共交通を維持していく必要がある。
- 運賃を値上げして、公共交通を維持していく必要がある。
- これ以上の負担は必要ではなく、公共交通の運行本数の減少・路線の変更が実施されても構わない。

## 【町村別】

公共交通の維持のための負担について（町村別）



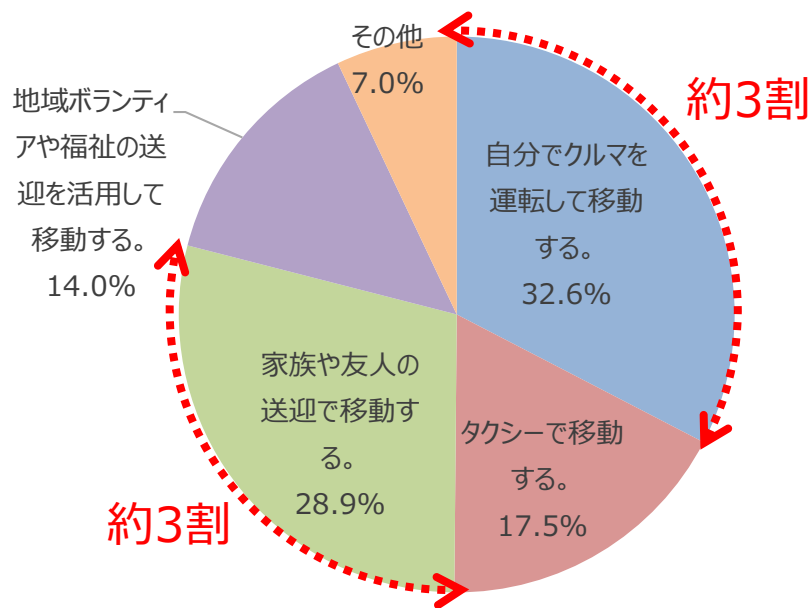
- 自動車等を利用できない高齢者や学生等のために、行政（町、村）が負担する必要がある。
- 町民・村民が公共交通の利用を増やして、公共交通を維持していく必要がある。
- 運賃を値上げして、公共交通を維持していく必要がある。
- これ以上の負担は必要ではなく、公共交通の運行本数の減少・路線の変更が実施されても構わない。

# 高齢者アンケート：公共交通利用が難しくなった場合の移動手段

- 路線の見直し等により公共交通の利用が難しくなった場合の移動手段は、自分で運転する、家族や友人の送迎、がそれぞれ約3割となっている。
- 大豊町では家族や友人の送迎、大川村ではボランティアや福祉の送迎を使う割合が他の町村に比べ高い。

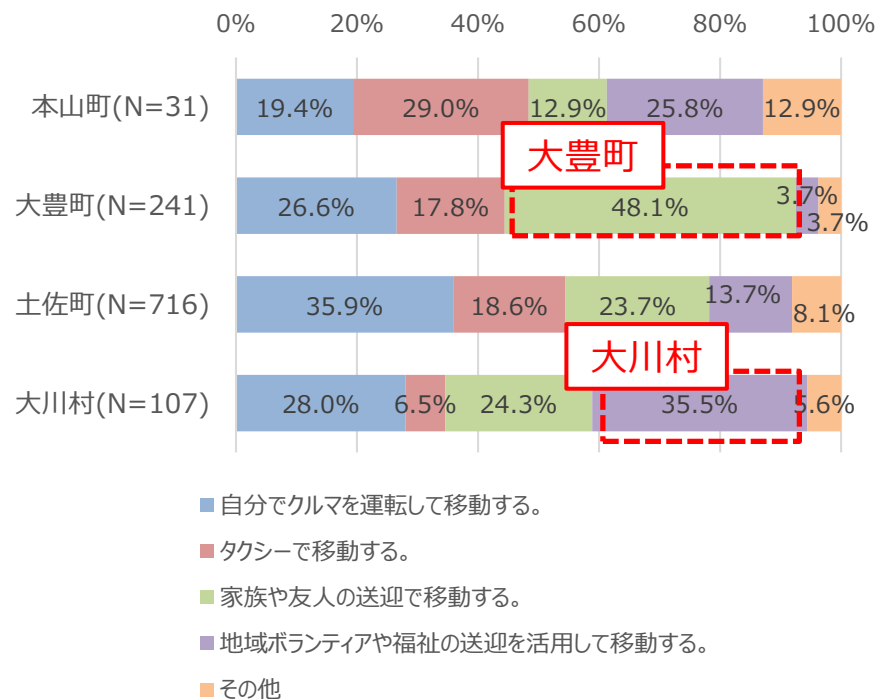
## 【全体】

公共交通利用が難しくなった場合の移動手段  
(N=1,095)



## 【町村別】

公共交通利用が難しくなった場合の移動手段  
(町村別)



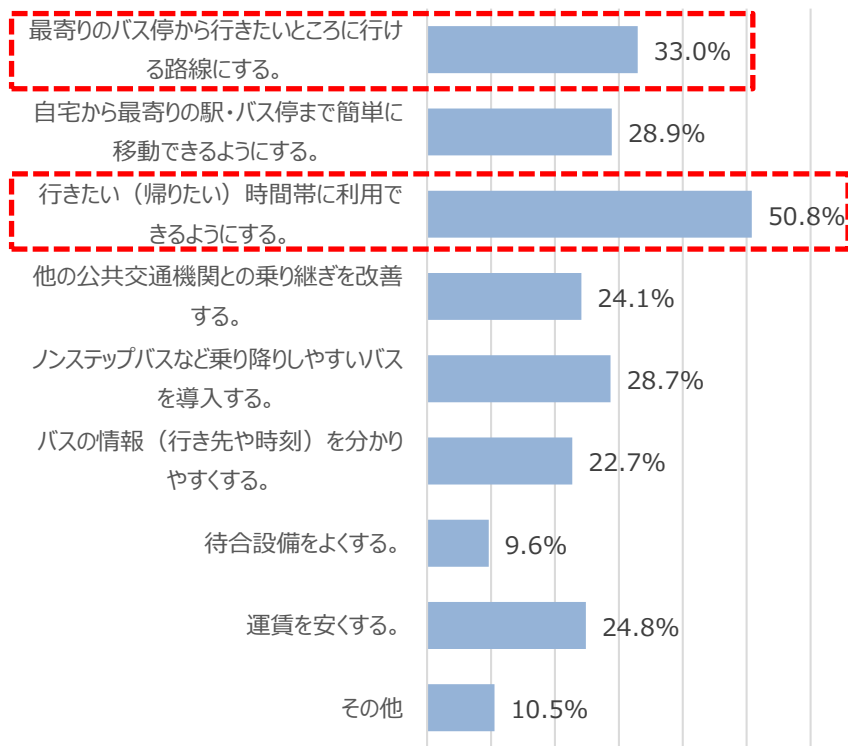
# 高齢者アンケート：公共交通に求めること

- 時間帯に関する要望が最も高く、次いで路線に関する要望が高くなっている。
- 時間帯に関する要望は大川村で特に高くなっている。

## 【全体】

公共交通に求めること (N=986)

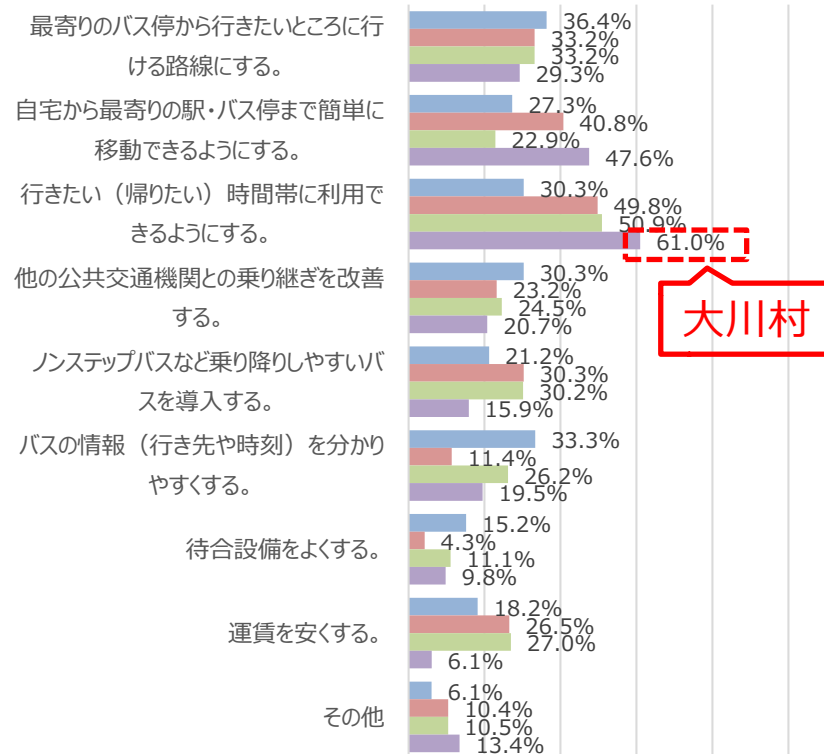
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%



## 【町村別】

公共交通に求めること (町村別)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



大川村

■ 本山町(N=33) ■ 大豊町(N=211)  
■ 土佐町(N=660) ■ 大川村(N=82)

# 若年層保護者アンケート

- ▶ 嶺北地域の若年層の保護者に対して、公共交通の利用と公共交通利用に対する意識調査を実施

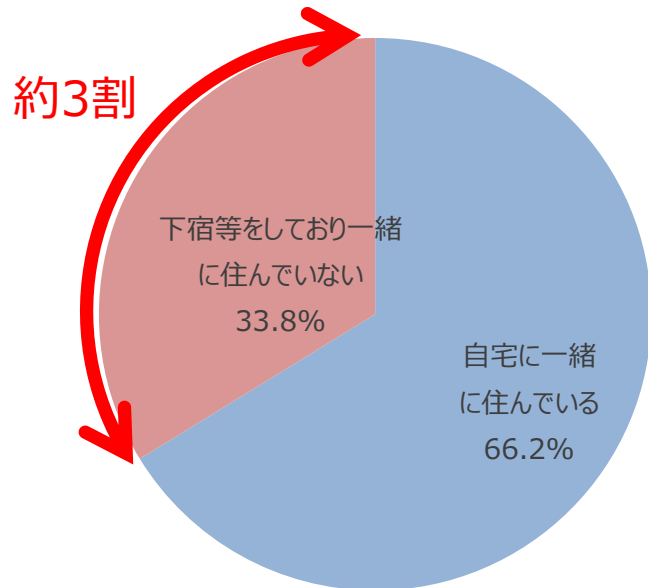
<b>対象</b>	嶺北地域在住の若年層（15歳～18歳）の保護者
<b>実施期間</b>	平成30年9月14日～10月12日
<b>方法</b>	各町村に対象の世帯を抽出を依頼し、調査票を郵送配布・回収
<b>回収率</b>	52.8%（103票/193票）うち高校生の保護者79票 大豊町：29票 土佐町：27票 本山町：19票 大川村：2票
<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 子供の属性 性別、職業、子供との同居・別居の状況</li><li>■ 子供の通学手段 晴天時、雨天時の通学手段、定期券の利用状況、送迎の頻度</li><li>■ 送迎の負担</li><li>■ 公共交通に対する満足度</li><li>■ 公共交通の不満な点</li><li>■ 別居している理由 など</li></ul>

# 若年層保護者アンケート結果：同居・別居の状況

- 約3割は子供が下宿等をしており、一緒に住んでいない。
- 大豊町は一緒に住んでいる割合が約9割となっており、4町村の中で最も高い。

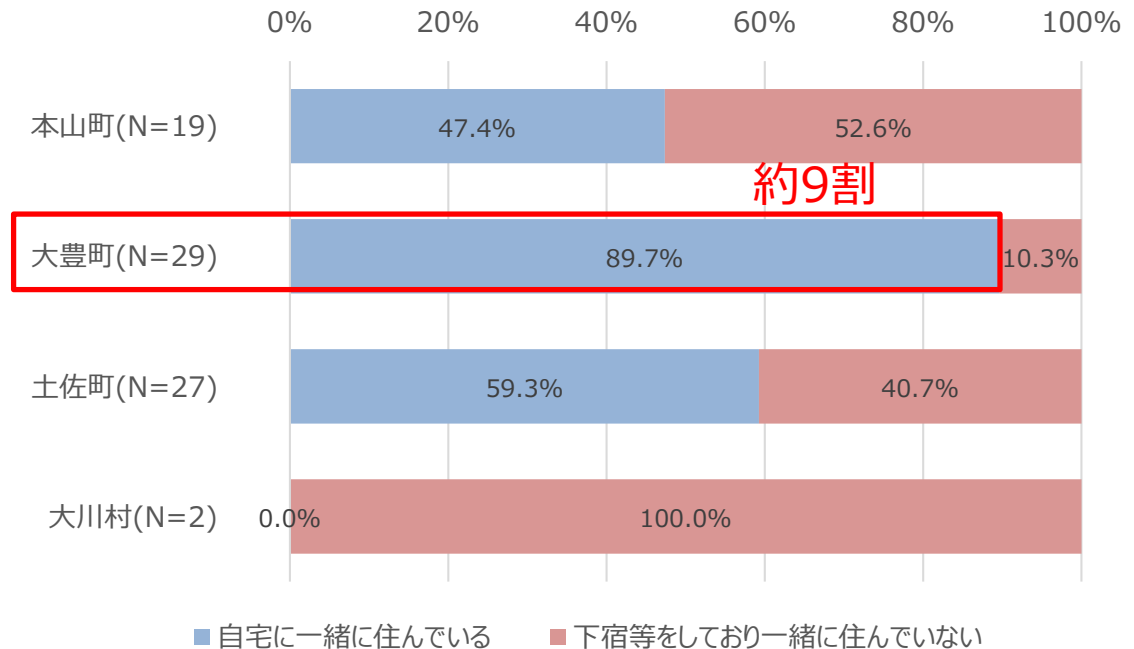
## 【全体】

子供との同居・別居の状況 (N = 77)



## 【町村別】

子供との同居・別居の状況 (町村別)

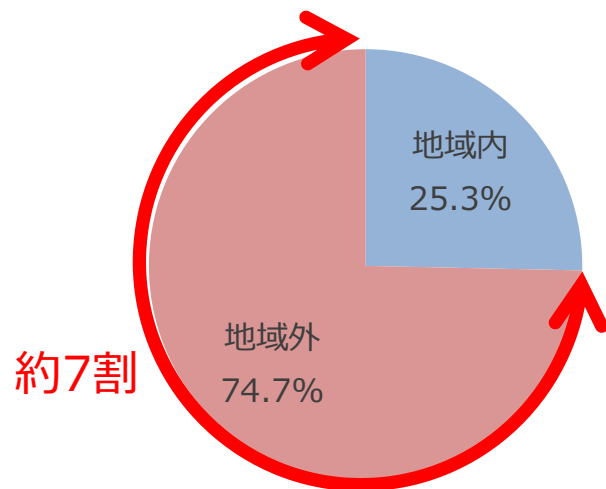


# 若年層保護者アンケート結果：通学先の場所

- 約7割は嶺北地域外に進学している。
- 大豊町、大川村からは嶺北地域内に通学している学生がいない。

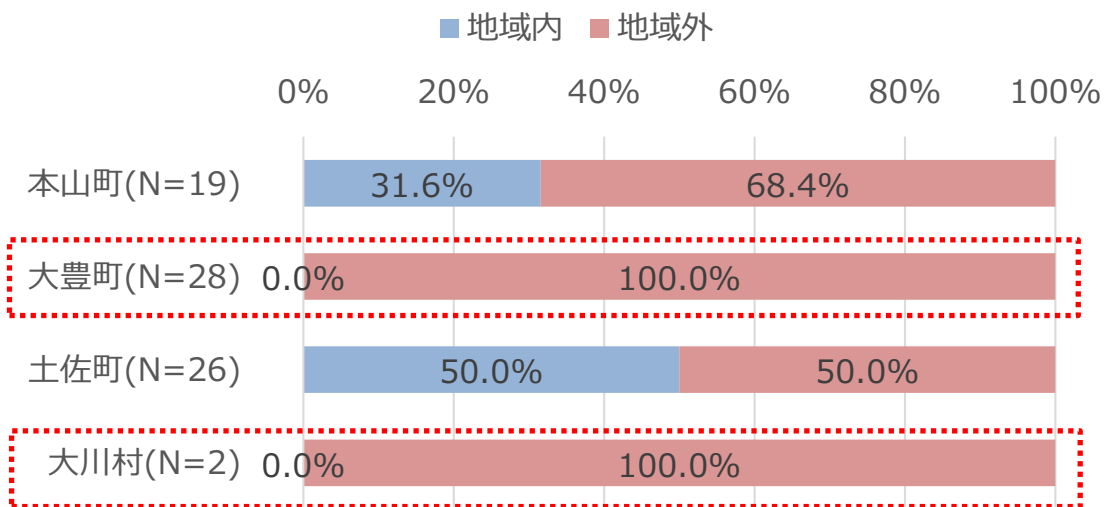
## 【全体】

通学先 (N = 75)



## 【町村別】

通学先 (町村別)



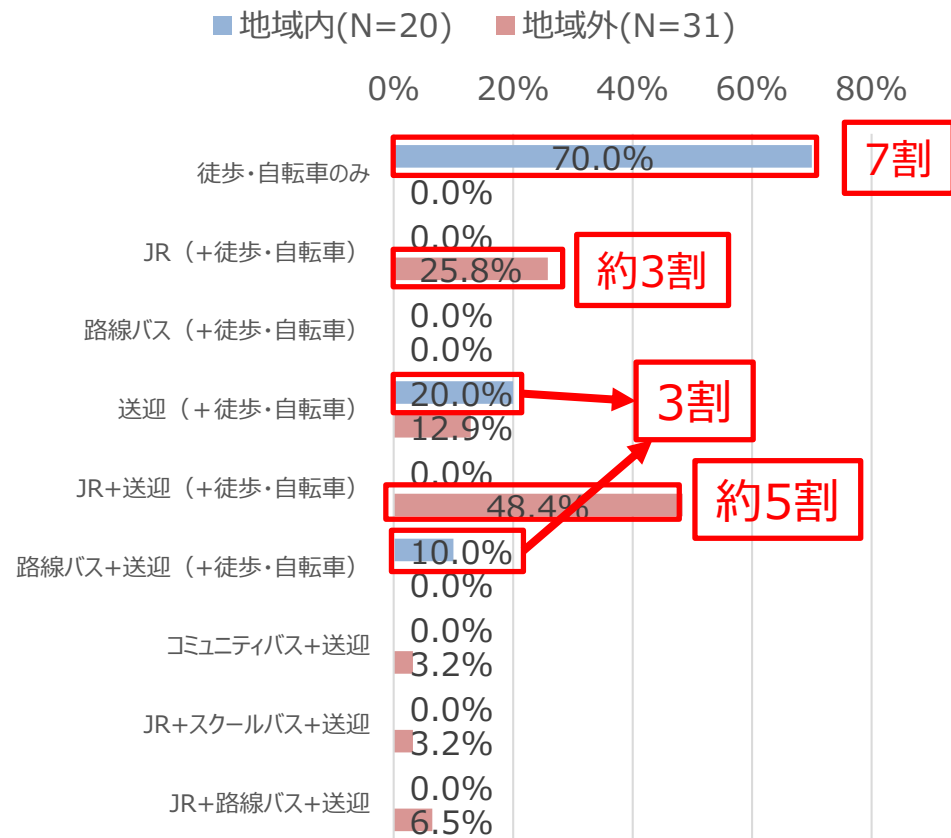
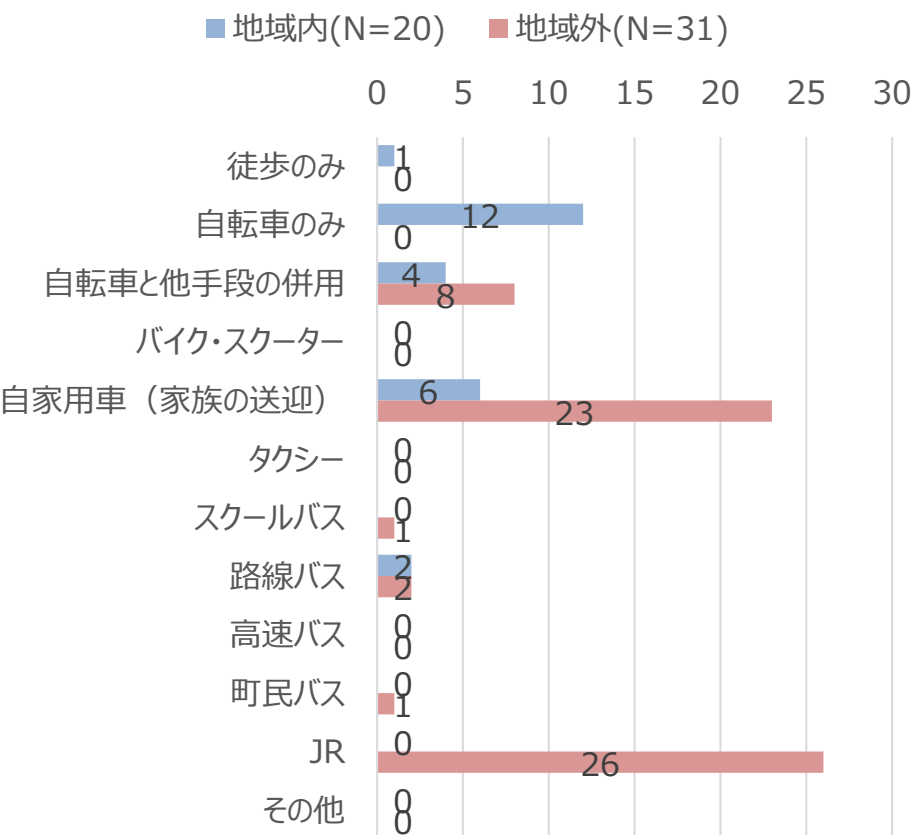


# 若年層保護者アンケート結果：通学手段

- 通学先が地域内：徒歩・自転車のみが7割、送迎利用者が3割
- 通学先が地域外：JR+送迎（+徒歩・自転車）が約5割、JR（+徒歩・自転車）が約3割

### 【利用者数（複数回答）】

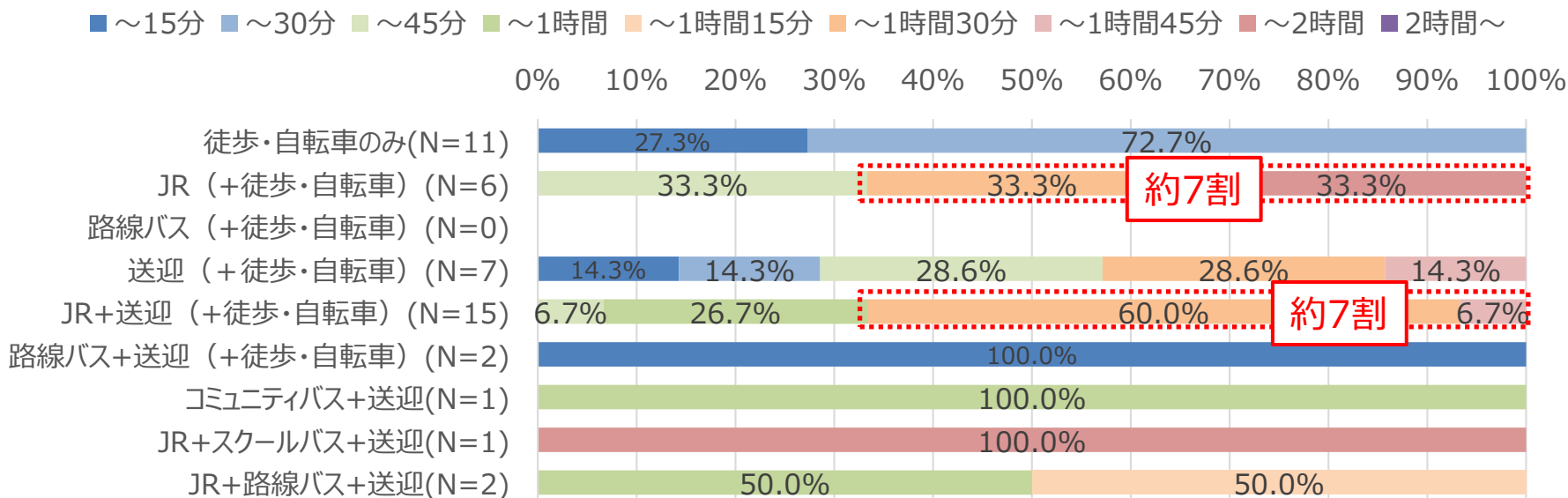
### 【利用パターン】



- 鉄道利用者の約7割は1時間以上かけて通学
- 地域内に通学している学生の約8割は30分以内に通学可能だが、地域外に通学している学生の約7割は1時間以上かけて通学

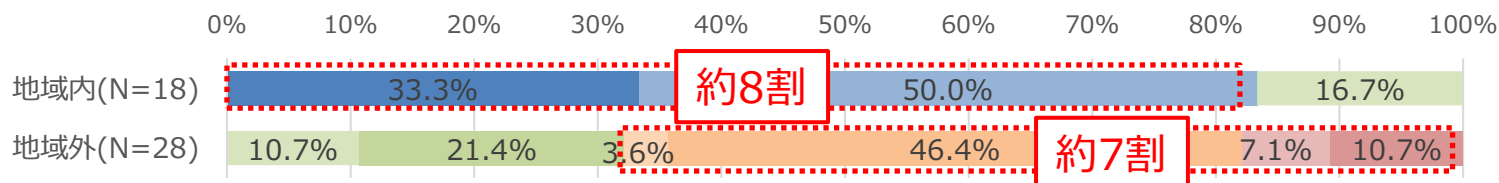
## 【通学手段別】

通学時間（通学手段別）



## 【通学範囲別】

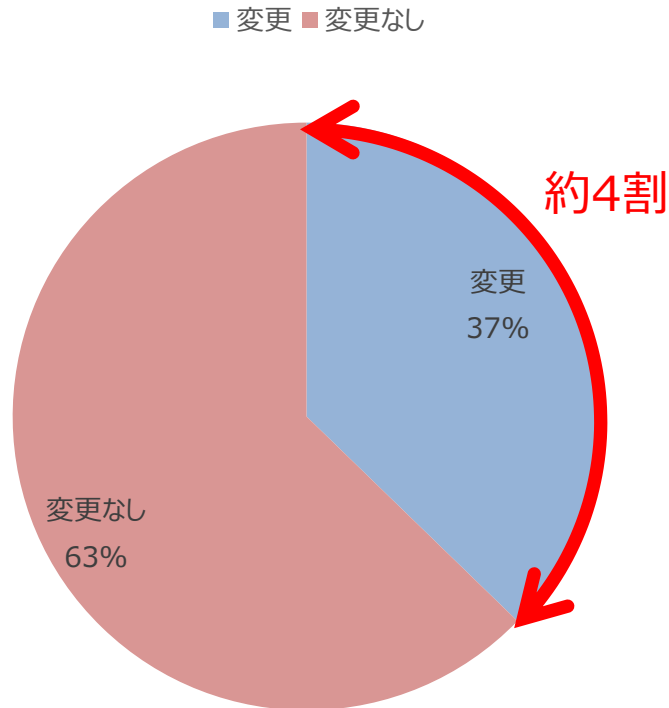
通学時間（通学範囲別）



- ▶ 雨天時には4割が交通手段を変更しており、晴天時は自転車等を利用する人が雨天時は家族の送迎に変更となっている。

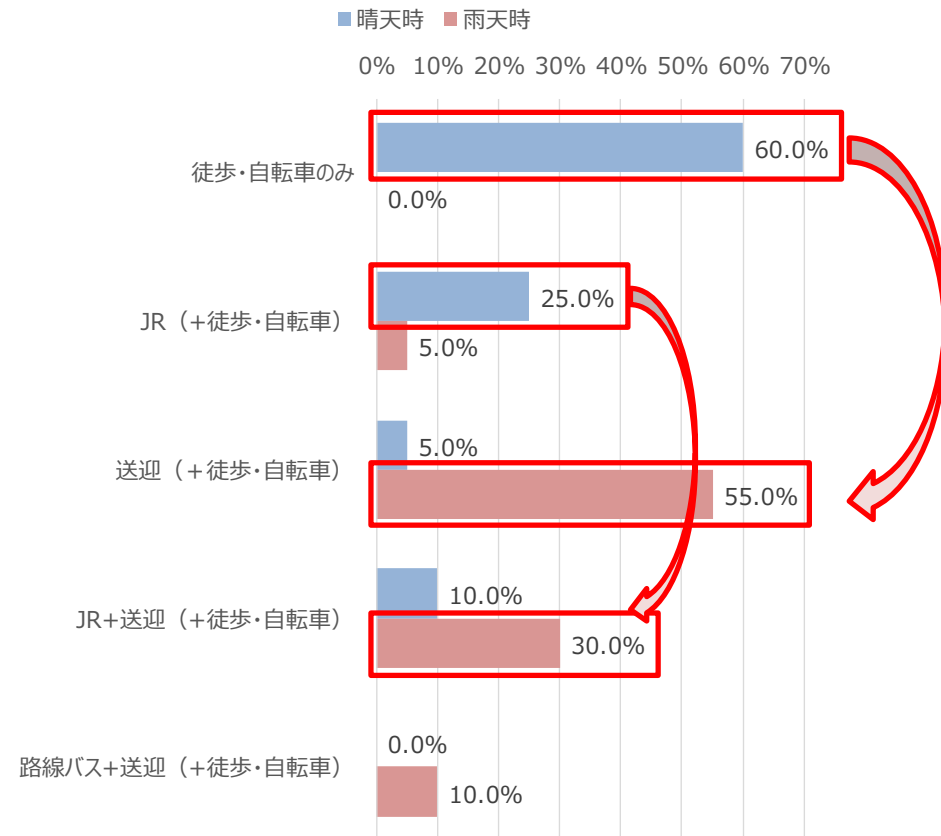
## 【変更の有無】

雨天時の交通手段 (N=50)



## 【変更状況】

通学手段 (雨天時に変更しているN=20人)

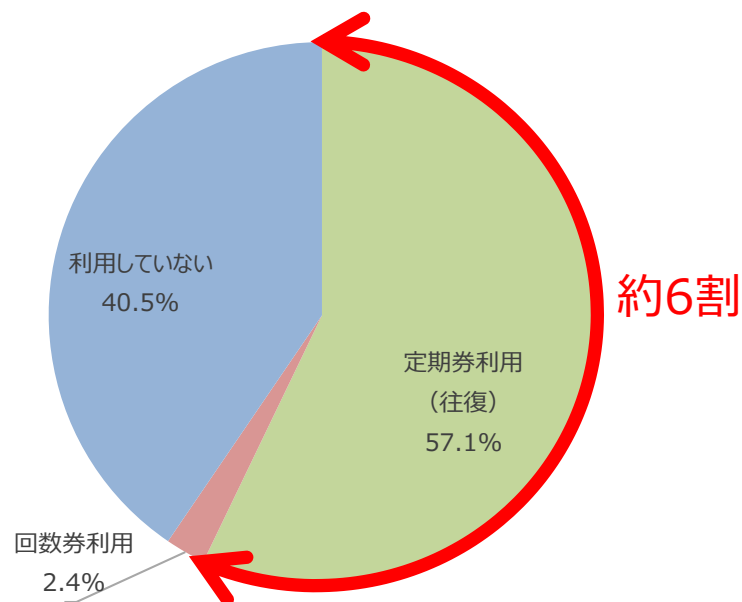


- 約6割が定期券を利用している。
- 約4割が1万円/月以上の定期代となっている。

## 【利用状況】

定期券・回数券の利用状況 (N = 42)

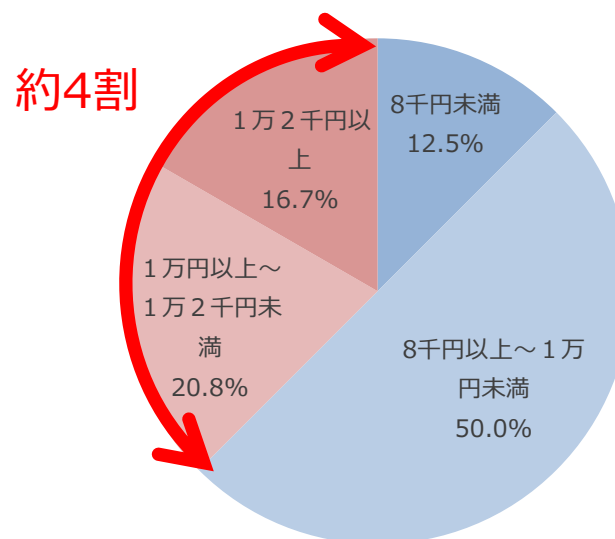
■ 定期券利用 (往復) ■ 回数券利用 ■ 利用していない



## 【支払額】

定期利用金額 (月額) (N = 24)

■ 8千円未満 ■ 8千円以上～1万円未満  
■ 1万円以上～1万2千円未満 ■ 1万2千円以上

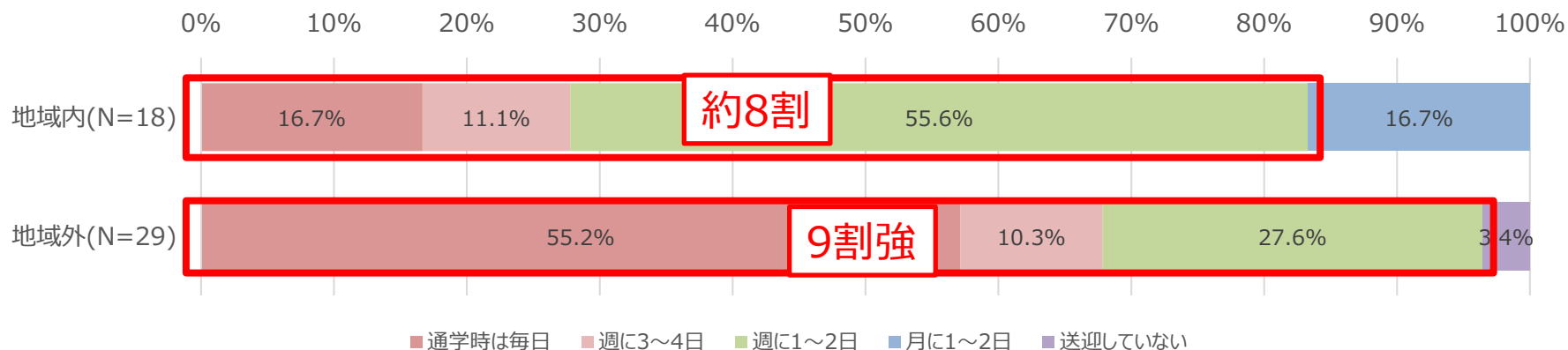


# 若年層保護者アンケート結果：送迎頻度

- 地域内の通学者の約8割、地域外の9割強は、週に1回以上送迎されている。
- 送迎を大変と感じる人は7割弱となっている。

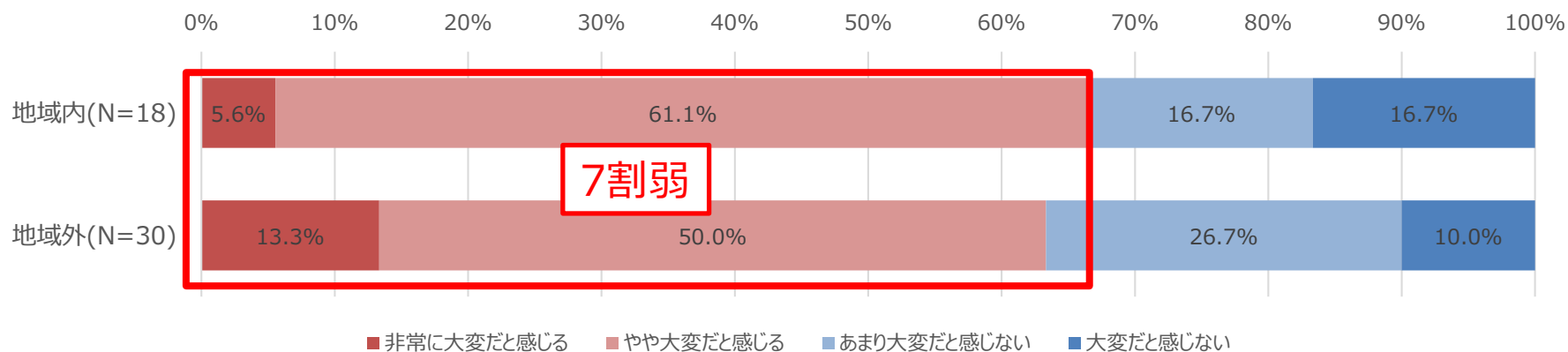
## 【送迎頻度】

自家用車で送迎する頻度



## 【送迎への負担感】

送迎を大変だと感じることもあるか

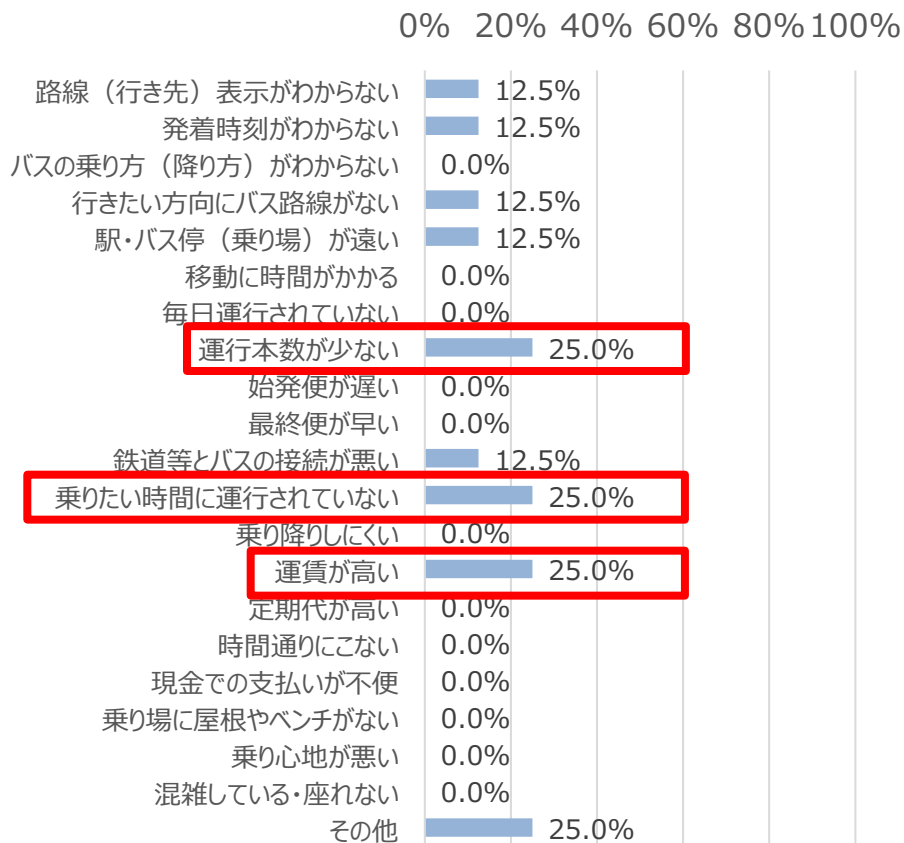


# 若年層保護者アンケート結果：公共交通への満足度

- 地域内：運行本数、運行時間、運賃に対する不満が多い。
- 地域外：運行本数、運行時間、移動時間に対する不満が多い。

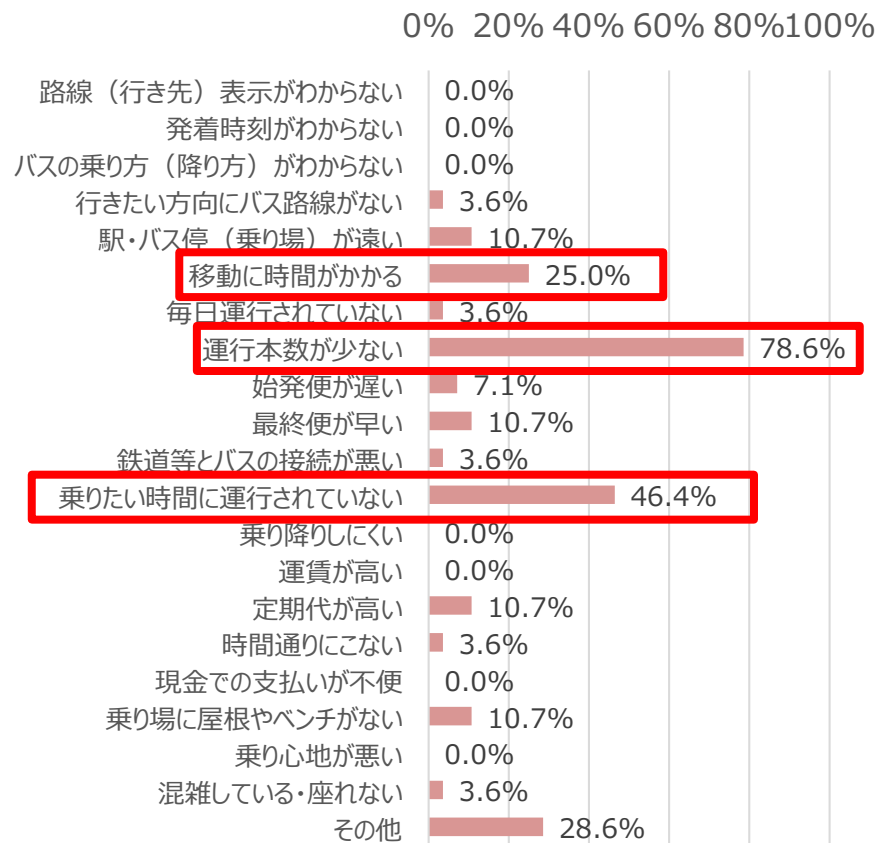
## 【地域内】

公共交通に対する不満（地域内：N=8）



## 【地域外】

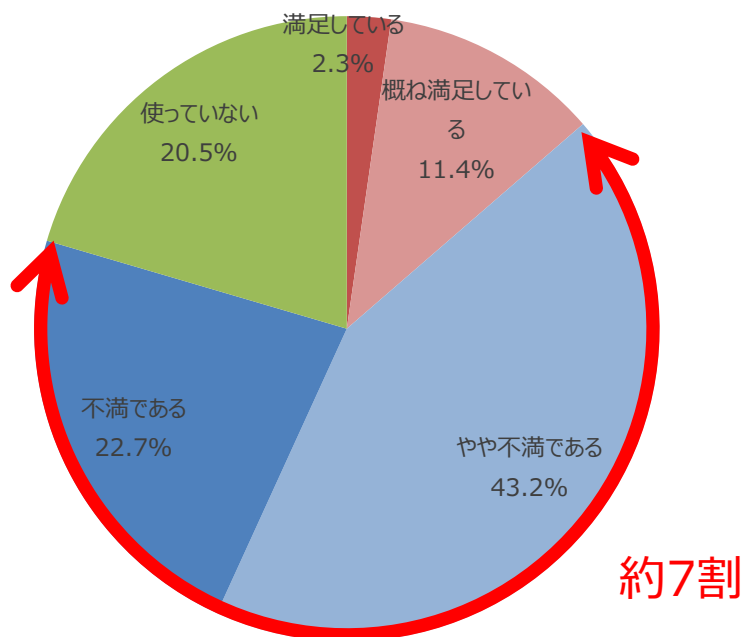
公共交通に対する不満（地域外：N=28）



- 約7割が公共交通に不満を持っている。
- 約8割は今後も継続的な公共交通を利用したいと考えている。

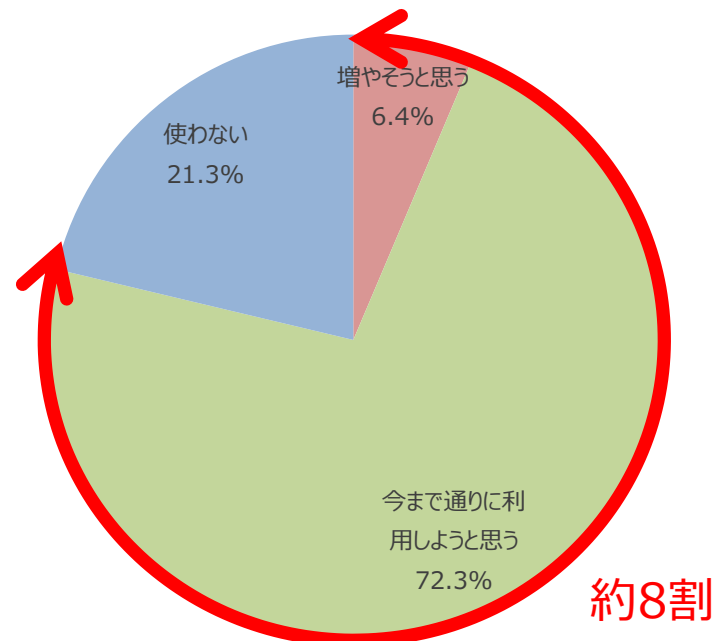
## 【公共交通に対する満足度】

公共交通に対する満足度 (N=44)



## 【今後の利用意向】

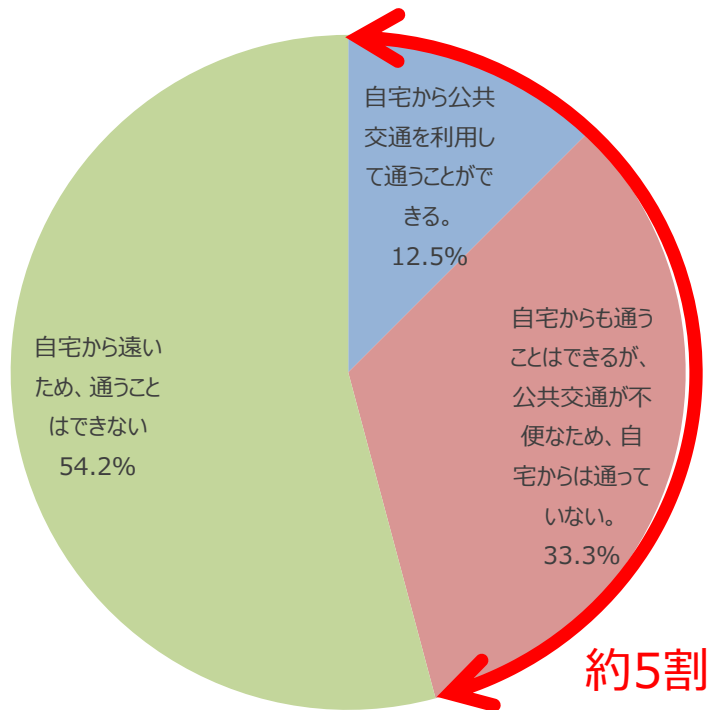
公共交通の利用意向 (N=47)



- 下宿等をしている学生のうち約5割は自宅から通学が可能
- 町村別で見ると、本山町では約4割、大豊町では約7割、土佐町では約5割が自宅から通学が可能

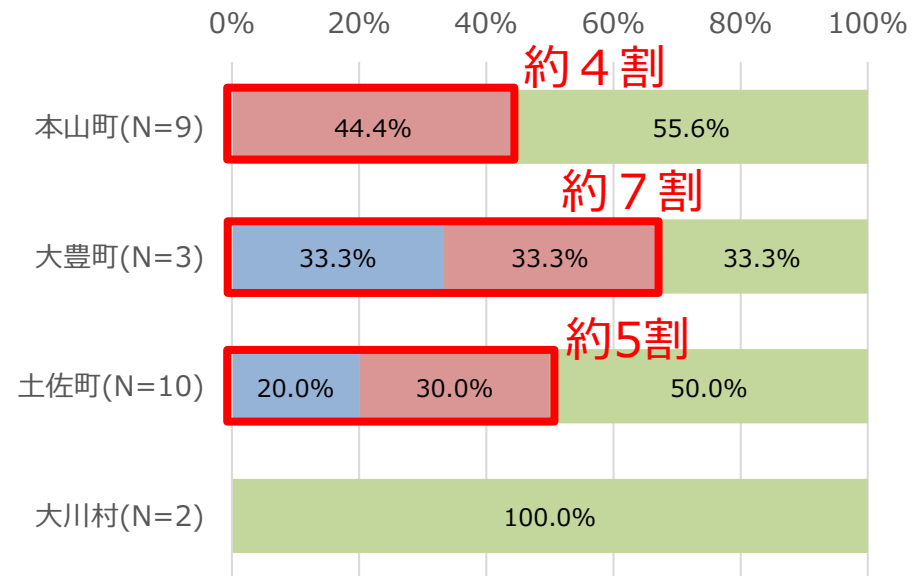
## 【全体】

自宅からの通学の可否 (N = 24)



## 【町村別】

自宅からの通学の可否 (N = 24)



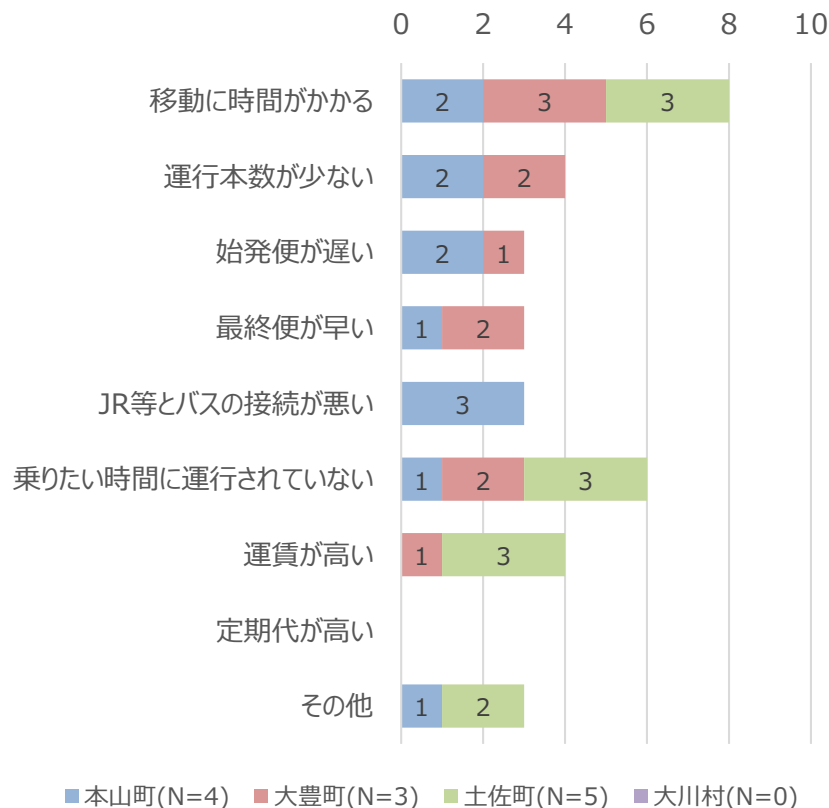
- 自宅から公共交通を利用して通うことができる。
- 自宅からも通うことはできるが、公共交通が不便なため、自宅からは通っていない。
- 自宅から遠いため、通うことはできない



- 下宿等をさせている理由として、移動に時間がかかる、乗りたい時間に運行されていない、などが多く挙げられている。

## 【町村別】

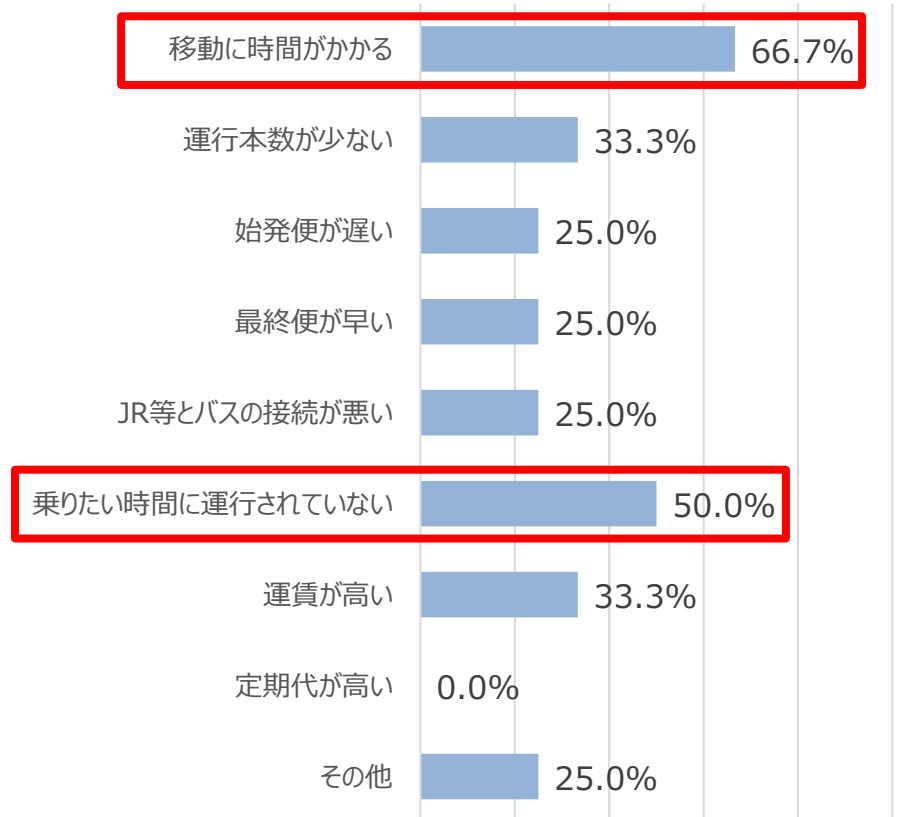
公共交通を利用して通学しない理由  
(町村別)



## 【全体】

公共交通を利用していない理由 (N=12)

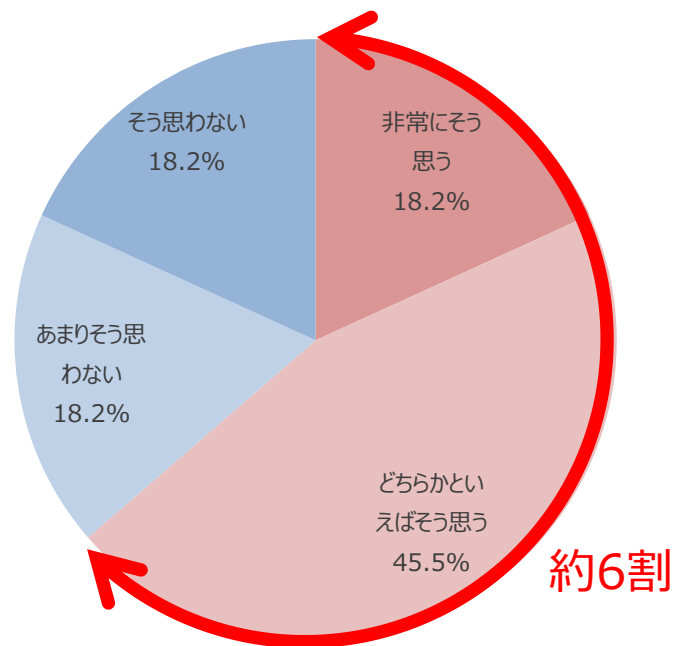
0% 20% 40% 60% 80% 100%



- 下宿している学生のうち約6割は、公共交通の利便性が向上すれば、自宅から通学に代わる可能性がある。
- 自宅からの1カ月の定期代として5千円～1万円の回答が約4割となっている。

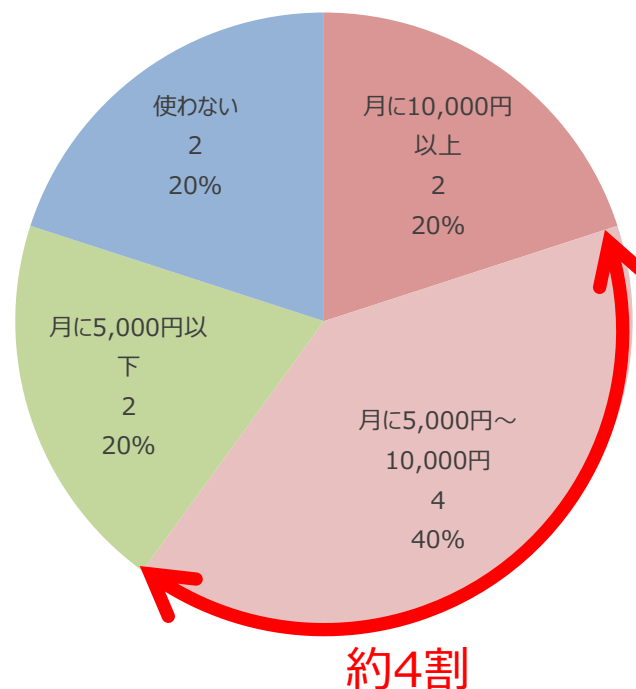
## 【利便性の影響】

公共交通の利便性が向上したら、  
自宅から通学させたいと思うか (N=11)

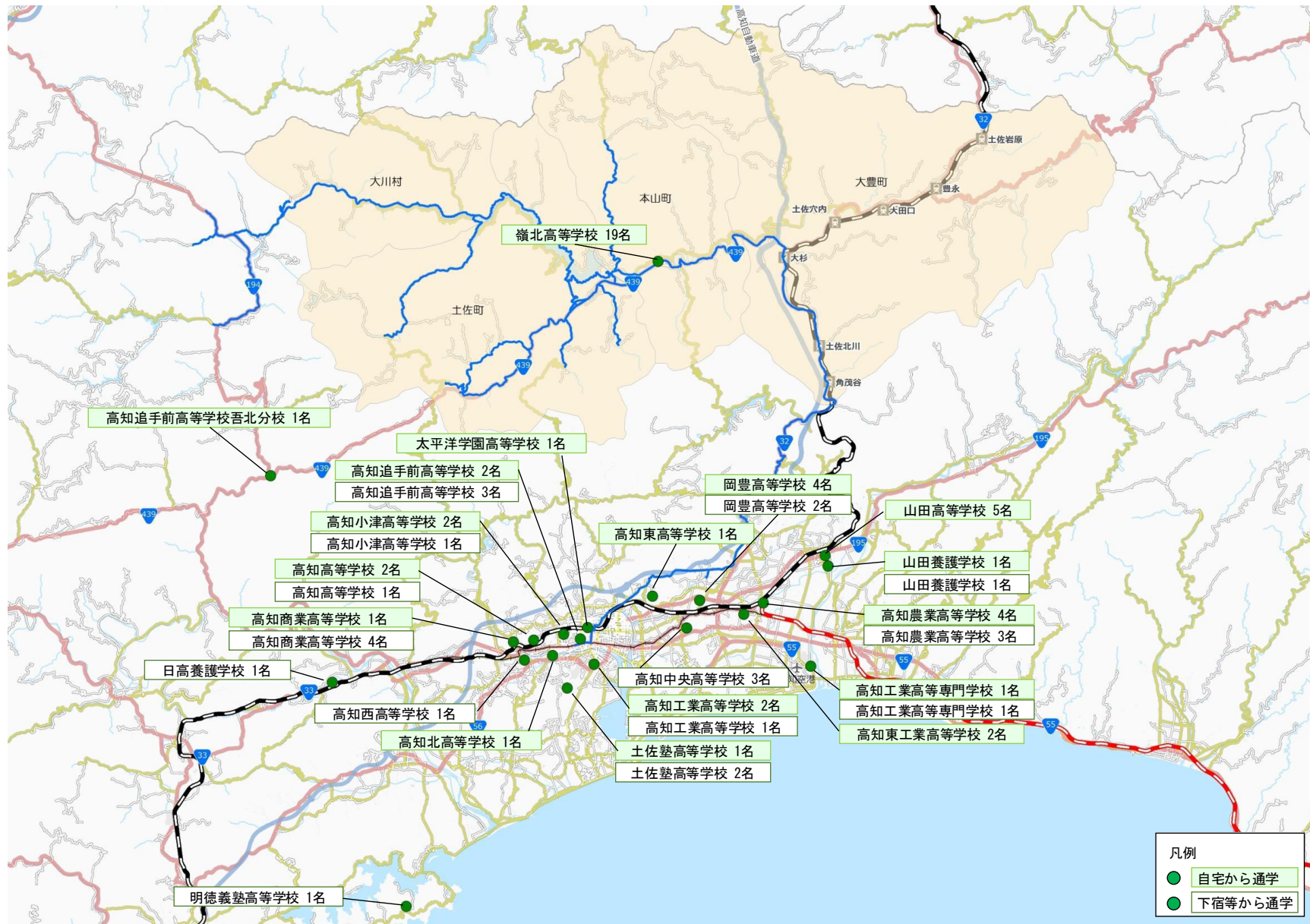


## 【定期代の影響】

通学定期がいくらなら公共交通を利用してもよいと思うか  
(N = 10)



# 参考：進学先の学校



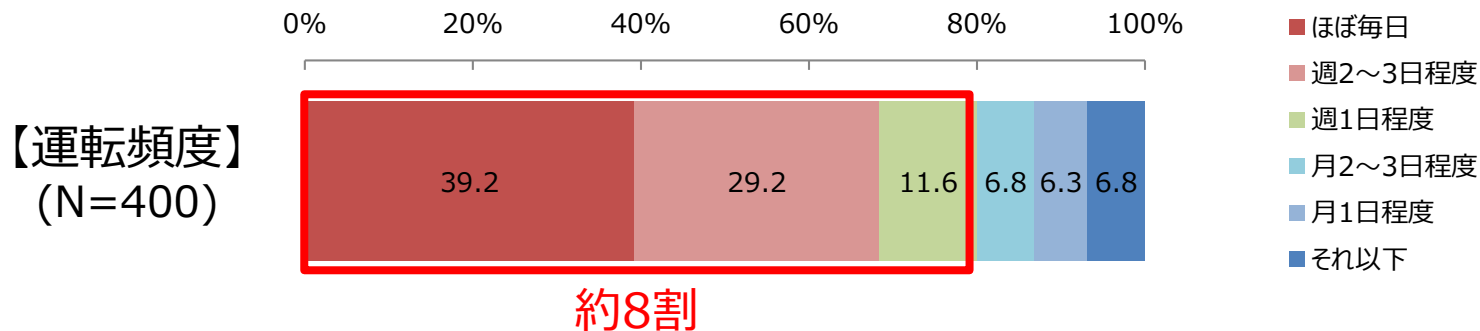
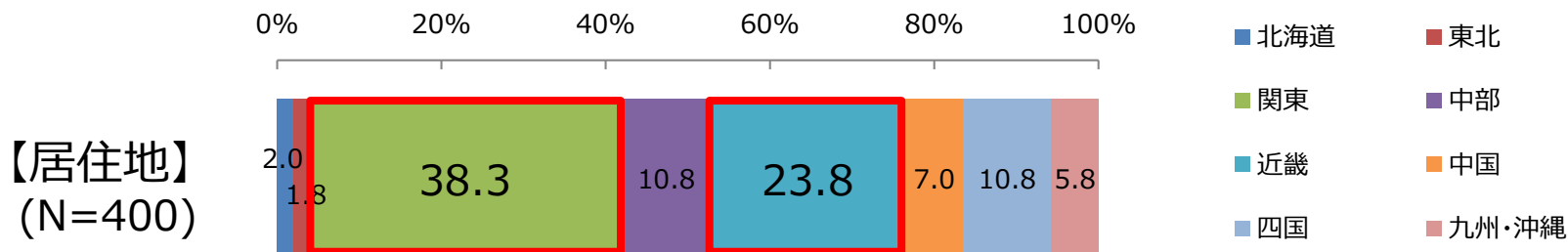
# 来訪者アンケートの概要

➤ 高知県外からの来訪者に対し、公共交通の利用実態及び意識調査を実施

対象	高知県外居住者のうち、過去1年以内に嶺北地域に来訪し、かつ公共交通機関を利用して高知県内に訪れた方
実施	平成30年9月21日～9月26日
方法	民間WEBアンケート調査会社を介して実施
回収	400票
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 利用者属性 居住地、性別、年齢、運転免許有無、運転頻度</li><li>■ 移動特性（最近の移動） 来訪した月・曜日 目的地、移動目的、同行者 地域まで／地域内での移動手段</li><li>■ 公共交通に対する不満な点 不満点が改善された場合の利用意思</li><li>■ 今後の地域の公共交通に対する意向 公共交通の見直しに際し重視すべき点 大杉駅に停車する特急が増便した場合の利用意向 大豊バスストップ・高知市街間で高速バスを利用できるとした場合の利用意向</li></ul>

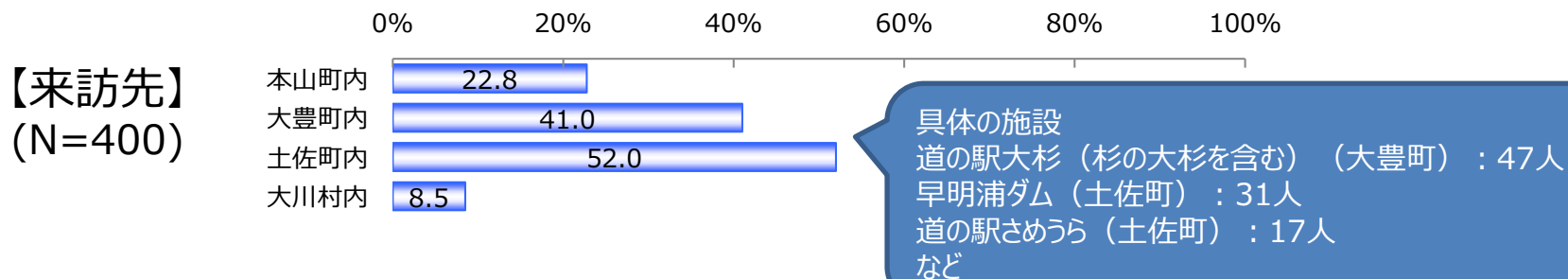
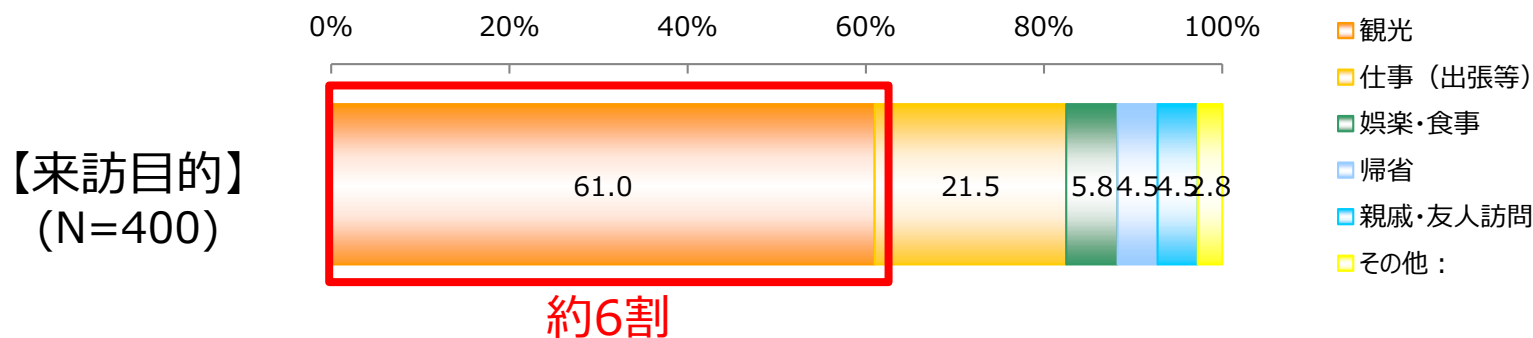
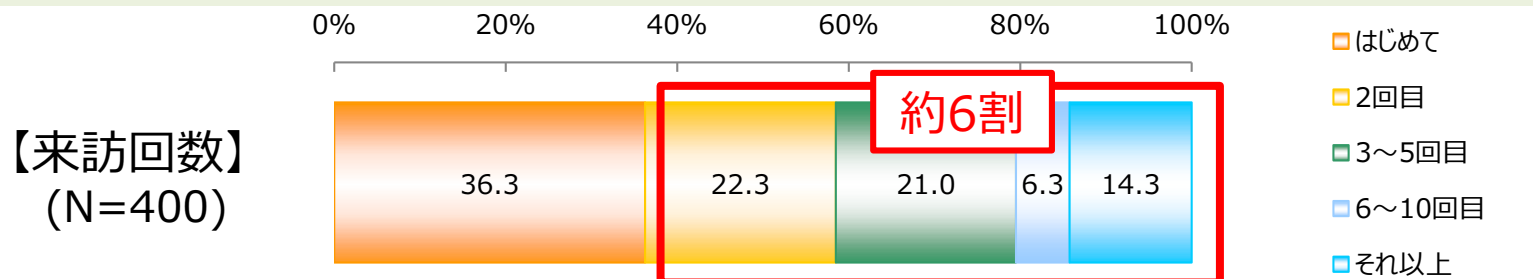
# 来訪者アンケート結果：来訪者属性

- 関東からの来訪者が最も多く（38.3%）、次いで近畿（23.8%）が多い。
- 回答者の**約8割が週1日以上**運転している。



# 来訪者アンケート結果：来訪目的、来訪先

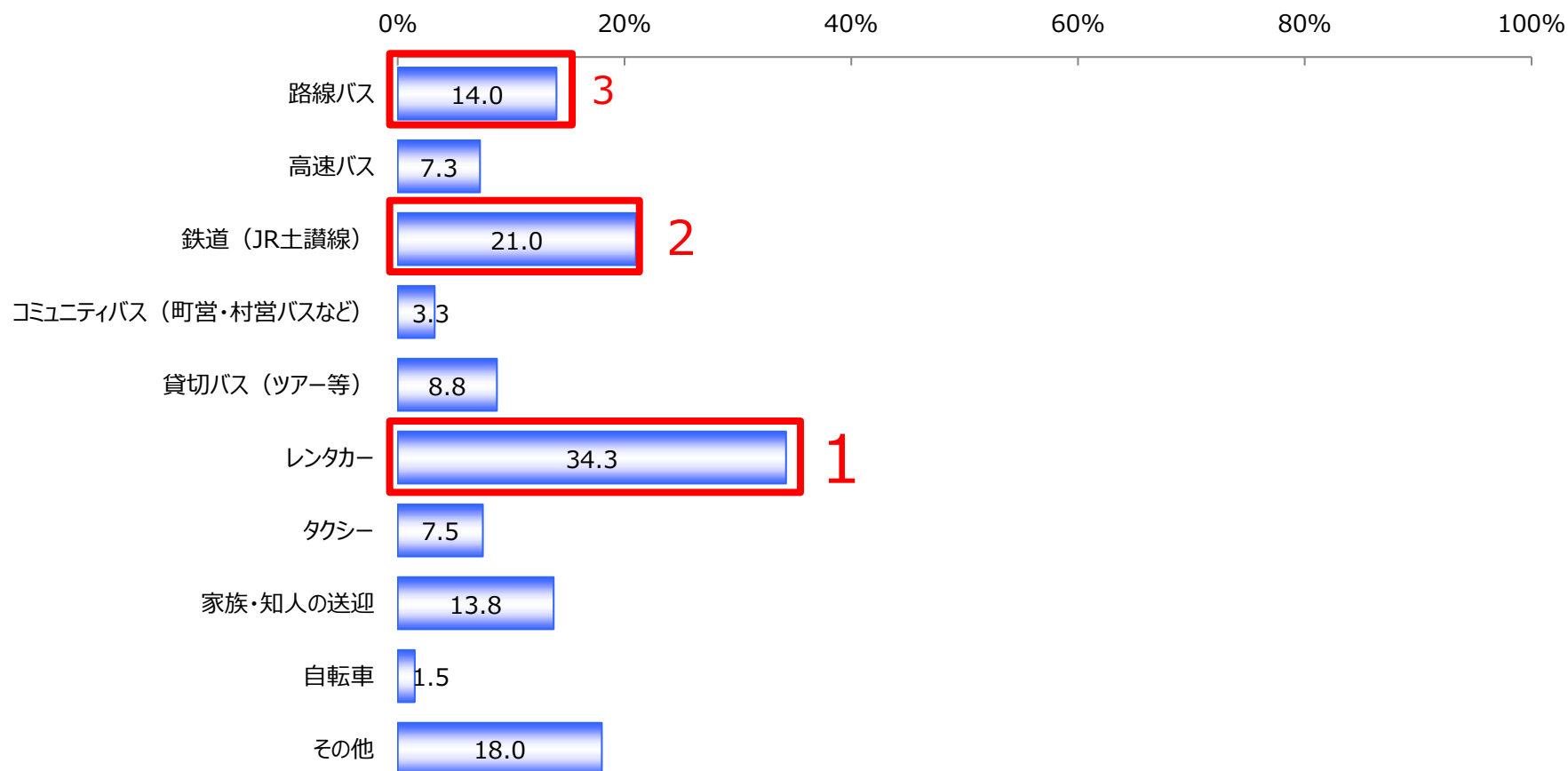
- 来訪者の**約6割は2回目以上**の訪問で、**約6割が観光**に訪れている。
- 主な目的地としては、**土佐町（52%）**、**大豊町（41%）**が多く、**具体的な施設**としては**杉の大杉（47人）**、**早明浦ダム（31人）**が挙げられている。



# 来訪者アンケート結果：移動手段

- 地域内での移動手段のうち、最も多かったのはレンタカー（約3割）
- 以下、JR土讃線（約2割）、路線バス（1割強）と続く

地域内での移動手段(N=400)



※その他：社用車、バイクなど

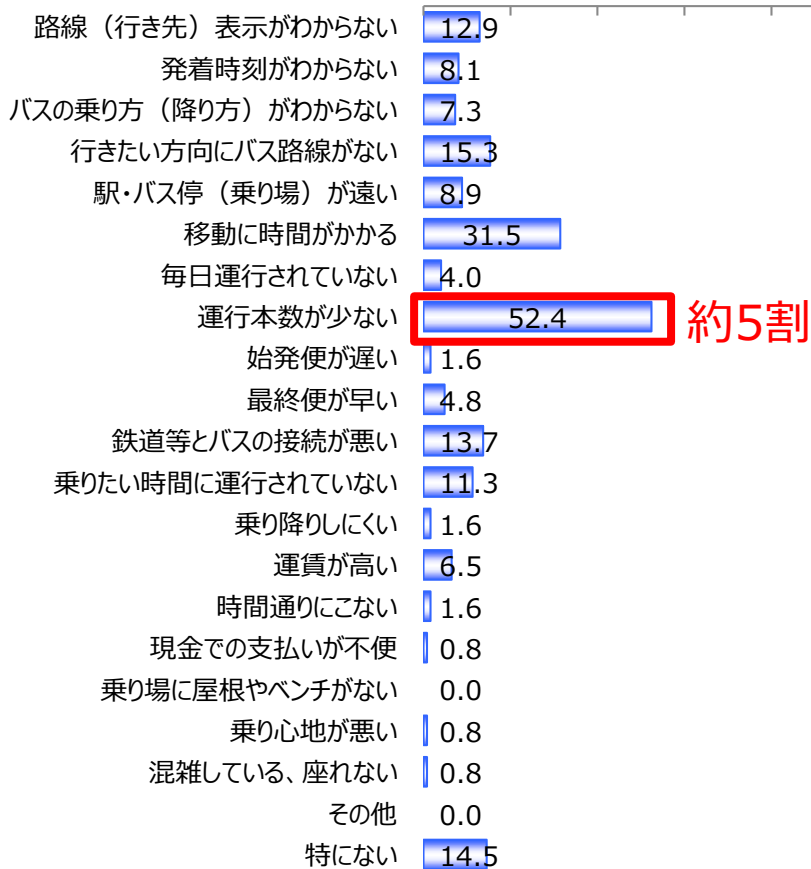


# 来訪者アンケート結果：公共交通に対する不満

- 不満点の回答者の約5割が、**運行本数が少ない**ことに不満
- 見直すべき点についても、回答者の約4割が**1日の運行本数**を重視

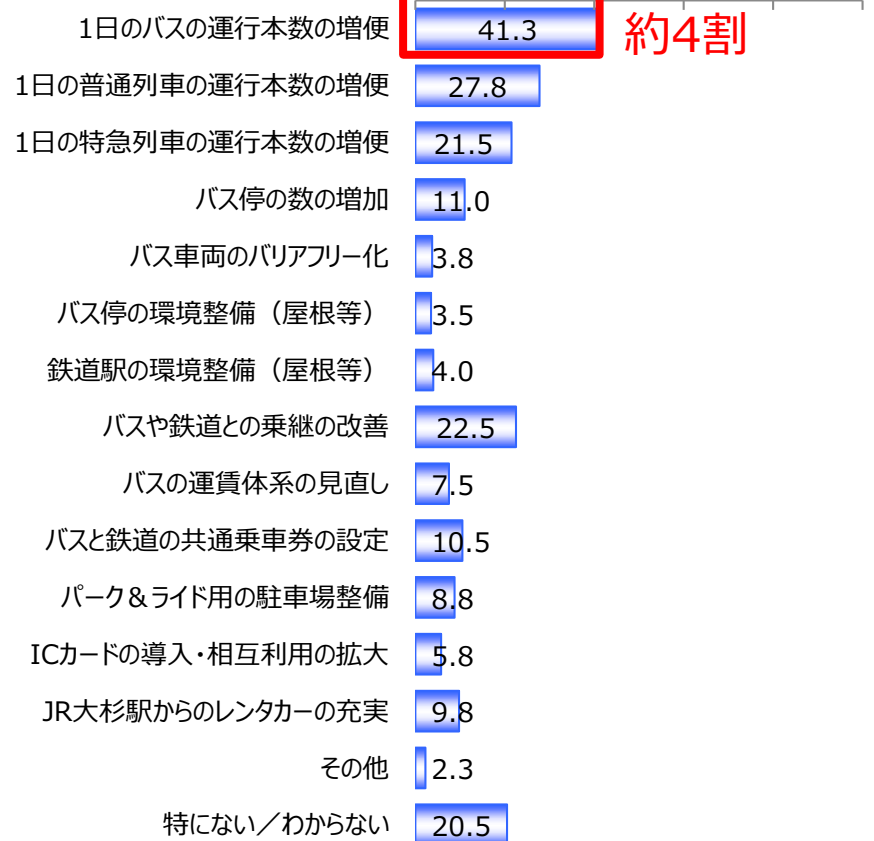
公共交通に対する不満点(N=124)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



公共交通を見直す際に重視すべき点(N=400)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

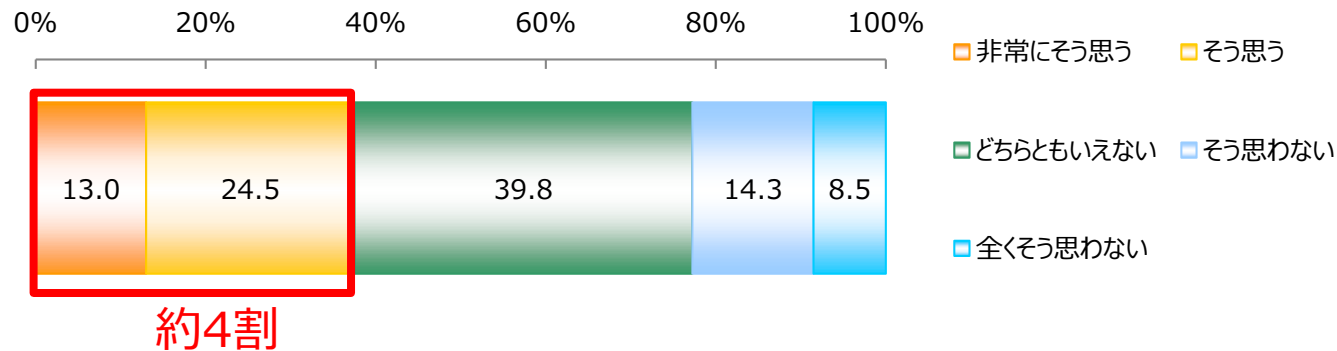




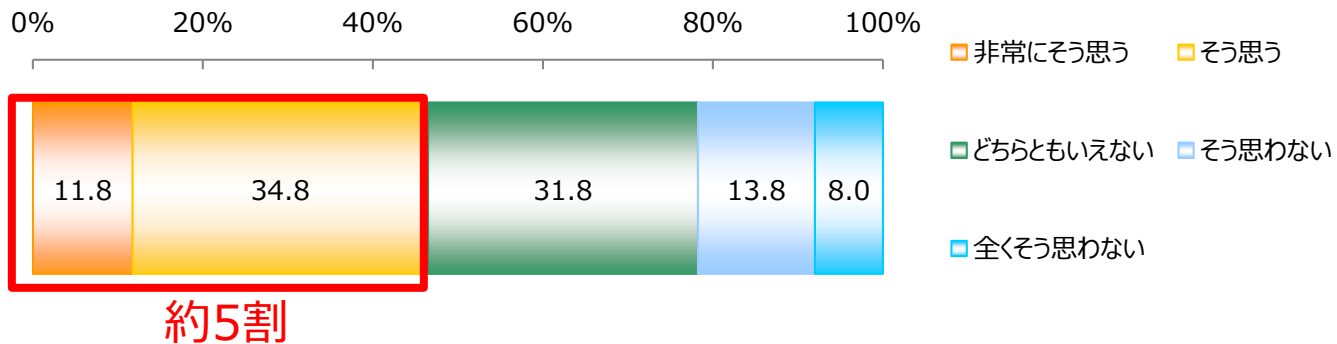
# 来訪者アンケート結果：特急列車・高速バスの改善

- 大杉駅に停車する**特急列車が増便した場合、約4割が利用したいと回答**
- 大豊バスストップ・高知市内間を**高速バスで移動できる場合、約5割が利用したいと回答**

【もし大杉駅に停車する特急列車が増便した場合、利用したいと思いますか(N=400)】



【もし、大豊バスストップを利用して高知市内との移動ができるようになった場合、利用したいと思いますか(N=400)】



# 自治体アンケートの概要

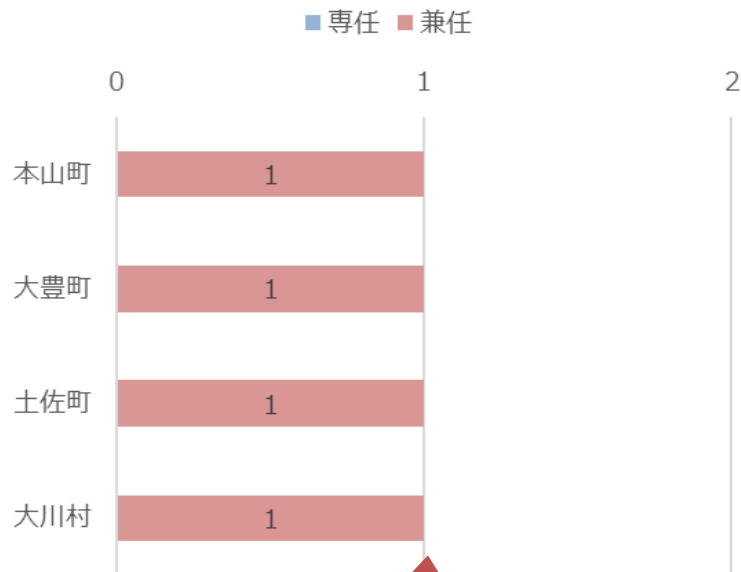
➤ 高知県外からの来訪者に対し、公共交通の利用実態及び意識調査を実施

対象	高知県嶺北地域の各町村（本山町、大豊町、土佐町、大川村）
実施	平成30年7月23日～8月2日
方法	各市町村の担当者に対し、メールにてexcel形式のアンケート票を配布・回収
回収	全4町村より回答（100%）
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 交通関連事業での国・県等の補助金の活用状況 国や高知県から受けた交通関連補助 公共交通利用者への支援施策</li><li>■ 地域公共交通に関する施策の取り組み状況 各市町村の公共交通担当者数、協議会の有無 市町村単位での公共交通網形成計画等の策定状況</li><li>■ 陸上交通（自動車運送）の状況 各市町村に存在する交通資源（バス・タクシー等）に対する支援・負担状況 交通資源・公共交通事業における課題</li><li>■ 身近な移動手段確保に向けた意見 協議会において取り組んで行きたい事項</li></ul>

# 自治体アンケートの結果

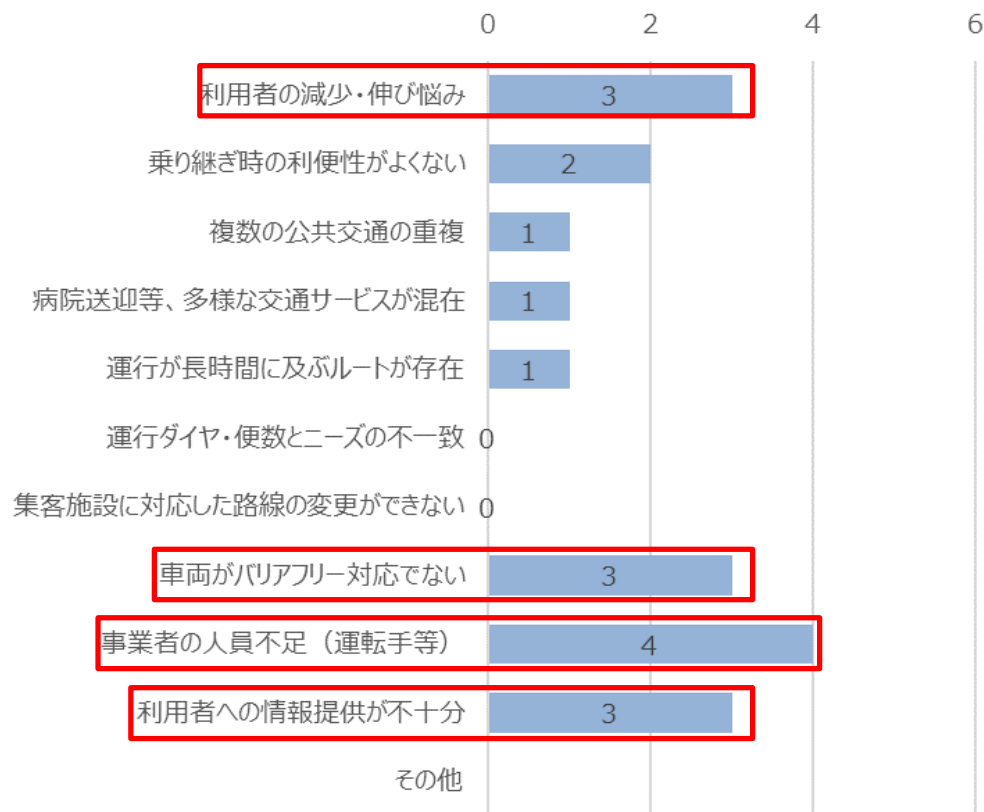
- 全4町村で、公共交通に関する行政は兼任担当者1名で対応している。
- 自治体内の交通資源に対しては、事業者の人員不足、利用者への情報提供、利用者の減少・伸び悩み、車両のバリアフリー対応が課題と考えられている。

公共交通の担当者数



全4町村が  
兼任1名のみ

自治体内での交通資源に対する課題 (N=4)

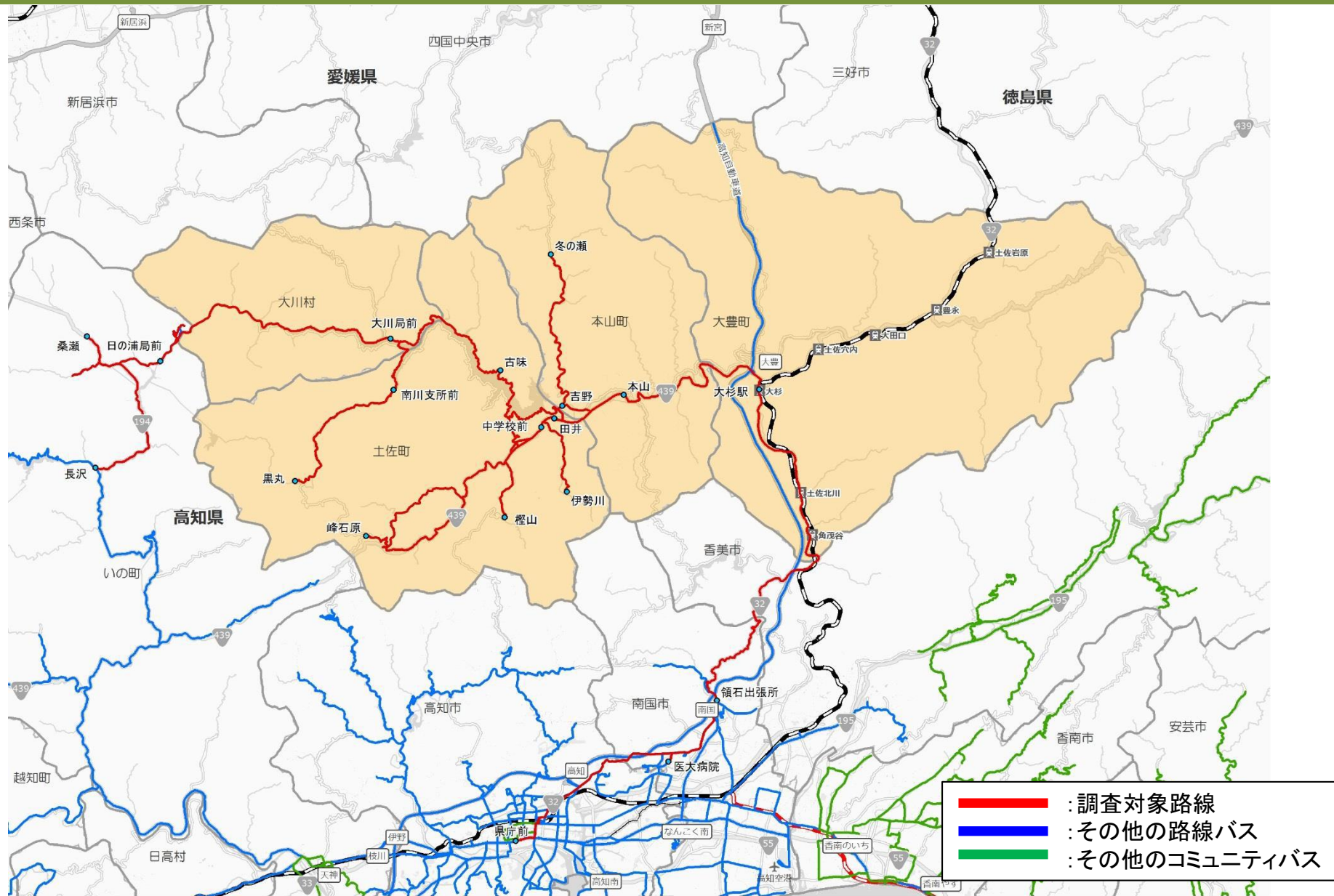


# 乗降調査の概要

- ▶ 嶺北観光自動車およびとさでん交通田井線の全路線全便を対象に調査員の乗り込みによる乗降調査を実施

<b>対象</b>	嶺北観光自動車・とさでん交通田井線の全路線全便（平日1日、休日1日）
<b>実施</b>	嶺北観光自動車：平成30年9月2日～9月3日、9月8日 とさでん交通：平成30年9月2日～9月3日
<b>方法</b>	各便に調査員が乗り込み、車内にて聞き取りまたは調査票を配布・回収
<b>回収</b>	嶺北観光自動車：162票（平日145票、休日17票） とさでん交通：390票（平日240票、休日150票）
<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 利用者属性 性別、年齢、職業 運転免許の有無、普段の運転頻度</li><li>■ 利用実態 OD（乗降場所） 利用頻度、利用目的、支払方法 直前・直後の移動手段 バス以外でのこの区間の移動手段（とさでん交通田井線のみ）</li></ul>

# 乗降調査の概要 対象路線

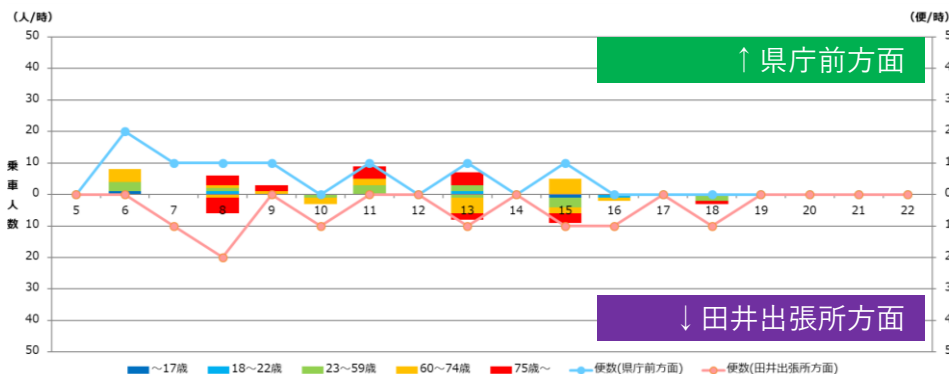


# 路線別の特徴（とさでん交通田井線）

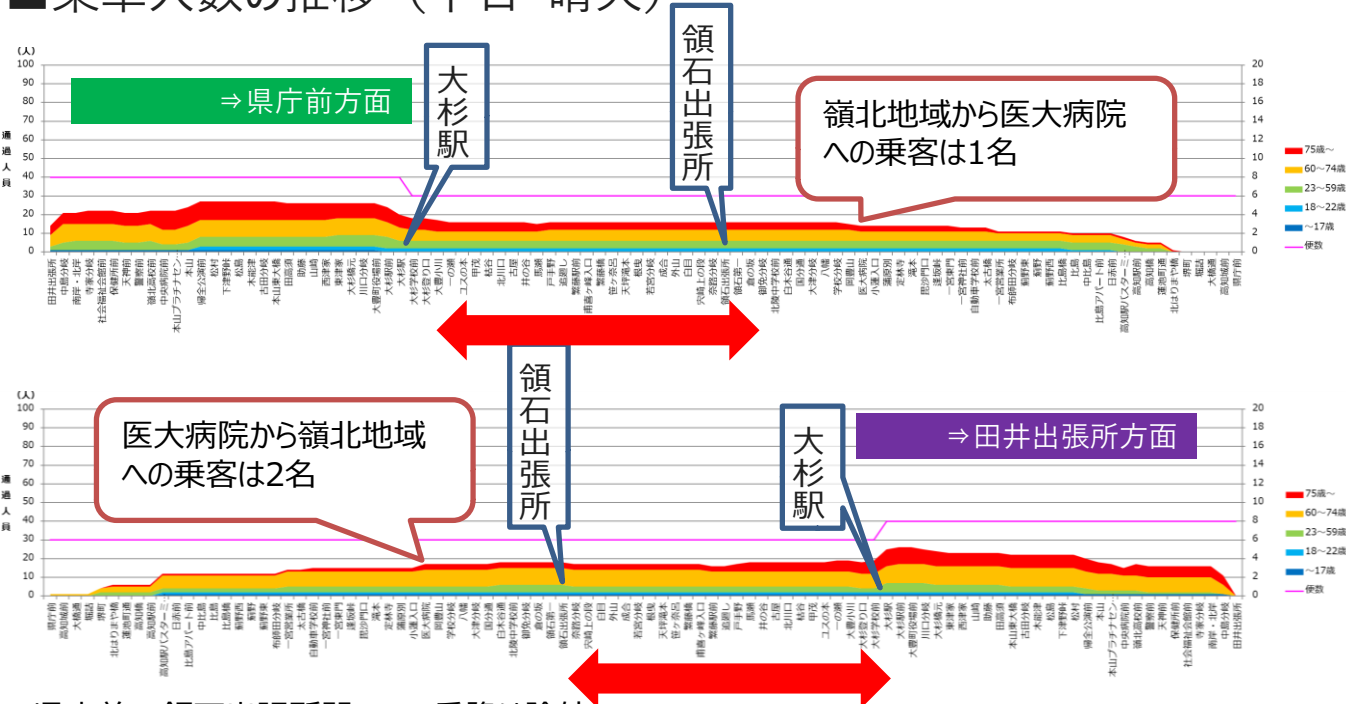
平日

- 利用者の多くは60歳以上の高齢者で、学生の利用は少ない。
- 大杉駅⇔領石出張所間での乗降は数人であり、高知市中心部から乗り通す乗客が多い。

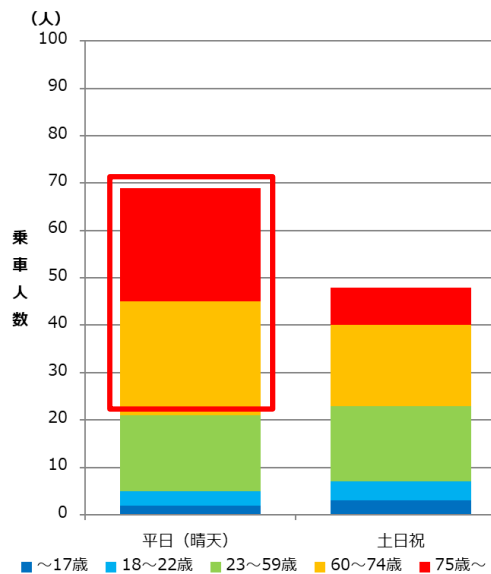
## ■ 時間別乗車人数（平日・晴天）



## ■ 乗車人数の推移（平日・晴天）



## ■ 平休別乗車人数



※県庁前⇔領石出張所間のみの乗降は除外

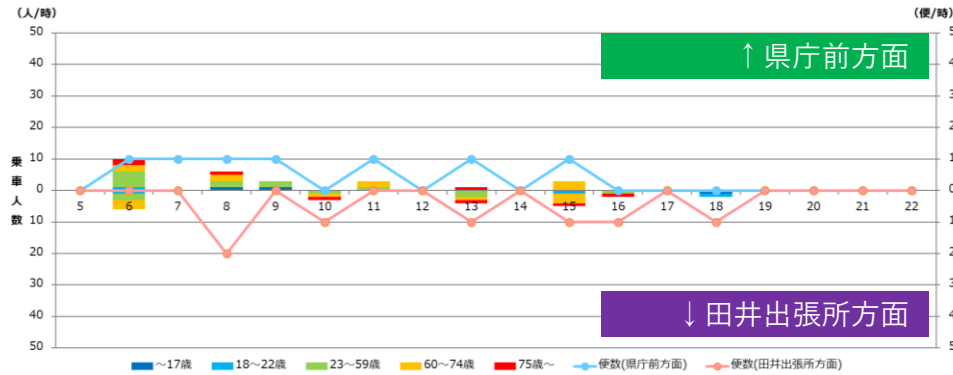


# 路線別の特徴（とさでん交通田井線）

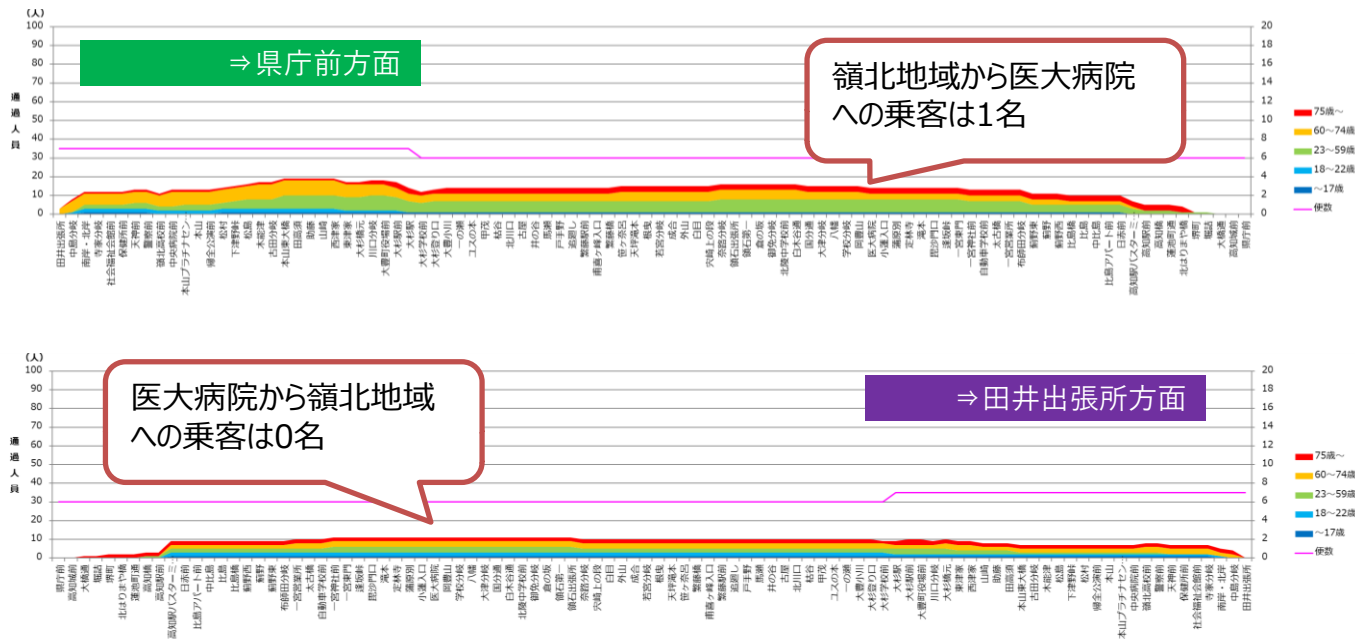
休日

- 平日に比べ、通院目的を中心に、75歳以上の利用が減少
- 遊び目的で利用している若年層が5名程度みられる。

## ■ 時間別乗車人数（土日祝）

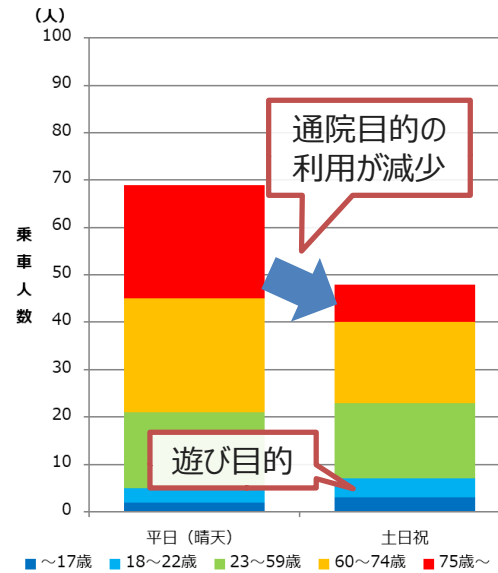


## ■ 乗車人数の推移（土日祝）



※県庁前⇔嶺石出張所間のみの乗降は除外

## ■ 平休別乗車人数

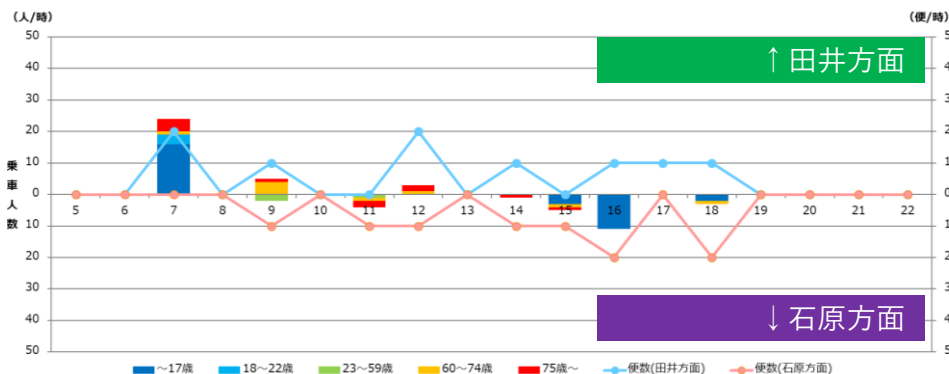


# 路線別の特徴（田井⇔本山⇔石原）

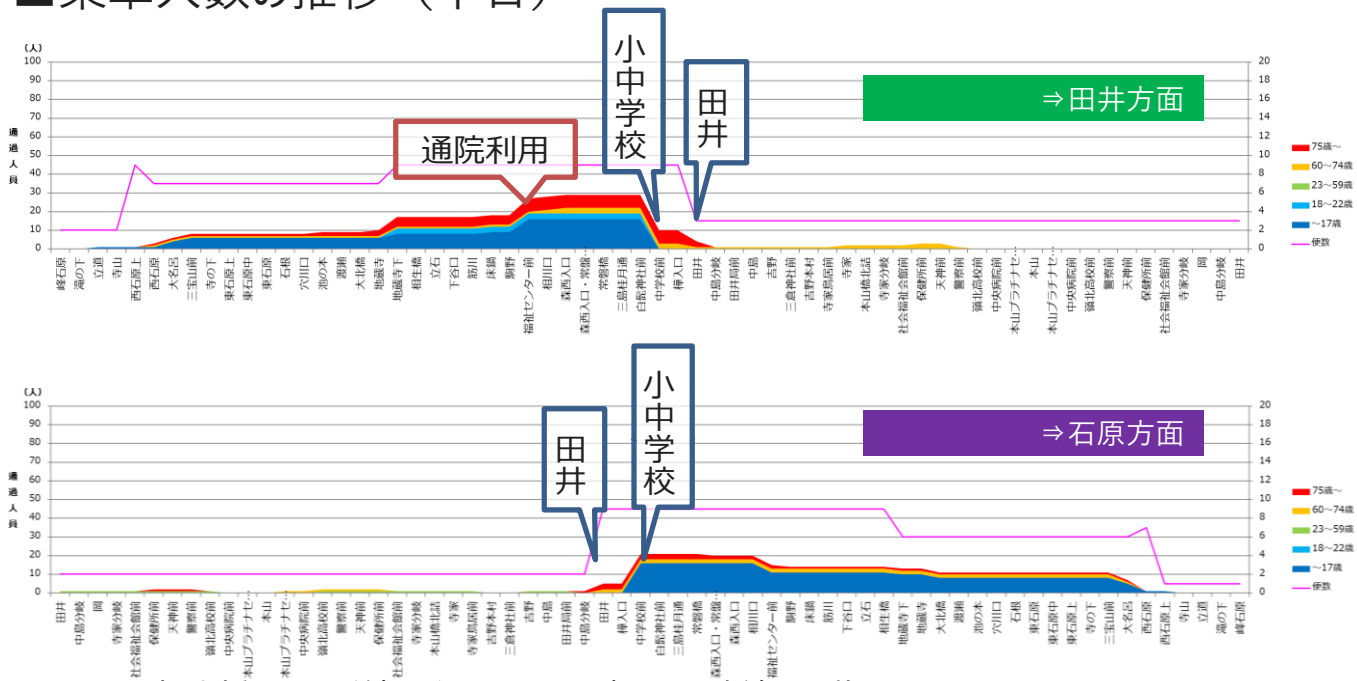
平日

- 土佐町小中学校への通学者が15名程度利用
- 通院目的の高齢者が10名程度、田井までの往路のみ利用
- 田井を通過して石原方面と本山方面を乗り通す利用はほとんどみられない。

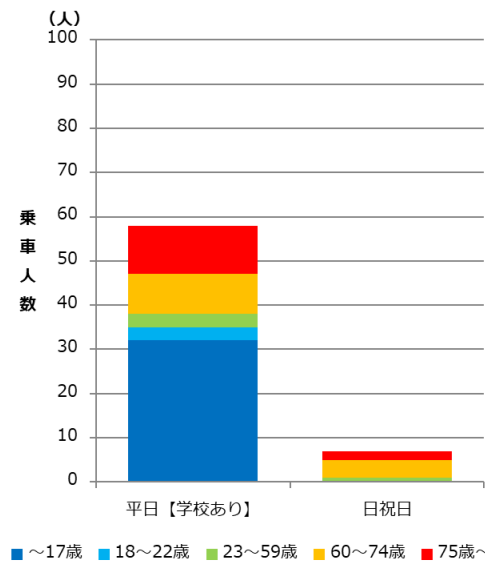
## ■時間別乗車人数（平日）



## ■乗車人数の推移（平日）



## ■平休別乗車人数



※西石原・相生橋間は2系統に分かれており、南回りの路線を記載  
北回りのうち、下久保での乗降は三宝山前に合算（それ以外での乗降はなし）

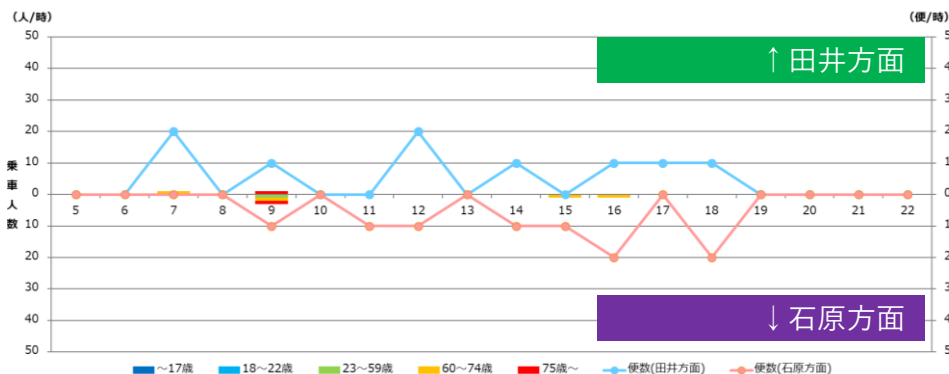


# 路線別の特徴（田井⇔本山⇔石原）

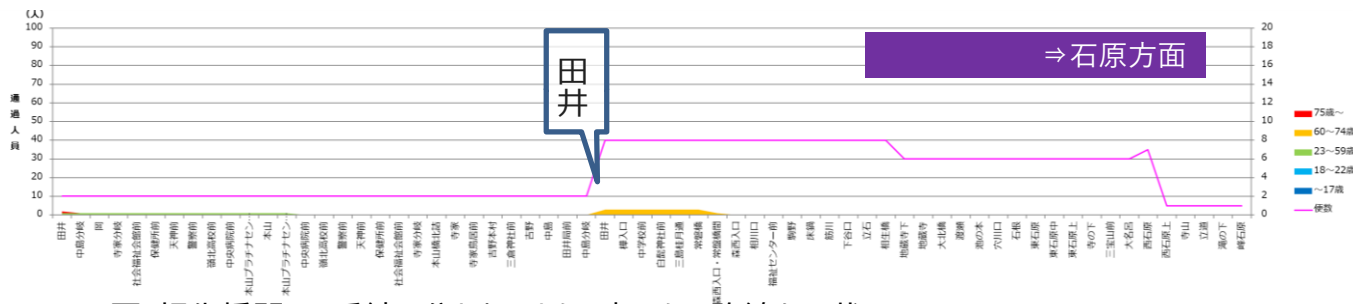
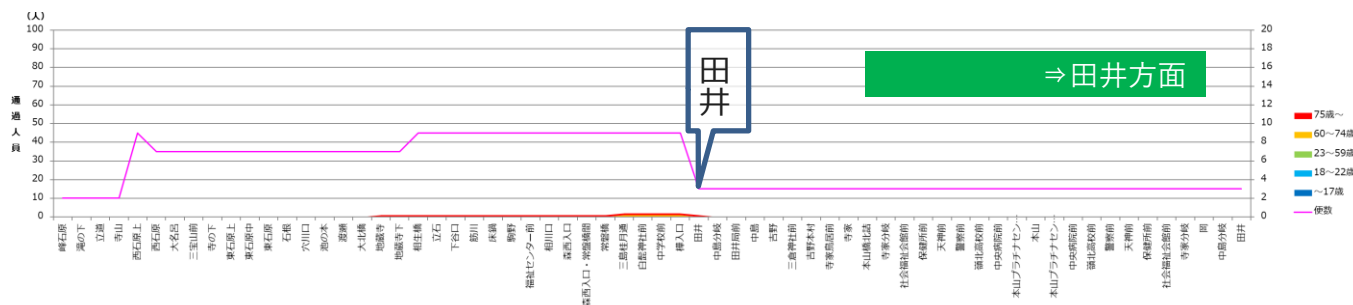
休日

- 平日と比べ、通学での利用がなくなり、通院での利用者も減少。
- 利用者全員が田井から乗降しており、乗継での利用者もいる。
- 田井⇔本山間の利用はほとんどみられない。

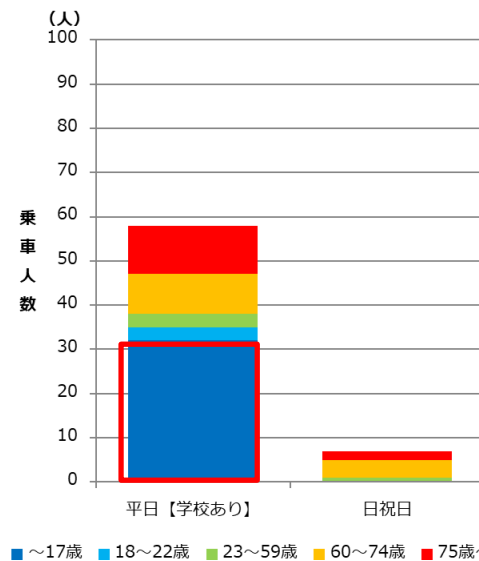
## ■ 時間別乗車人数（休日）



## ■ 乗車人数の推移（休日）



## ■ 平休別乗車人数



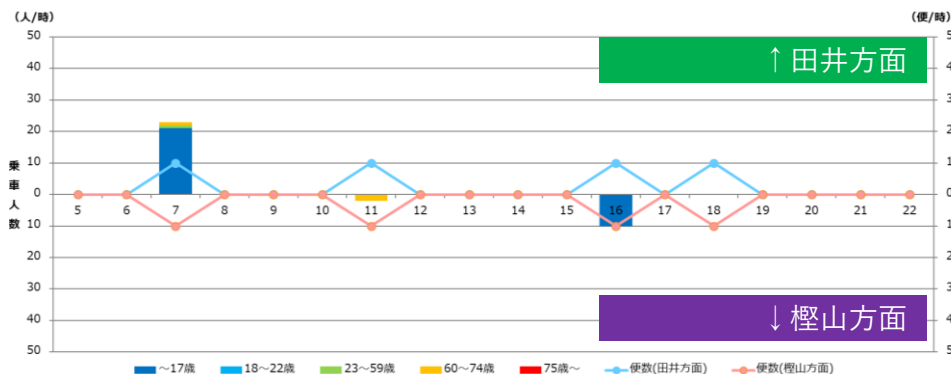
※西石原・相生橋間は2系統に分かれており、南回りの路線を記載（北回りの乗降はなし）

# 路線別の特徴（榎山⇔田井）

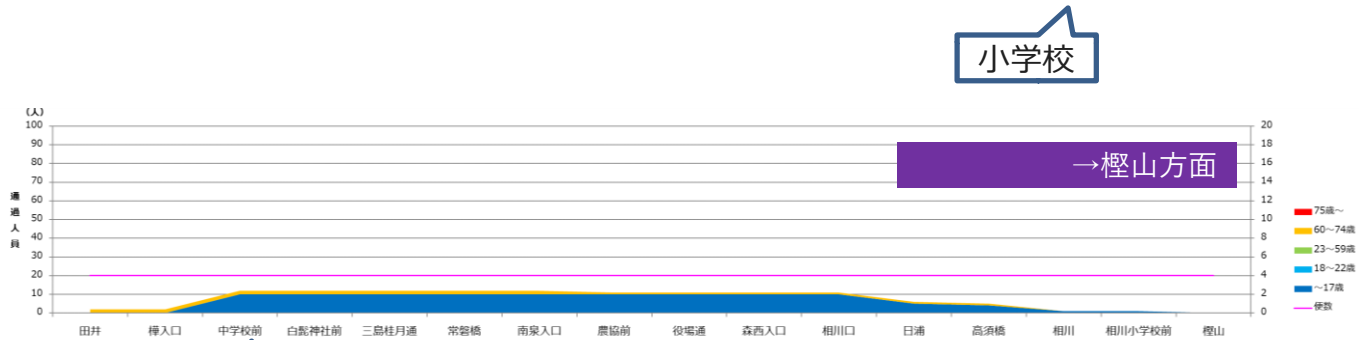
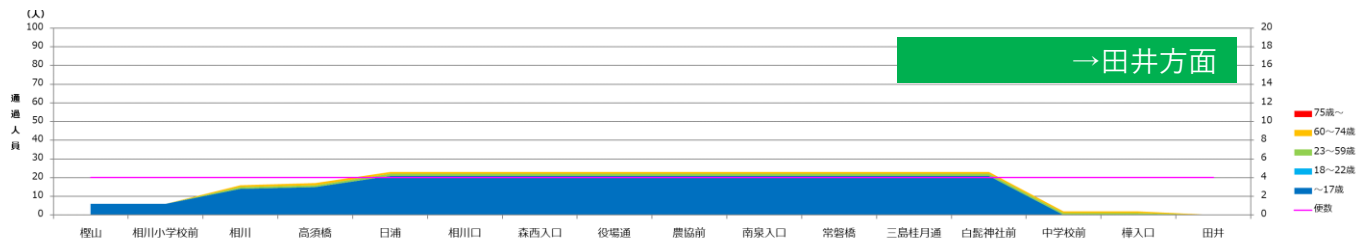
平日

- 土佐町小学校への通学で、登校時約20名、下校時約10名が利用（下校時は5名がスクールバスを利用）
- 通学以外では、7時台の田井方面、12時台の榎山方面で各2名利用

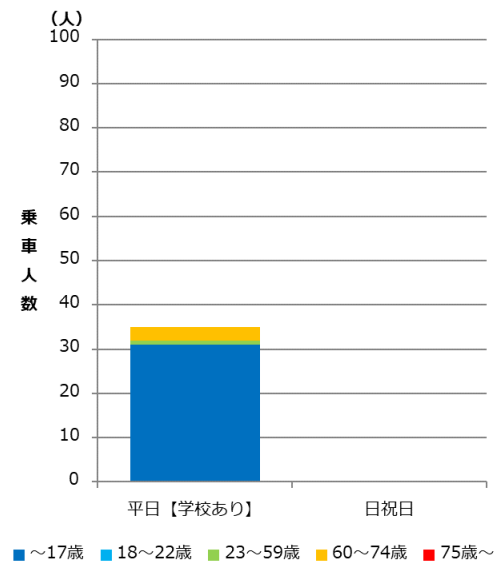
## ■時間別乗車人数（平日）



## ■乗車人数の推移（平日）



## ■平休別乗車人数

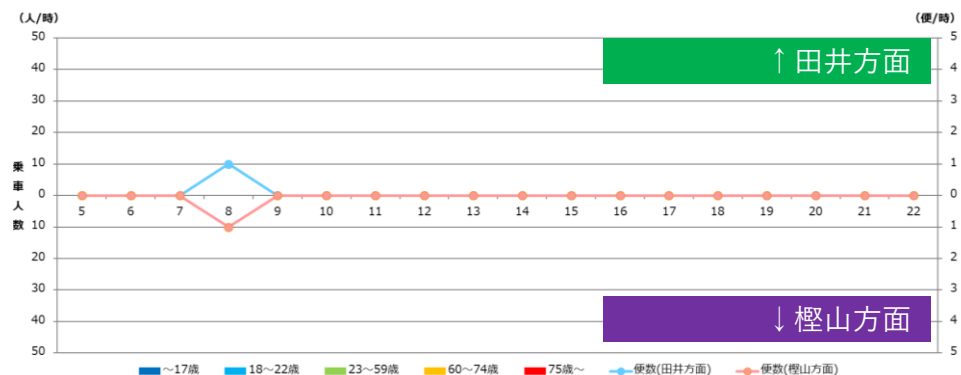


# 路線別の特徴（榎山⇔田井）

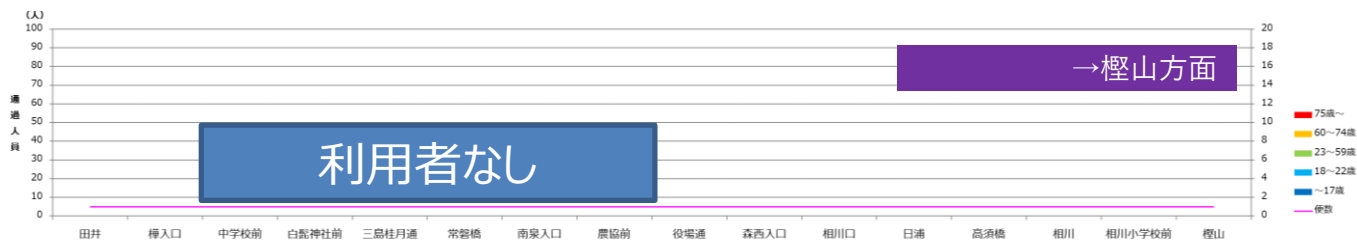
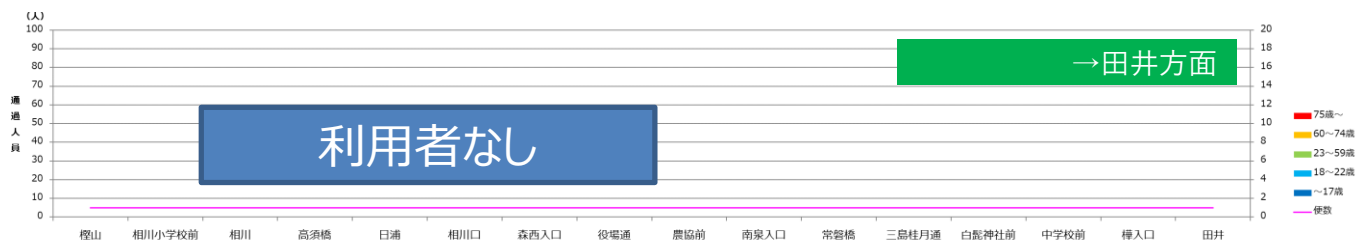
休日

➤ 1往復いずれも利用者は0人

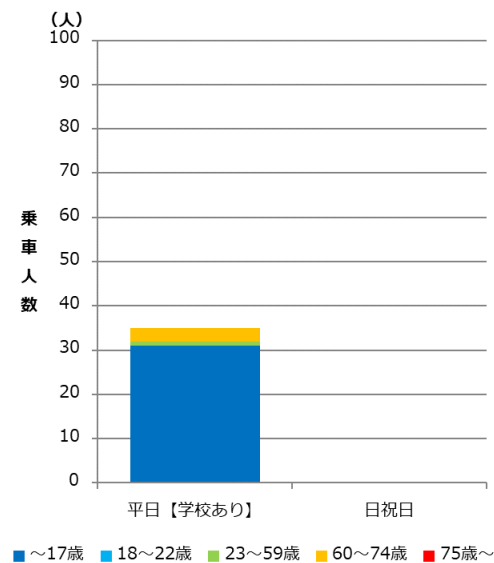
## ■時間別乗車人数（休日）



## ■乗車人数の推移（休日）



## ■平休別乗車人数

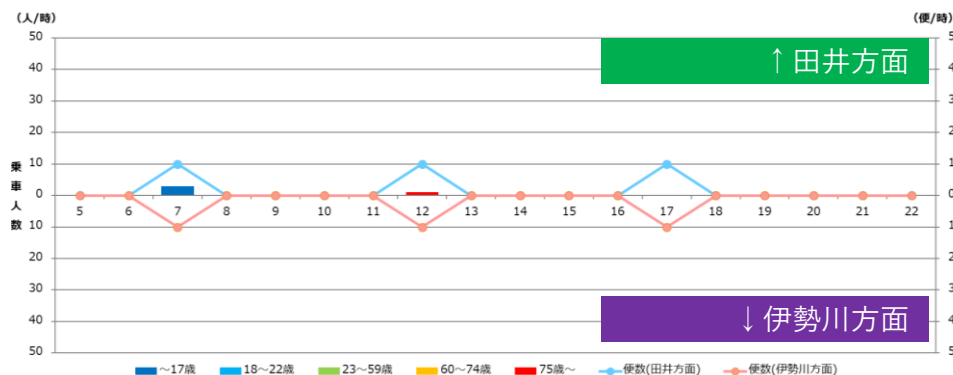


# 路線別の特徴（伊勢川⇔田井）

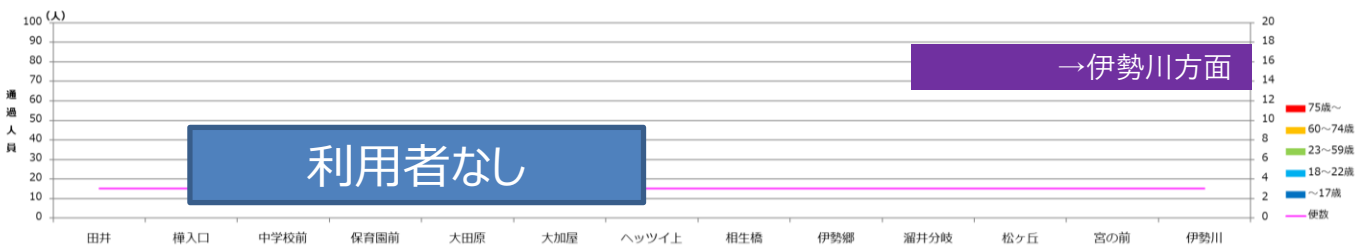
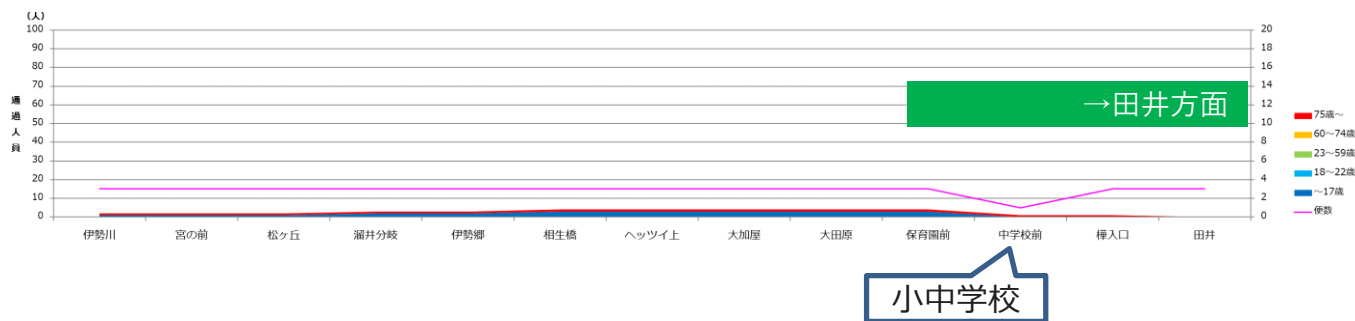
平日

- 土佐町小学校への通学者が3名、往路のみ利用
- 通院目的の高齢者が1名、伊勢川から田井まで往路のみ利用
- 伊勢川方面の利用は0人

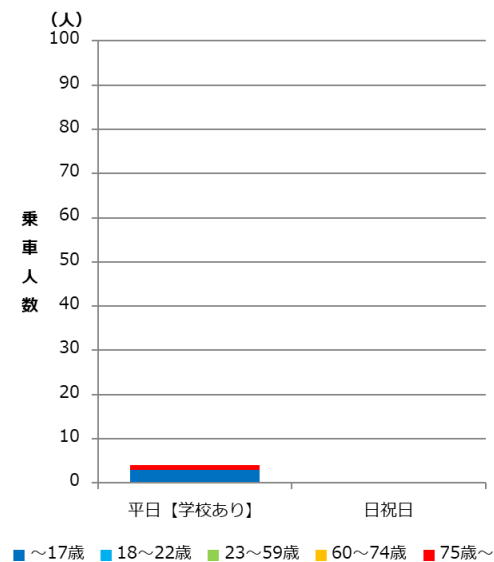
## ■時間別乗車人数（平日）



## ■乗車人数の推移（平日）



## ■平休別乗車人数

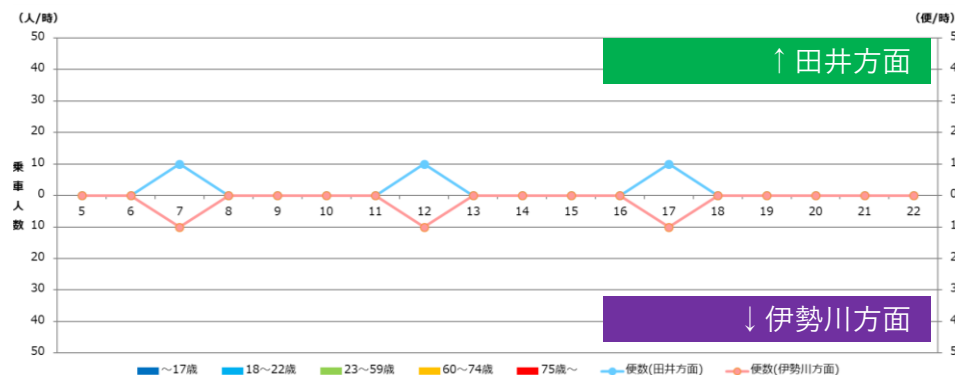


# 路線別の特徴（伊勢川⇔田井）

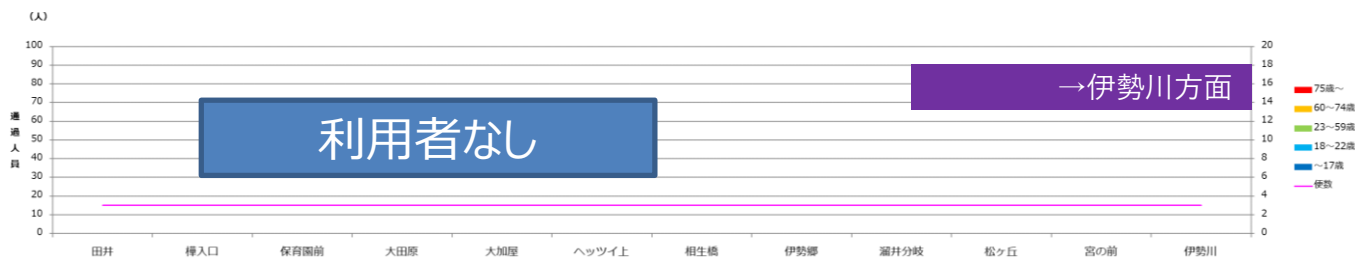
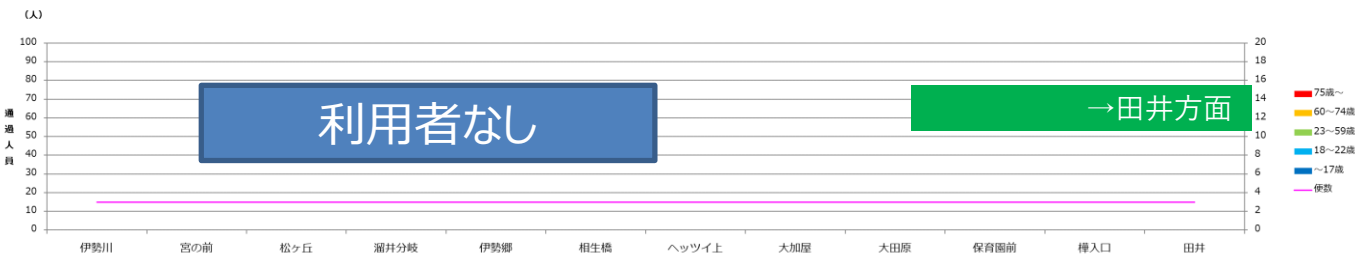
休日

➤ 全3往復にて利用者は0人

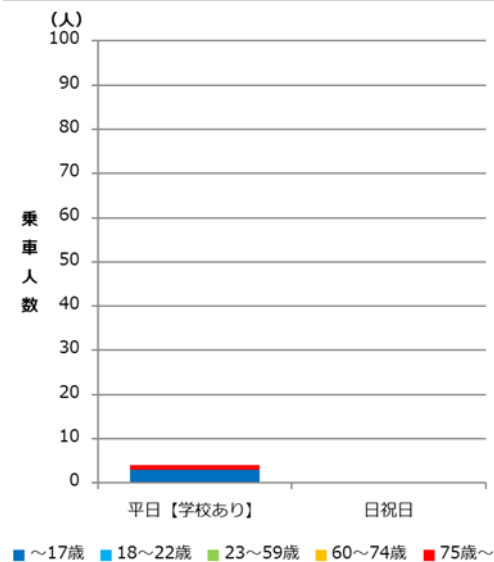
## ■時間別乗車人数（休日）



## ■乗車人数の推移（休日）



## ■平休別乗車人数

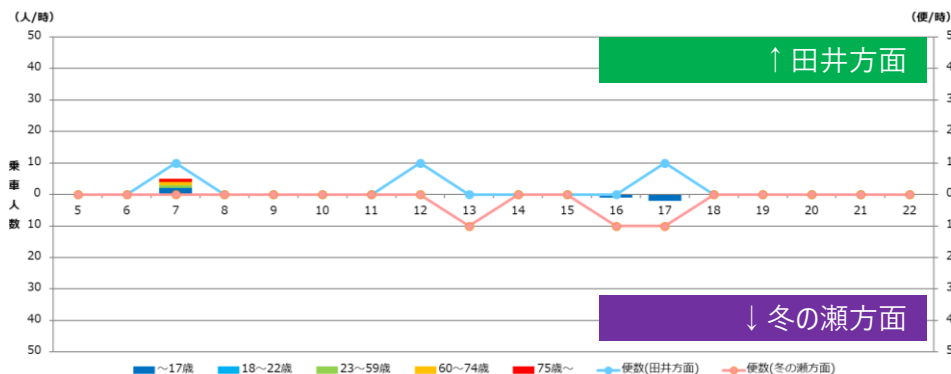


# 路線別の特徴（冬の瀬⇔田井）

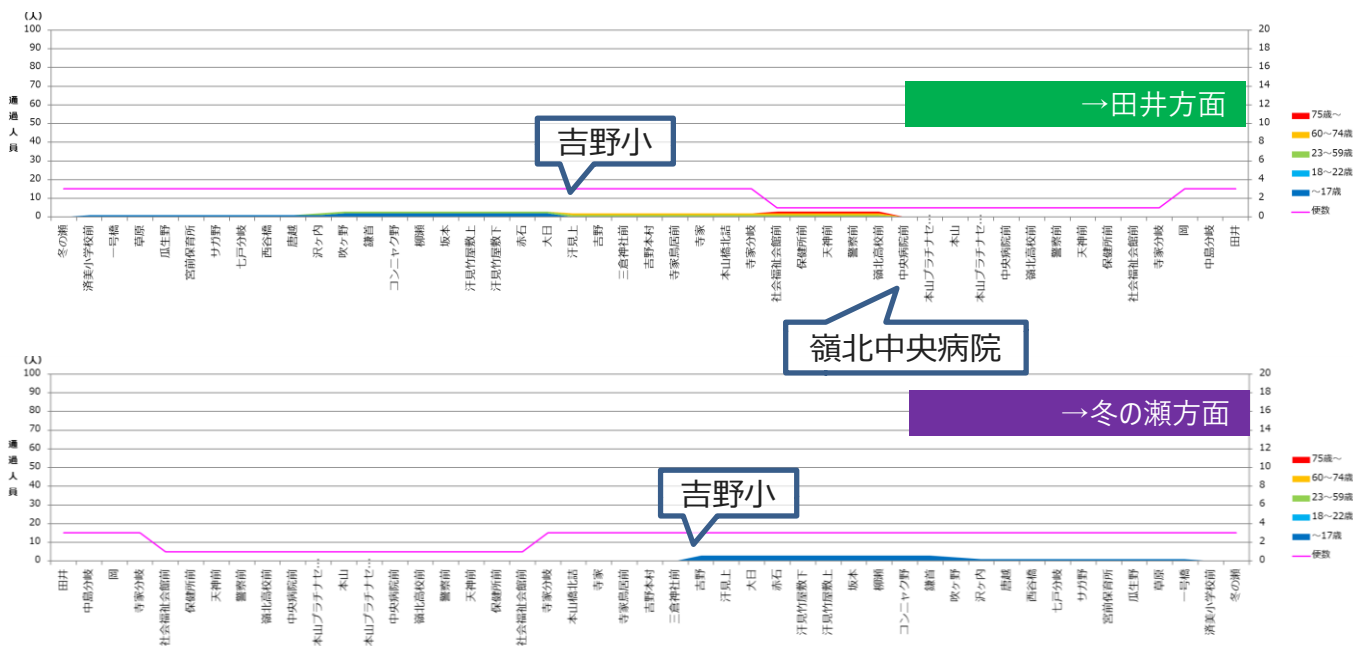
平日

- 吉野小学校への通学者が、登校時に2名、下校時に3名利用
- 嶺北中央病院への通院目的で、往路のみ3名利用

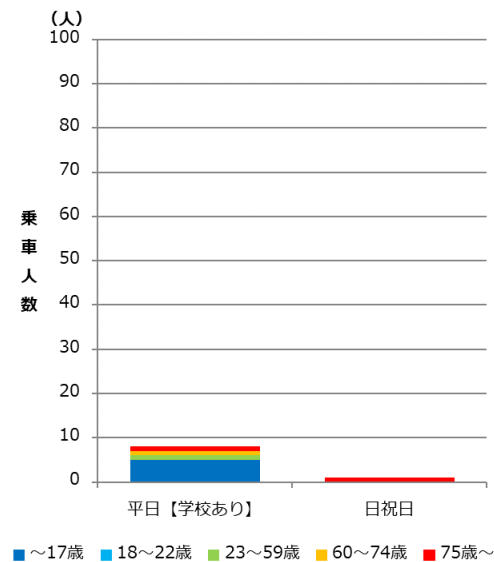
## ■時間別乗車人数（平日）



## ■乗車人数の推移（平日）



## ■平休別乗車人数

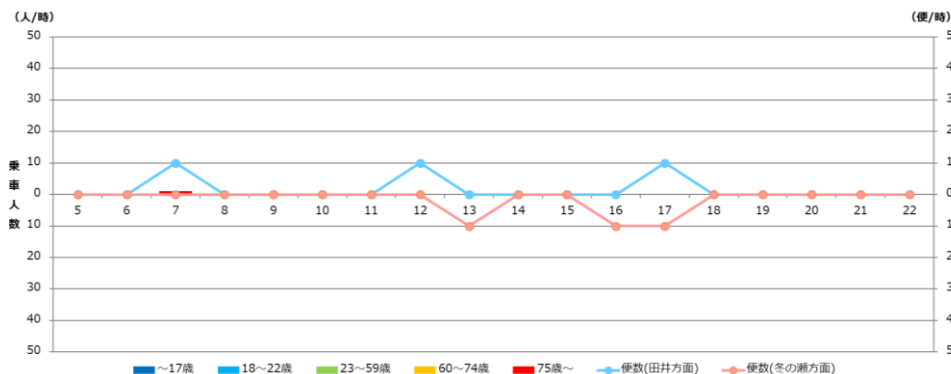


# 路線別の特徴（冬の瀬⇔田井）

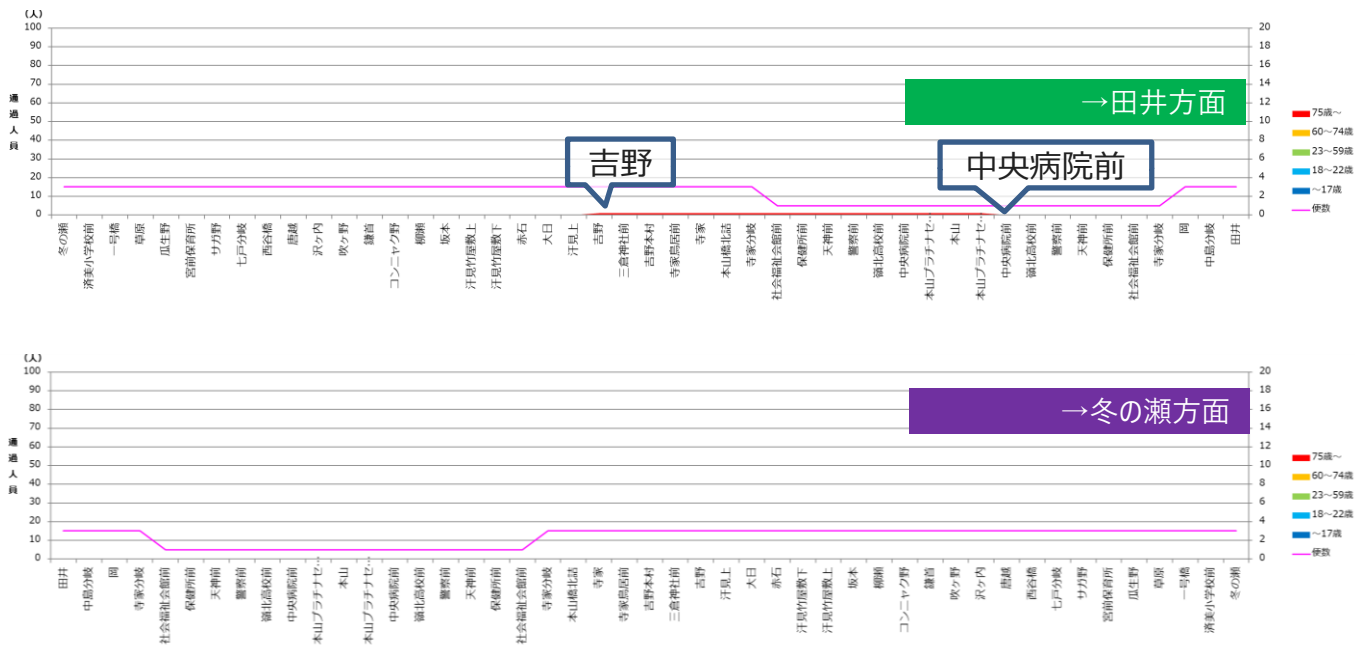
休日

- 吉野から中央病院前まで、高齢者が1名利用

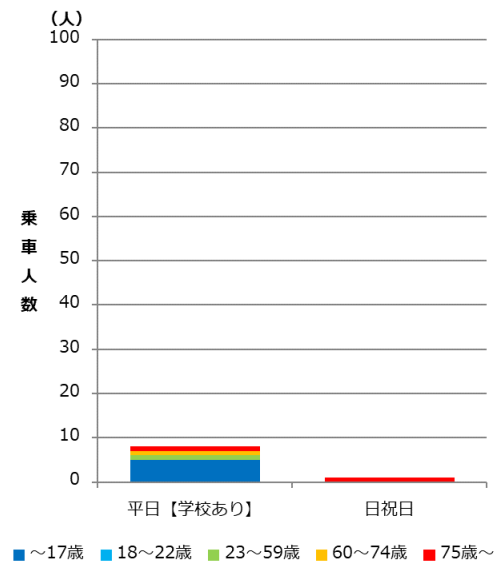
## ■時間別乗車人数（休日）



## ■乗車人数の推移（休日）



## ■平休別乗車人数

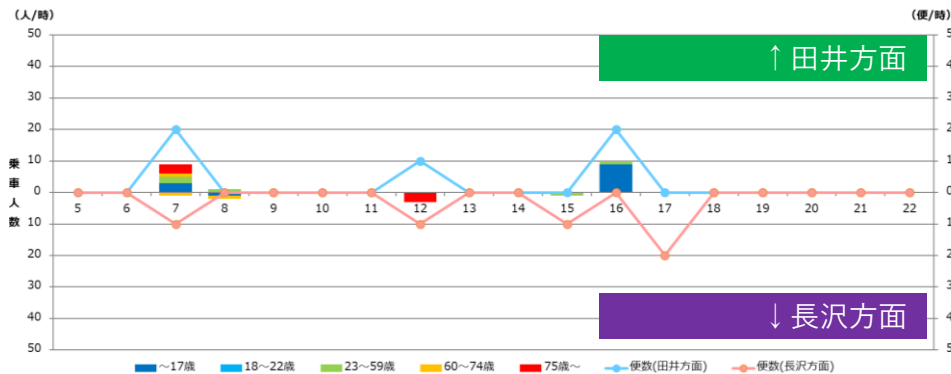


# 路線別の特徴（長沢⇔日の浦⇔大川⇔田井）

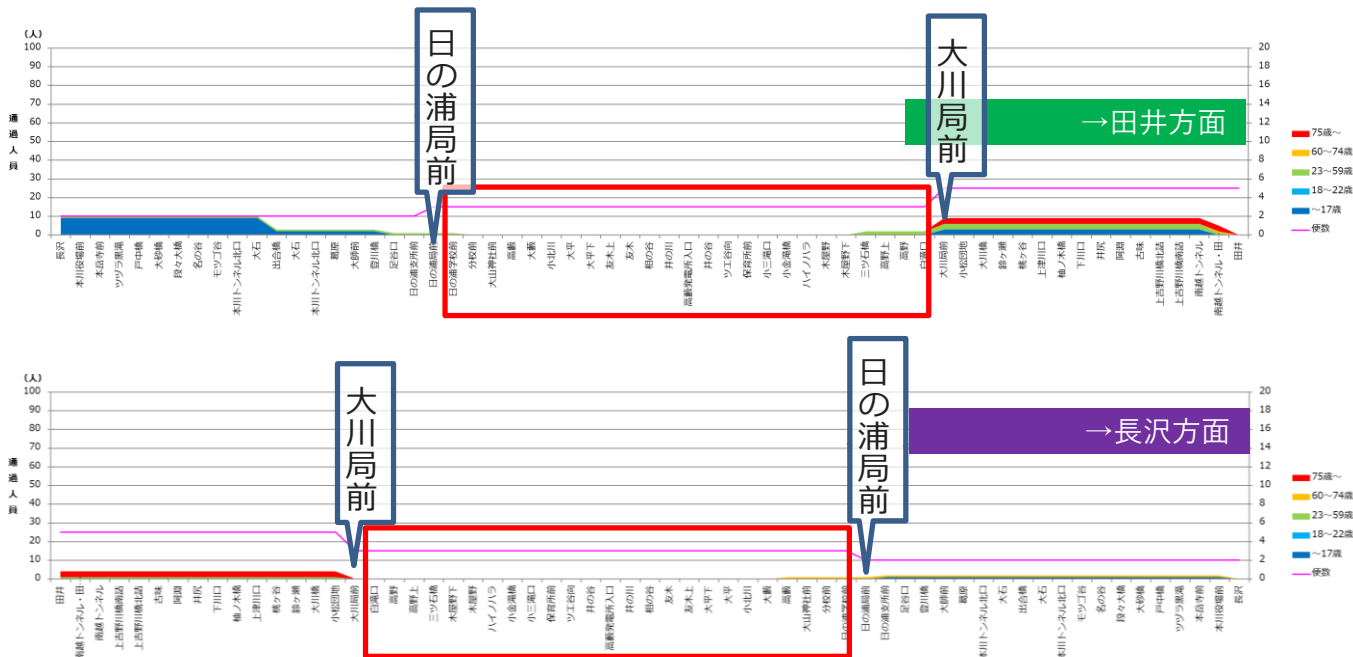
平日

- 大川局前→中学校前（7時台）、長沢→出合橋（16時台）などで、通学目的での利用がみられる。
- 大川局前⇔田井間で、高齢者が利用
- 大川局前⇔日の浦局前間の利用者は少ない。

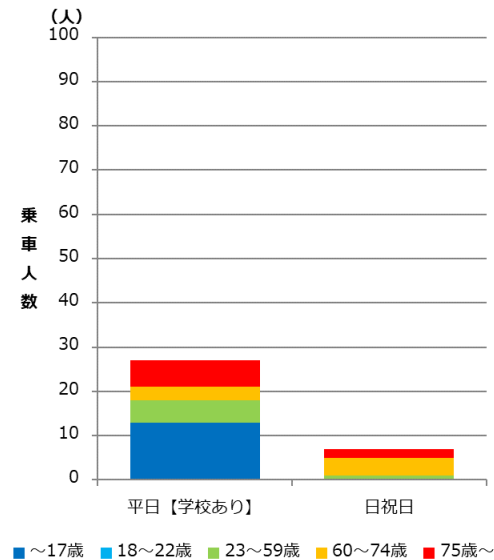
## ■時間別乗車人数（平日）



## ■乗車人数の推移（平日）



## ■平休別乗車人数



※桑瀬⇔日の浦局前線、日の浦局前⇔大川村分岐線の利用者は0人

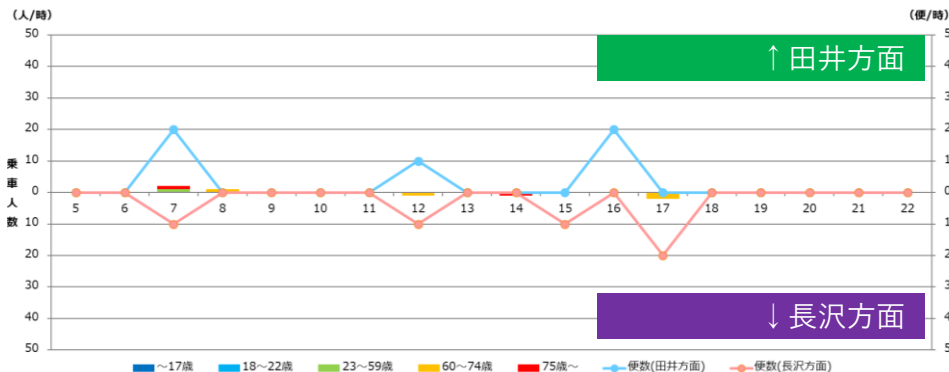


# 路線別の特徴（長沢⇔日の浦⇔大川⇔田井）

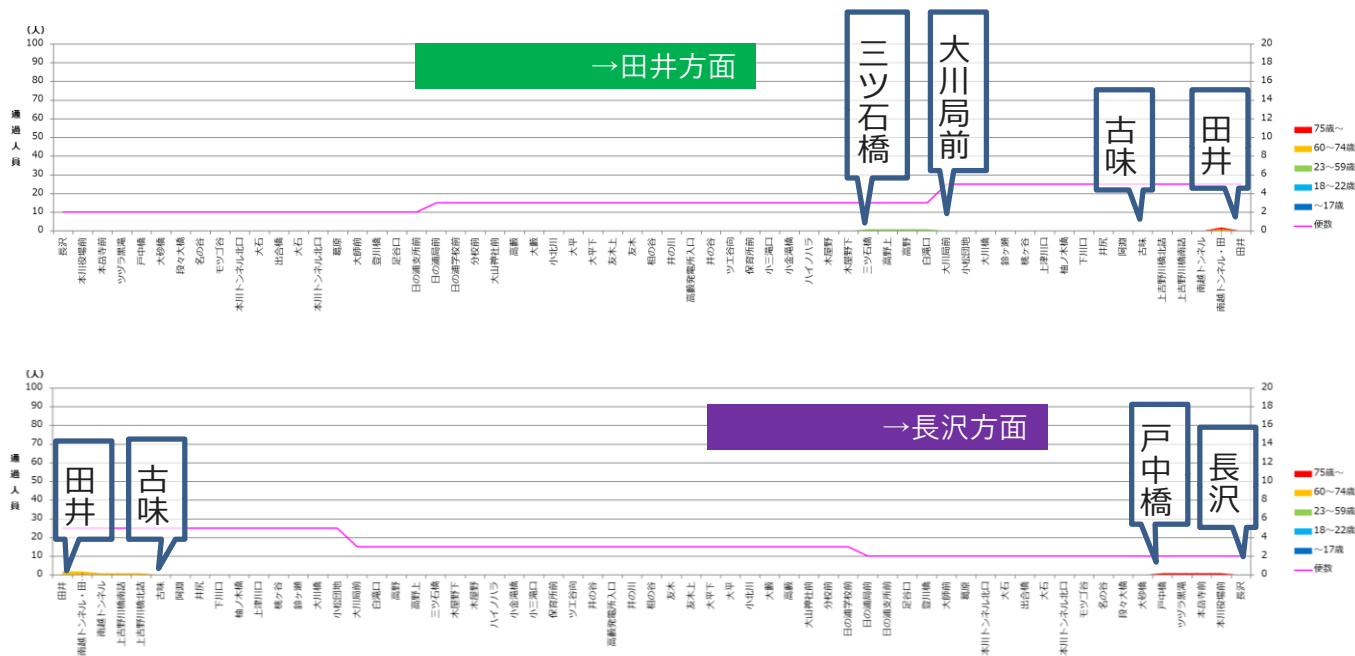
休日

- 田井⇔古味間で、高齢者が往復各2,3名利用
- 三ツ石橋→大川局前、戸中橋→長沢で親族・知人訪問目的で各1名利用

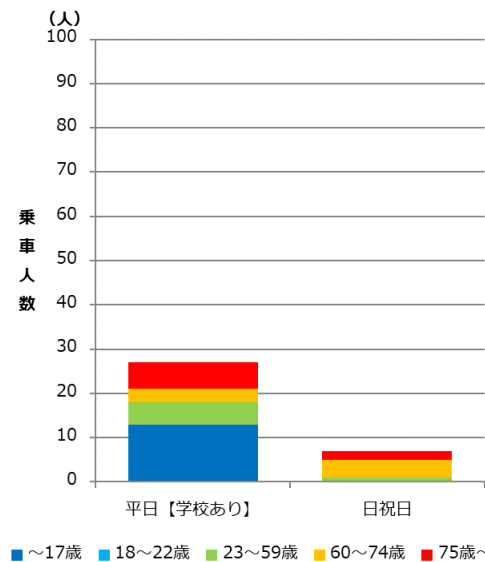
## ■時間別乗車人数（休日）



## ■乗車人数の推移（休日）



## ■平休別乗車人数



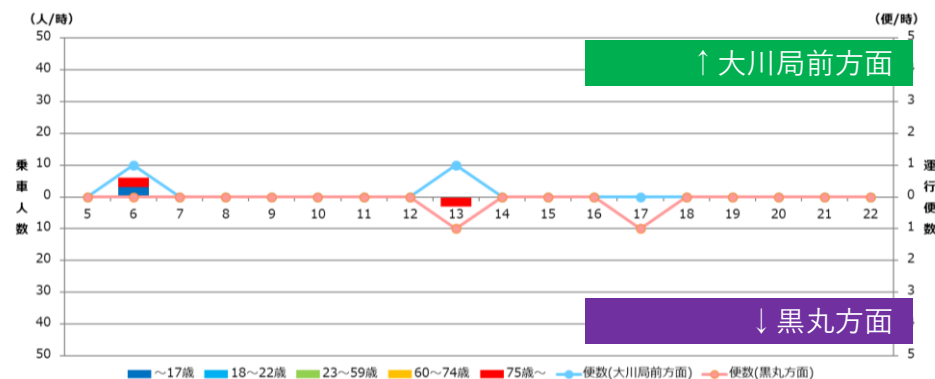
※桑瀬⇔日の浦局前線、日の浦局前⇔大川村分岐線の利用者は0人

# 路線別の特徴（大川局前⇔黒丸）

平日

- 南川支所前から大川局前まで、小学生が3人登校に利用（下校時は利用していない）
- 高齢者が買い物目的で往復各3名利用
- 田井方面との乗継利用が多い。

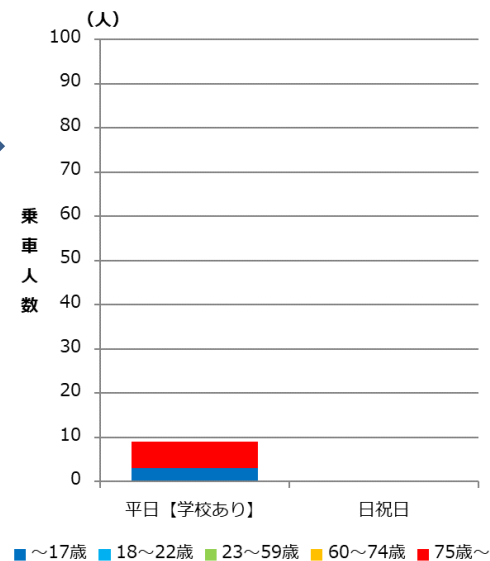
## ■ 時間別乗車人数（平日）



## ■ 乗車人数の推移（平日）



## ■ 平休別乗車人数

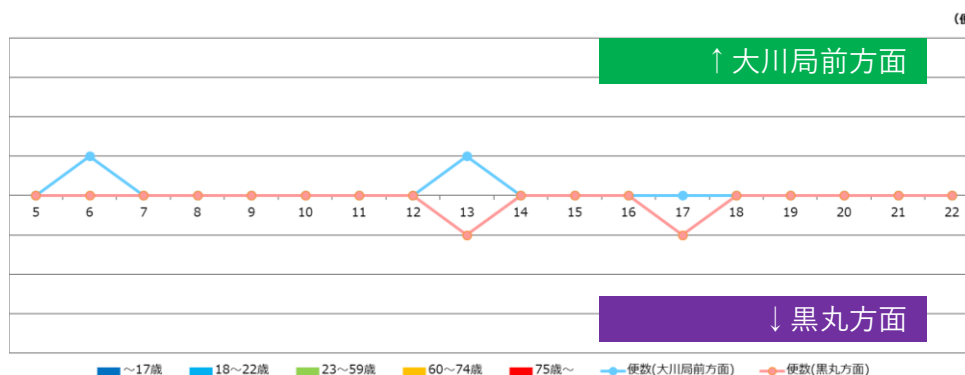


# 路線別の特徴（大川局前⇔黒丸）

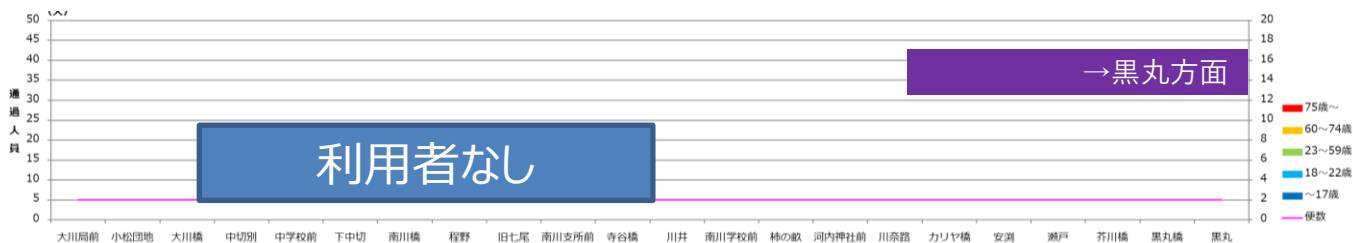
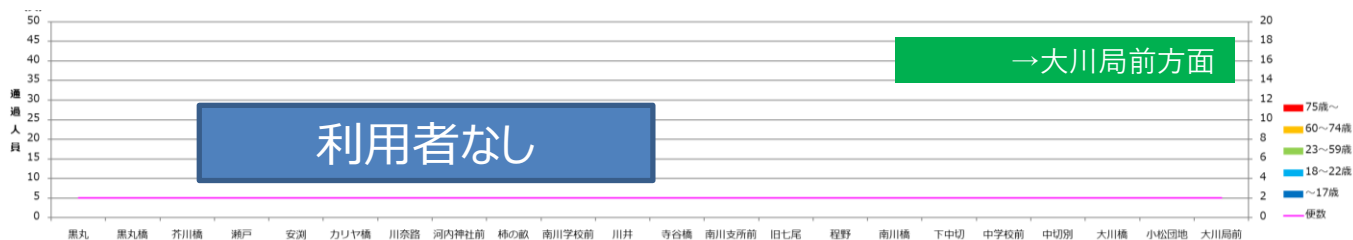
休日

➤ 全2往復にて利用者は0人

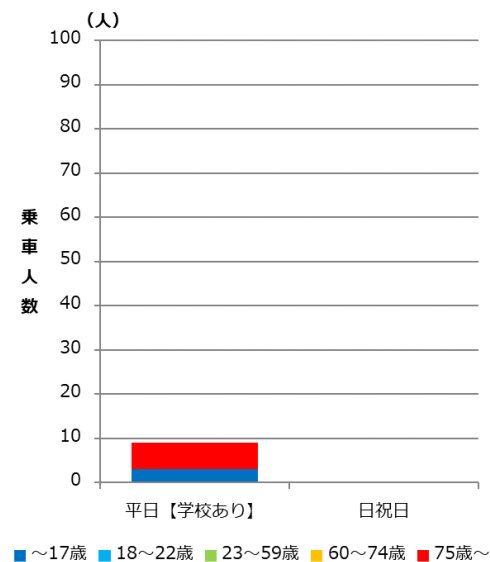
## ■時間別乗車人数（休日）



## ■乗車人数の推移（休日）



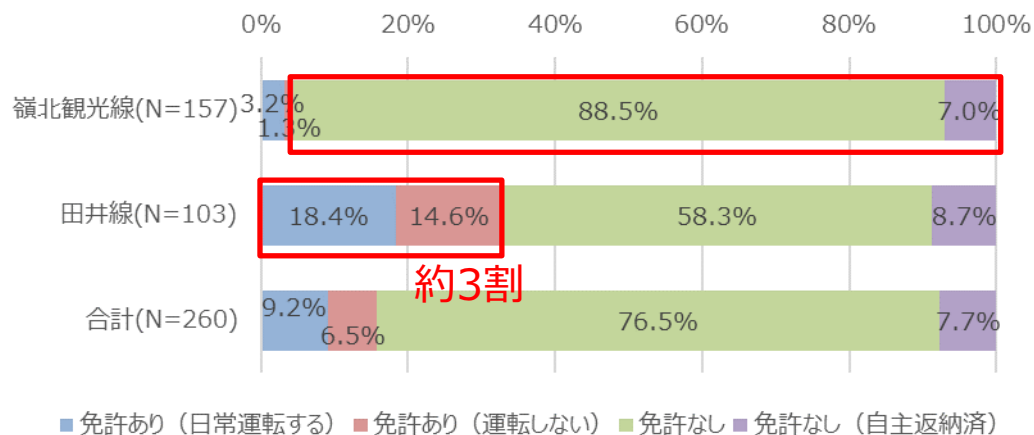
## ■平休別乗車人数



# 乗降調査の結果：利用者の属性

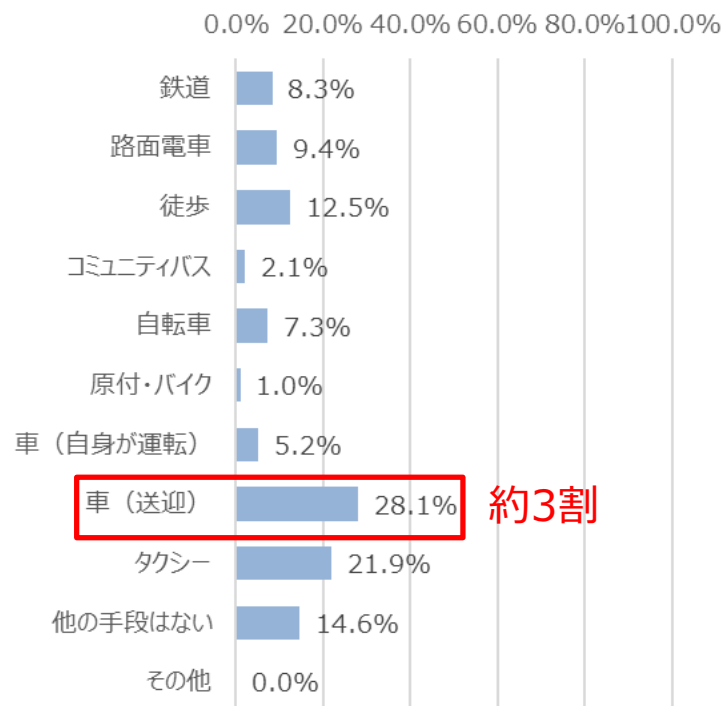
- 嶺北観光自動車のバス利用者はほとんど運転免許を持っていないが、田井線利用者は約3割が運転免許を持っている。
- 田井線を使わない場合、約3割が送迎を利用すると回答

運転免許の保有状況



約3割

田井線以外のこの区間での移動手段 (N=96)



約3割

※田井線は、県庁前⇄領石出張所間のみの乗降を除外